

緑の募金 事業報告集

平成27年度

公益社団法人 国土緑化推進機構

はじめに

緑の募金事業は、「緑の募金法」に基づき、国内・海外における「国民参加の森林づくり」を進めるものであり、森林ボランティア団体等が行う森林整備、緑化推進、国際協力の活動を支援するものです。

平成26年度事業においては、

- ① 地球温暖化防止や水源涵養等に資する森林の整備
- ② 東日本大震災復興のための海岸林の再生、被災地域の学校緑化
- ③ 間伐や間伐材利用の促進
- ④ 災害跡地の復旧や災害に強い森林づくり
- ⑤ 竹林の整備
- ⑥ 居住地周辺の緑化
- ⑦ 砂漠化の防止や住民生活の向上に資する植林、マングローブ林の造成

等の事業を支援しました。

本報告集は、緑の募金の社会的意義、役割に鑑み、緑の募金事業の実行結果について、募金者をはじめ、広く一般市民、森林ボランティアの方々にも知って頂くためのものです。

本報告集によって、国民の皆さまの「緑の募金」への理解が深まりと、更なるご支援・ご協力につながるとともに、森林ボランティア団体の今後の活動の一助になれば幸いです。



緑の募金

公益社団法人 国土緑化推進機構

目次

(注) 1. 本報告集に掲載した事業は、平成26年7月から平成27年6月までに事業決定・承認した直接事業及び公募事業である。

2. 最左欄は交付決定番号、() 書き地名は事業実施都道府県等である。

森林の整備

26SC-01	緑のボランティアの森記念造成事業「フォレスト21さがみの森」(神奈川)……………	12
26SC-02	アドプト フォレスト 仏並エネオスの森づくり活動(大阪)……………	12
26SC-03	岡山水源の森整備事業(岡山)……………	13
26SC-04	岡山県日本リスの森整備事業(岡山)……………	13
26SC-05	小石原川水源の森づくり事業(福岡)……………	14
26SC-06	原村あゆみの森整備事業(平成26年後期)(長野)……………	14
26SC-07	地球温暖化防止のための北海道の森づくり(北海道)……………	15
26SC-08	「キリン千歳水源の森」整備の森づくり(北海道)……………	15
26SC-09	第66回全国植樹祭に向けた市町の緑化推進事業(石川)……………	16
26SC-10	「積水化学の森・うきは」生物多様性保全の森づくり(福岡)……………	16
26SC-11	「積水化学の森・木津川」生物多様性保全の森づくり(京都)……………	17
26SC-12	崩壊跡地の植生復元事業と周辺の植生調査(宮城外)……………	17
26SC-13	宮城・名取「プロ野球の森」設定記念植樹事業(宮城)……………	18
26SC-14	積水化学・水源の森づくり事業(北海道)……………	18
26SC-15	いのちの森づくり植樹祭 IN 奥沢水源地 VOL2(北海道)……………	19
26SC-16	木質バイオマス燃料普及プログラム(岩手)……………	19
26SC-17	湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業(神奈川)……………	20
26SC-18	緑のボランティアの森記念造成事業「いずみの森21」(大阪)……………	20
26SC-19	「未来へつなぐ共学の森」事業(宮城)……………	21
26SC-20	北蔵王水源の森造成事業(宮城)……………	21
26SC-21	「赤西溪谷・水源の森」保全事業(兵庫)……………	22
26SC-22	植栽地造成と植樹による筑波山水源の森づくり(茨城)……………	22
26SC-23	富士山緑の募金の森造成事業(静岡)……………	23
26SC-24	企業との協働による「高梁美しい森」森林整備事業(岡山)……………	23
26SC-25	水源地保全活動(茨城)……………	24
26SC-26	絶滅危惧種ヤクタネゴヨウの森づくり植樹祭(鹿児島)……………	24
26SC-27	みんなでつくろう海の森プロジェクト(東京)……………	25
26SC-28	海の森植樹プロジェクト(東京)……………	25
26SC-29	「みたけ木曽川水源の森づくり」活動(岐阜)……………	26
26SC-30	さいたまの森林づくり支援事業(埼玉)……………	26
26SC-31	多摩動物公園 雑木林再生プロジェクト(東京)……………	27
26SC-32	木曽川・やおつ水源の森づくり活動(岐阜)……………	27
26SC-33	玖珠町ふれあいの森づくり事業(大分)……………	28
26震災SC-01	十日町市民協働の森づくり(新潟)……………	28
26震災SC-02	平成26年度東日本大震災復興事業(鹿島灘海岸防災林造成事業)(茨城)……………	29
26震災SC-03	さんむ災害復興植樹祭(千葉)……………	29
26震災SC-04	旭復興事業(千葉)……………	30
26震災SC-05	白子町海岸保安林整備事業(千葉)……………	30
26震災SC-06	3.11復活の森づくり～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業(千葉)……………	31
26震災SC-07	「名取・潮除須賀松の森」植樹事業(宮城)……………	31
26震災SC-08	自伐型林業による被災地再生(就業づくり)事業(宮城、岩手)……………	32

26震災SC-09	「岩沼・潮除須賀松の森」植樹事業（宮城）	32
26震災SC-10	「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業（宮城）	33
26S-01	札幌市澄川環境林における外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業（北海道）	33
26S-02	富良野地域の緑化及び環境教育事業（北海道）	34
26S-03	NPOや事業者の連携による間伐推進と間伐材活用モデル構築事業（北海道）	34
26S-04	オオヤマザクラ等の保育活動を通じた地域を結ぶ森づくり（青森）	35
26S-05	森林整備とバイオマス利用効果の検証事業（青森）	35
26S-06	復活の森プロジェクト（岩手）	36
26S-07	プロ野球の森整備事業（福島）	36
26S-08	森林ボランティア育成講座 第11期（茨城）	37
26S-09	八溝地域の林地残材を活用した公共施設の整備事業（茨城）	37
26S-10	森林づくり教育支援事業（埼玉）	38
26S-11	地域の子供たちを森へ誘う事業（埼玉）	38
26S-12	県境を越えた森づくり連携事業（埼玉、東京）	39
26S-13	人が楽しめる森と里山作り事業（千葉）	39
26S-14	群馬県草津やすらぎの森森林整備事業（群馬）	40
26S-15	森林と竹林と里山林の実践整備（茨城）	40
26S-17	茨城県民の森「スギ採種園の跡地」の森林整備及び森づくり活動（茨城）	41
26S-18	首都圏居住者を対象とした森林整備体験と環境啓発事業（埼玉、千葉外）	41
26S-19	川場・世田谷上下流連携による「親林」の森づくり事業（群馬）	42
26S-20	若者の森づくり（神奈川）	42
26S-21	創る・育てる「みんなの森林セラピーランド」活動の充実と活用（埼玉）	43
26S-22	森づくり体験プログラム「森林の楽校」2014・2015（秋田、福島外）	43
26S-23	第33回緑の都市賞内閣大臣賞受賞記念事業（東京）	44
26S-24	10地域と1000人が創り出す。国際森林保全ワーキングキャンプ（北海道、大阪外）	44
26S-26	森林ボランティア養成プログラムと都市住民との協働による 森林づくり事業（神奈川、山梨）	45
26S-27	青年の山の整備活動と作業体験を通じた啓発普及活動（東京）	45
26S-28	水源林の整備と癒しのフィールドづくり（第二ステップ）（神奈川）	46
26S-29	山の間伐材を利用したマチの公園整備（群馬外）	46
26S-30	2014企業人学びの森整備事業（石川）	47
26S-31	森林公園生物多様性復元事業（石川）	47
26S-32	大呑ふれあいの里山づくりプロジェクト（石川）	48
26S-33	鬼裾花自然園遊歩道整備と林産材を利用した林業体験（長野）	48
26S-34	東濃の緑を守るボランティア活動事業（岐阜）	49
26S-35	「森づくり自然学校」及び富士山麓の自然現地調査（静岡）	49
26S-36	沼津市愛鷹運動公園内森林整備事業（静岡）	50
26S-37	猿投山北西山麓の環境林整備（愛知）	50
26S-38	森の健康診断&簡易搬出全国出前事業（拡充）（山形、長野外）	51
26S-39	森に生まれ！森を守ろう！（三重）	51
26S-41	森林施業・林業生産等の体験と森林整備（京都）	52
26S-47	里山整備事業（兵庫）	52
26S-49	竹林整備と竹の利活用（奈良）	53
26S-50	太田川の源流の森林保全と資源活用事業（広島）	53
26S-51	下ノ加江川水系の森里川海のつながり再生プロジェクト（高知）	54
26S-52	野に山に庭に炭を撒いてCO ₂ 削減！（福岡）	54
26S-54	みんなの森プロジェクト（大分）	55
26S-55	地球温暖化防止に資する水源林整備活動（熊本）	55
26S-56	平成26年度 第12回「森林ボランティアの日」活動 in さえずりの森（鹿児島）	56

26S-57	荒廃竹林（森林）の整備（鹿児島）	56
26S-58	児童の自然観察と森づくり（鹿児島）	57
26S-59	魅力あふれるさとの山 パート1（鹿児島）	57
26災S-01	樹木の風・雪・地震等による倒壊危険度調査の研修事業（栃木）	58
26災S-02	防災林を奥根地域で育てるボランティア活動事業（群馬）	58
26災S-03	森で活動する人のための安全研修と森林整備（千葉、東京）	59
26災S-04	国民参加による災害につよい森づくり事業（新潟）	59
26災S-05	人と自然がおりなす歴史ロマン浜街道未来への森づくり（福井）	60
26災S-06	さばえの里山市民参加災害に強い森づくり活動（福井）	60
26災S-07	引地の森と川を守る森づくり事業（愛知）	61
26災S-08	森林の光環境と土壌環境を改善し森と海を元気にする事業（和歌山）	61
26災S-09	「木の駅プロジェクト」で、天災にまけず、人災をおこさない島根の絆事業（島根）	62
26災S-10	ちいさなことから一歩ずつ！草の根林業家の森林保全による山地災害の防止（高知）	62
26災S-11	災害に強く多面的な機能を持つ森林をつくる自伐型林業の実践及び育成・普及活動（高知）	63
26災S-12	間伐材の新しい活用「防災薪製作と避難場所（諸中学校等）への設置」事業（熊本）	63
26災S-13	「くにの松原」保全・再生活動（鹿児島）	64

緑化の推進

26RC-01	エコキャンプ2014（岡山）	66
26RC-02	つたえよう 美しき森（石川）	66
26RC-03	全国活樹祭～こども間伐体験～（岩手、長野）	67
26RC-04	親と子協働の森づくりと自然体験活動（北海道）	67
26RC-05	青少年による竹林ルネッサンス事業～21世紀のかぐや姫事業～（新潟）	68
26RC-06	震災地域におけるさくら市立上松山小学校教育環境向上のための緑化事業（栃木）	68
26RC-07	「全国道の駅」と連携した緑の募金活動推進事業（7）（全国）	69
26RC-08	安全な間伐推進モデル事業（福島、群馬外）	69
26RC-09	地域の暮らしに根づいた「フォークロアの森づくり」（新潟、千葉外）	70
26RC-10	げんきの森づくりと森の学習活動（北海道）	70
26RC-11	美幌町「げんきの森」体験事業（北海道）	71
26RC-12	津別「げんきの森」利用推進事業（北海道）	71
26RC-13	日豪環境ボランティアプログラム「阿蘇の森林を磨き、恩恵を味わう」（熊本）	72
26震災RC-01	「震災地域における学校教育環境向上のための緑化事業」（相馬市立大野小学校）（福島）	72
26震災RC-02	震災地域における室根東小学校教育環境向上のための緑化事業（岩手）	73
26震災RC-03	防災力向上市民協働植樹事業（千葉）	73
26震災RC-04	東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！Project-D（宮城、福島）	74
26震災RC-05	震災地域の学校教育環境向上のための緑化事業等（茨城）	74
26震災RC-06	震災地域の学校教育環境向上のための緑化事業（流山市立東小学校）（千葉）	75
26震災RC-07	震災地域の緑を活用した潤いのある街づくり事業（青森）	75
26震災RC-08	藤浜地区集会所植樹事業（宮城）	76
26震災RC-09	登米市横山小学校における記念植樹事業（宮城）	76
26震災RC-10	東日本大震災復興祈念・葛巻町60周年記念事業「第16回葛巻町植樹祭」（岩手）	77
26震災RC-11	第三次緑と木を通じた子供たちのふれあい事業（青森）	77
26R-01	道南地方の海岸林の整備と森林環境教育（北海道）	78
26R-02	「木育」推進プロジェクト（北海道）	78
26R-03	子供たちが主役で広葉樹の森づくり（岩手）	79
26R-04	森林の整備（緑の回復事業）（宮城）	79
26R-05	泉ヶ岳芳の平森林再生整備計画事業（宮城）	80
26R-06	花いっぱい森プロジェクト（山形）	80
26R-07	川内村いのちの森づくり植樹祭（福島）	81

26R-08	筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり（茨城）	81
26R-09	未来の担い手による里山再生プロジェクト～いのちをつなぐ里山を未来へ～（茨城外）	82
26R-10	ドングリの木植樹会（茨城）	82
26R-11	東日本大震災復興支援 緑化木育苗（千葉）	83
26R-12	名郷（上名栗）植樹プロジェクト（埼玉）	83
26R-13	三宅島復興支援森林づくり交流事業（東京）	84
26R-14	水源を守ろう、川上と川下の連携で森林整備（神奈川）	84
26R-15	千年の森－みんなでつくるふるさとの森－いのちの森再生八方台育樹・植樹（新潟）	85
26R-16	次世代につなぐ里山づくり（福井）	85
26R-17	普通の人々が当たり前のように森づくりに関心が持てる社会をつくるための 森林体験活動（長野）	86
26R-18	下街道活性化事業（愛知、岐阜）	86
26R-19	災害に強い市民協働による「山から海までつながるいのちの森づくり」（静岡）	87
26R-20	斎王竹の道「緑の森公園」づくり（三重）	87
26R-21	命と絆の森づくり－防災と国際交流の植樹祭－（和歌山）	88
26R-22	平成26年度斐伊川流域荒廃林等再生整備住民交流会（島根）	88
26R-23	蒜山ブナ林整備事業と森林教室（岡山）	89
26R-24	沖縄伊是名村防風林植林（沖縄）	89
26R-25	尾の瀬山・オイスカ憩いの森（香川）	90
26R-26	今治地域住民と次代を担う青少年等による水源の森整備活動（愛媛）	90
26災R-01	源流の森復元事業（青森）	91
26災R-02	三宅島復興支援緑化再生プロジェクト（東京）	91
26災R-03	いのちを守る海岸防災林づくり復興支援（福島、宮城外）	92
26災R-04	高尾山周辺森林の台風被害跡地の風倒木処理および雪害曲がり木処理技術研修（東京）	92
26災R-05	市民・企業・行政の協働による広島県竹原市の被災森林回復のための植林活動（広島）	93
26災R-06	海岸防災林植樹（静岡）	93
26災R-07	五頭「みんなの森づくり」と「崩落法面緑化」事業（新潟）	94
26災R-08	「蔵作の未来の森」づくりプロジェクト（福井）	94
26災R-09	揖保川源流の森（14号地植樹）（兵庫）	95
26災R-10	徳島県那賀町木沢森林整備事業（徳島）	95
26災R-11	「地球に緑を 桜島を緑に」どんぐり照葉樹の森づくり（鹿児島）	96
26ふR-01	松前桜の森維持・造成事業（北海道）	96
26ふR-02	十勝牧場白樺並木再生事業（北海道）	97
26ふR-03	三陸復興国立公園階上岳ヤマツツジ移植事業（青森）	97
26ふR-04	土淵町大洞のヤマザクラ樹勢回復事業（岩手）	98
26ふR-05	いこいの森再生事業（秋田）	98
26ふR-06	「ふるさとの森林再生事業」（山形）	99
26ふR-07	宇都宮市陽光地区青少年育成会植林事業（栃木）	99
26ふR-08	ふるさとのツツジ並木救助活動（群馬）	100
26ふR-09	睦沢町ひと・もり・さと再生事業（千葉）	100
26ふR-10	宇津貫緑地（八王子市）の森の再生、希少植物の保全、植樹祭準備（東京）	101
26ふR-11	丹沢（二ノ塔）の森再生事業（神奈川）	101
26ふR-12	高麗山公園、桜を中心とした森再生活動（神奈川）	102
26ふR-13	ブナの森はみどりのダム植樹祭（新潟）	102
26ふR-14	ササユリの咲く森再生プロジェクト（富山）	103
26ふR-15	「ふるさと絆の森」再生事業（石川）	103
26ふR-16	国立青少年交流の家「富士のさと」森づくり事業（静岡）	104
26ふR-17	「スギを活かして里山を取り戻そう」活動（愛知）	104
26ふR-18	地域の歴史を残す森林整備事業（愛知）	105

26ふR-19	小面積皆伐による里山再生モデル事業（三重）	105
26ふR-20	辻区里山整備活動（滋賀）	106
26ふR-21	地域本来の自然植生を生かした持続的なふるさとの森づくり（京都）	106
26ふR-22	能勢町における「三草山ゼフィアスの森」再生事業（大阪）	107
26ふR-23	ふるさとの貴重な森林保全事業（兵庫）	107
26ふR-24	頂上展望台の景観と荒廃した森林地域を再生する（奈良）	108
26ふR-25	観光地紅葉林整備事業（鳥取）	108
26ふR-26	目田森林公園～神話の国を見晴らす、美しい山頂復活事業（島根）	109
26ふR-27	長船刀剣の森づくり（岡山）	109
26ふR-28	集まれ光井っ子！里山整備プロジェクト（山口）	110
26ふR-29	羽床富士の里山景観再生プロジェクト（香川）	110
26ふR-30	自然ふれあいの森づくり（香川）	111
26ふR-31	山と里の豊かな森林再生事業（高知）	111
26ふR-32	ダイヤモンド入居30周年記念ふるさと記念の森林づくり事業（長崎）	112
26ふR-33	黒石区の椋の木再生事業（熊本）	112
26ふR-34	南九州市立川辺小学校大ケヤキ修復再生事業（鹿児島）	113

国際協力

26KC-01	日本ーラオス友好の森展示林造成事業（ラオス）	116
26KC-02	ヒマラヤ山岳村落周辺自然林再生活動（パキスタン）	116
26KC-03	長江上流域植林協力事業（中国）	117
26KC-04	地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業（中国）	117
26KC-05	地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業（マリ）	118
26KC-06	タイ国南部津波被災地におけるマングローブ植林活動（フェーズ2）（タイ）	118
26KC-07	フィリピン国レイテ島北西部の台風被災地における 地域復興を目指した植林事業（フィリピン）	119
26KC-08	平成26年度緑の国際ボランティア研修（フィリピン）	119
26KC-09	インドネシア 森林と水保全のための学校地域連携プロジェクト（インドネシア）	120
26KC-10	ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び 荒廃林地の造林事業（ロシア）	120
26KC-11	モンゴル森林火災被災地再生事業（モンゴル）	121
26KC-12	チャウカン・コミュニティ・フォレスト造成事業（ミャンマー）	121
26K-01	中国内モンゴルにおける子ども植林及び環境教育普及事業2014（中国）	122
26K-02	育林思想普及のための学校植林と環境教育セミナー開催（第2次）（フィリピン）	122
26K-03	中国・内モンゴル飛沙、沙漠化防止緑化活動（中国）	123
26K-04	フィリピン国ケソン州ラモン湾の養殖放棄池におけるマングローブ植林（フィリピン）	123
26K-05	乾燥・火山灰土壌におけるクラゲチップ及び生分解プラスチックポットの活用による 水源涵養林の整備（インドネシア）	124
26K-06	カンボジア世界遺産プレアピヒア寺院周辺地区での 森林教育と植林活動（第4年目）（カンボジア）	124
26K-07	フィリピン国ボホールにおける持続可能な発展を目指した 植林活動の推進（フェーズ3）（フィリピン）	125
26K-08	霊武市日中友好防風固砂モデル林（中国）	125
26K-09	モンゴル国中央県植林事業（モンゴル）	126
26K-10	中国・河北省豊寧県砂漠植林「緑のダムづくり」（中国）	126
26K-11	徳勝城地域における沙丘からの流沙防止のための植林3（中国）	127
26K-12	ブルキナファソ国コングシ郡におけるバム湖周辺地に対する 生活改善のための植林プロジェクト（ブルキナファソ）	127
26K-13	インド国ビタカニカ湿地の沿岸環境再生にむけた住民参加型植林と 持続可能な開発のための環境教育の推進（インド）	128

26K-14	セレゲレン苗木生産センターの設立（モンゴル）	128
26K-15	タイ北部チェンライ県森林再生プロジェクト（タイ）	129
26K-16	モバ小学校に学校林の造成（マリ）	129
26K-17	モンゴルゴビ植生樹林再生・砂漠緑化実験プロジェクト（モンゴル）	130
26K-18	ダグマ山系ラムダラグ村生態系保全のための森林農業推進事業（2年目）（フィリピン）	130
26K-19	フィリピン ベンゲット州トゥブライにおける森林再生と 森林栽培モデル事業（フィリピン）	131
26K-20	中国・内モンゴル沙漠化防止及び循環型経済林造成（中国）	131
26K-21	岐阜県と江西省との友好を未来へつなぐ森林づくり事業（中国）	132
26K-22	中国新疆昌吉市における生態園の植樹事業（中国）	132
26K-23	タジキスタン国における森林および草地生態系保全のための植林（タジキスタン）	133
26K-24	西ネグロス州における少数民族の組織化による 「水源の森」再生活動（第1年次）（フィリピン）	133
26K-25	アラル海旧湖底の砂と塩分移動防止のための植林活動（カザフスタン）	134
26K-26	マダガスカルの高原地帯における土砂崩れの自然災害を防ぐための 植樹による整備事業（マダガスカル）	134
26K-27	ネパール ノールパラシイ郡の小農村におけるアグロフォレストの果樹植林による 拡大及び土砂流出防止のための植林と植林教育（ネパール）	135
26K-28	黄土高原における森林再生事業（中国）	135
26K-29	ブラジル国パラ州トメアス郡におけるアグロフォレストリーを活用した 水源涵養植林事業（ブラジル）	136
26K-30	ケニアの乾燥地におけるムカウ（MELIA VOLKENSII）の普及による 緑化推進と生活向上事業（ケニア）	136
26K-31	北京北部地域水源地植林事業（中国）	137
26K-32	ケニア国エランガタウアス生態系管理プロジェクト（ケニア）	137
26K-33	中国四川省彭山県水土流失防止林緑化事業（中国）	138
26K-34	徳島烏雲の森植林事業（中国）	138
26K-36	ミャンマー連邦共和国シャン州（南部）山岳少数民族地域における 学校林造成及び環境教育事業（ミャンマー）	139
26K-37	タンザニア国、首都ドドマ市近郊における村落林業（タンザニア）	139
26K-38	セネガル・アフリカンマホガニー再生事業 フェイズ2（セネガル）	140
	緑の募金事業報告集索引（事業実施団体別）	141

森林の整備

フォレスト21 さがみの森

「フォレスト21 さがみの森」連絡協議会

東京都文京区本郷

●事業概要

目的は、国有林内約19haをフィールドにおいて、国民参加のモデルフォレストづくりを推進するため、①環境や資源の持続性に配慮した森林造成活動、②地域・企業・学校などと連携した森林環境教育、③森づくりの知識・技術のスキルアップ、④森林内で心身をリフレッシュできる活動などを推進し、「森と人」、「人と人」のきずなを再構築する森づくりの輪を拡げることである。

●事業成果

- ・下刈りや植栽後10数年の人工林の枝打ち・保育間伐・除伐・ツル切りなど森林造成作業や作業道整備を行った。
- ・学校との協働での昆虫標本作りや動植物観察などのレクリエーション活動は企画不足で実施できなかったが、相模原市まち・みどり公社、オムロンの協働で森林体験イベントを企画した。

●自己評価

森林整備活動の継続によって、技術向上や若年齢層の参加者が徐々に増えており、また、巣箱づくりや枝打ち体験などを通じて、普段森林に入る機会の少ない多数の方々が、森林に親しみ理解を深めた。

●参加者の声

- ・はじめての山作業だったが色々な作業体験がよかった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.5ha	2.7ha	161人	108人	269人
実施場所：神奈川県相模原市				



歩道づくり

アドプト フォレスト 仏並エネオスの森づくり活動

いずみの森の会

大阪府堺市南区

●事業概要

目的は、地元企業職員、家族などとの協働により、豊かで美しい森づくりを行うことにより、水源涵養林、環境林として整備するものであり、主な活動は、林内整理、間伐、自然観察会などである。

また、会員の技術向上と安全確保のための講習会も実施している。

●事業成果

- ・間伐については、計画に対して、8割程度完了したため、見通しの良い森林となった。
- ・しかし、周辺部は倒木が多い上、雑木・背の高いササなどが繁茂し、急斜面のため、会員のみによる林内整備のほか、エネオス社員によるササ刈りを実施した。

●自己評価

- ・参加数が常に予定をオーバーし、多い時はフィールドに100人もの人数で溢れることがある。
- ・地区の面積から間伐する班数が限られるため、経験の程度に応じた作業班編成により、難易度の高い間伐やササ刈などに区分して行った。

●参加者の声

- ・予想よりも身体的負担が大きく感じた。
- ・上級者と初級者を分けたのは良い試みである。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
下刈面積	除伐面積	間伐面積	府内	計
0.05ha	0.05ha	0.25ha	260人	260人
実施場所：大阪府和泉市仏並町				



林内整備

岡山水源の森整備事業

グリーンOB会

岡山県津山市福田

●事業概要

目的は、マツクイムシ被害箇所への広葉樹植栽、有用広葉樹育成のための活動を企業社員・ボランティアと協働で行い、森林の持つ保水機能や、生物多様性に資する森づくりをすることであり、主な活動は下刈り、作業道・歩道修理である。

●事業成果

- ・下刈りやツル切りを行い、参加者は心地良い汗を流した。
- ・作業道に砂利敷きを行ったことから、アクセスが改善された。

●自己評価

- ・企業の社員・家族が作業で汗を流し、森林づくりの大変さや大切さを学んだことは有意義であった。
- ・今後も災害のない安全な作業を継続していく。

●参加者の声

- ・秋空の下で作業をやり遂げることができて満足した。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
下刈面積	作業道修理	歩道修理	県内	計
0.47ha	1200m	500m	56人	56人
実施場所：岡山県美咲町				



下刈り作業

岡山県日本リスの森整備事業

グリーンOB会

岡山県津山市福田

●事業概要

目的は、マツクイムシの被害により広葉樹林化している森林において、豊かな生態系と美しい景観を有する森への誘導を図るものであり、主な活動は、被害木の伐採、下刈り、歩道修理である。

●事業成果

- ・過去に植栽した木々に光が当たり、今後の健全な成長につながる。
- ・歩道を整備したことにより、適切な管理が可能となった。

●自己評価など

- ・災害もなく、事業を終えることができた。
- ・参加人数が少なかった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
下刈面積	被害木伐採	歩道修理	県内	計
0.25ha	5本	600m	12人	12人
実施場所：岡山県久米南町				



下刈り作業

小石原川水源の森づくり事業

あまぎ緑の応援団委員会

福岡県朝倉市菩提寺

●事業概要

目的は、水資源の保全とともに、人と森が共生する森づくりのため、江川ダム上流の森林を企業ボランティア及び地元ボランティアにより整備するものであり、主な活動は、ヤマモミジの植栽、下刈り、シカ被害防除ネットの設置である。

●事業成果

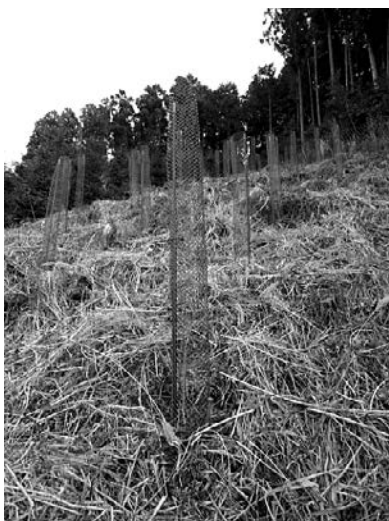
- ・これまでのシカ被害森林に植樹したことにより、木のなかった森林がきれいに整備された。
- ・被害防除ネットの設置で植栽木が健全に成長できる。

●自己評価など

- ・計画通りの植樹とシカ被害防除ネットの設置ができた。
- ・今後は、シカネットの確認し、シカ被害を防止していきたい。

実績とりまとめ表

作業内容		
植付面積	植付本数	下刈面積
0.70ha	400本	2.10ha
樹種：ヤマモミジ		
実施場所：福岡県東峰村		



シカ被害防除ネットの設置

原村あゆみの森整備事業

原村あゆみの森実行委員会

長野県茅野市宮川

●事業概要

目的は、原村の村有林及び学校林においてENEOS社員などのボランティアにより、下刈り、枝打ち、除伐などの森林整備活動を行うことであり、①森林整備の意義の確認、②学校林と村有林の枝打ち・除伐、③森林環境教育を行った。

●事業成果

- ・藪や灌木で覆われていた森林が明るくなり、達成感を得られた。
- ・体験することで、自然を大切に作る心を育て、森林に触れ合うことで身近に感じることができた。
- ・参加者の親子連れを中心に開催した森林教室で、森林に対する理解を深めた。
- ・チェーンソー・手鋸で除伐などを行うため、初心者や子ども連れのグループには難しい作業となった。
- ・今後も、ボランティア団体との連携を密にし、安全な保育作業のための体制整備を進める必要がある。

●参加者の声

- ・手を加えたことにより、貴重な森林見通しが良くなり、達成感があり、気持ちも良かった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	枝打面積	県内	県外	計
1.0ha	0.9ha	0.03ha	58人	171人	229人
実施場所：長野県原村					



森林整備作業

地球温暖化防止のための 北海道の森づくり事業

北海道林業技士会

札幌市中央区北4条

●事業概要

目的は、平成16年の風害跡地に点在する広葉樹二次林などにおいて、企業ボランティアの参加による活力ある森林づくりを行い、地球温暖化防止に資するものであり、主な活動は、広葉樹の除伐、トドマツ造林地の下刈り、森林観察会を行った。

●事業成果

- ・予定通り森林整備などを実行した。
- ・小学生も参加し、観察会で森林について学んだ。

●自己評価

- ・企業ボランティアであるエネオスとの事前調整を十分に行った。
- ・除伐や自然観察会などに企業の社員・家族が参加し、森林に触れたことは有意義だった。

●参加者の声

- ・自然観察でエネオスの森の沿革や森の素晴らしさ知った。
- ・下刈りや、トドマツ補植、天然林除伐などの森づくりに汗を流し、満足した。

実績報告とりまとめ

作業内容		参加者数（道内）			
天然林除伐	下刈面積	（エネオス） 大人	（エネオス） 小学生など	道林業技士 会など	計
30本	0.21ha	70人	13人	11人	94人
樹種：トドマツ					
実施場所：北海道千歳市（蘭越国有林）					



下刈り作業

「キリン千歳水源の森」整備の 森づくり

北海道林業技士会

札幌市中央区北4条

●事業概要

目的は、平成19年に設定された「キリン水源の森」において、水源涵養に資する森づくりをするものであり、主な活動は、キリンビール社員・家族が参加して枝打ち、除伐などである。

●事業成果

- ・森林整備活動は予定通り行った。
- ・葉っぱのシールづくり、森林観察については降雨のため中止した。

●自己評価

- ・参加者は、除伐、枝打ち作業の大切さを学んだ後、安全に作業を行った。
- ・事前調整したものの、天候で中止したメニューがあったので、さらに綿密な打合せが必要である。

●参加者の声

- ・雨の中、参加者は合羽を着ながらの作業だった。
- ・自分たちの森林整備なので真剣に行った。

実績報告とりまとめ

作業内容	参加者数（道内）			
	（キリン社員など）		北海道林業 技士会など	計
除間伐作業	大人 （ボーイスカウトなど含む）	子ども		
	0.3ha	156人	34人	26人
実施場所：北海道千歳市				



アカエゾマツの枝打ち

第66回全国植樹祭に向けた市町の緑化推進事業

第66回全国植樹祭石川県実行委員会

金沢市鞍月

●事業概要

目的は、翌年度に全国植樹祭を開催する石川県の全市町において、植樹祭開催の機運を醸成するものであり、主な活動は、みどりの少年団や地元住民参加による植樹や各種体験イベントである。

●事業成果

- ・海岸を有する市町では、防風、防潮、マツクイムシに強い抵抗性クロマツを植樹し、荒廃した海岸林が整備された。
- ・多くのイベントがメディアに取り上げられたことから、多くの県民にPRできた。
- ・普段、森林と触れ合う機会の少なかった地元住民も森林の重要性や働きについて学んだ。

●自己評価

- ・全市町で植樹できた。
- ・市町によっては温度差があったので、同じ機運で開催できるよう、働きかけを行う必要があった。

●参加者の声

- ・当地では、アカマツが再生したので、何十年後かにマツタケが生える山になるのが楽しみだ。(70代男)
- ・植えた花木の花見が楽しみだ。(女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
1.98ha	6100本	2012人	2012人
樹種：クロマツほか			
実施場所：金沢市、能登町、穴水町、珠洲市、白山市、七尾市、内灘町、宝達志水町、川北町、輪島市、津幡町、小松市、加賀市、野々市市、能美市、志賀町、羽咋市、かほく市、中能登町鹿島小学校			



抵抗性クロマツの植樹

「積水化学の森・うきは」生物多様性保全の森づくり

うきは市森林セラピー実行委員会

福岡県うきは市吉井町

●事業概要

目的は、福岡市の水源地域において、企業のCSR活動と地元住民が連携して、豊かな生態系と高い保水機能を持つ森づくりをするものであり、主な活動は、①下刈り、②間伐である。

●事業成果

- ・単独の作業でなく、植林→下刈り→間伐の一連の作業を行うものである。
- ・昨年植林した現場での下刈りでは、参加者も自分の植えた木に愛着を持って作業していた。
- ・育林がいかに大変で大切かを学べる機会となった。

●自己評価

- ・炎天下での活動になり、小さな子ども達にはきびしかった。
- ・炎天下のため、活動時間は短かったが、「なぜ、この時期に活動するのか」十分説明する必要がある。
- ・参加者への気配り、熱中症対策が不可欠である。

●参加者の声

- ・昨年植えた木が生き生きと育っており、子どもの成長を見るようだ(40代男性)
- ・間伐した後の森を見たとき、爽やかになった(20代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.37ha	0.40ha	188人	93人	281人
実施場所：福岡県うきは市				



ソル切り・下刈り作業

「積水化学の森・木津川」 生物多様性保全の森づくり

木津川市地域連携保全活動応援団

京都府木津川市木津南垣外

●事業概要

目的は、オオタカやカスミサンショウウオなどの希少動物が生息する地域において、これらの保護と豊かな自然を守るため、積水化学グループ社員・家族を中心に里山の維持・再生活動を行うものであり、主な活動は、植付、下刈り、タケの除間伐、通路の維持管理である。

●事業成果

- ・協働で荒れて通れなかった里道などを復旧したことから、一般の方でも散策できるようになってきた。
- ・今後は、通路の新たなルート開拓や竹林の除間伐作業などの範囲を広げていきたい。

●自己評価

- ・希少種などの環境調査を定期的実施していきたい。

●参加者の声

- ・自然と触れ合う機会がなかったので、少し童心に戻れた気がする。
- ・この様な活動をしている市や団体があるから自然が守られていると実感した。

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	計
0.16ha	14本	0.3ha	0.2ha	0.7ha	211人
樹種：クヌギ					
実施場所：京都府木津川市					



竹林整備

崩壊跡地の植生復元事業と 周辺の植生調査

(特非) 森林との共生を考える会

仙台市太白区青山

●事業概要

目的は、栗原市耕英地区において、地震による大規模な山腹崩壊の災害復旧工事を行った地域に災害前の森林を復元することであり、栗駒周辺から掘取りした広葉樹を苗畑に仮植し植樹するまで育てている。

今回は、栗駒での最後の植樹活動で、これまで育てた苗がたくさんあったので、秋と春の2回植樹を行い、さらに活動の最後に栗駒山系で植生の環境教育を行った。

●事業成果

活動は今年で5年目だが、これまでに植樹した苗は場所により、20～30%は枯れている。

東日本大震災津波で失われた松林再生が注目され、栗原の災害が少し風化しつつある中で、当会の災害復興跡地の植樹活動は意義のあるものになっている。

●自己評価

一昨年ブナの大豊作によるものか、植樹会場周辺にたくさんブナの稚樹が育っていたので、森の復元を足下から体感したような気がしたが、専門家からその稚樹はほとんど育たないと言われ森林再現の難しさを再確認した。

これからも地域の人々とともに植樹活動を継続していきたい。

●参加者の声

- ・暑い季節の草刈り作業は大変だが充実した作業で満足している。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	苗畑整備	県内	計
1ha	400本	0.6ha	230人	230人
樹種：ミズナラ、カエデ、ブナ、ヤマザクラ、モミジ				
実施場所：宮城・岩手・秋田3県にわたる栗駒山				



ミズナラ、カエデなどを植樹

宮城・名取「プロ野球の森」設定 記念植樹

(公社)宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

目的は、東日本大震災の津波により甚大な被害を受けた名取市の沿岸域において、日本プロ野球機構などの支援により海岸防災林の再生と、震災復旧の気運を醸成するものであり、抵抗性クロマツの植樹を行った。

●事業成果など

- ・地域住民や学生、プロ野球関係者など幅広い方々が参加した。
- ・植樹作業を初めて経験した人々も海岸防災林の重要性を学んだ。
- ・活動がマスコミを通じてPRされたことから、今後の広がりが期待できる。

●自己評価など

- ・計画どおり実施したが、参加者が予定より少なかったので、休日開催も検討すべきだった。
- ・国有林との調整に時間を要したので、今後、改善したい。
- ・植栽地表面に水たまりがあり、植栽作業に苦勞した。
- ・道路と植栽地に高低差があり、参加者の安全対策や資材運搬で配慮を要した。

●参加者の声

- ・成長に長い時間はかかるが、若い人達と一緒に植樹できてうれしい(地域住民60代男)
- ・今日植えた苗を自分たちで守っていかなければならない。(高校生男)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.18ha	1122本	70人	13人	83人
樹種：クロマツ、コナラ				
実施場所：宮城県名取市				



クロマツを植樹

積水化学・水源の森づくり事業

(公社)北海道森と緑の会

札幌市中央区北4条

●事業概要

目的は、水源林として相応しい豊かな森を造成するものであり、積水化学グループの社員・家族が植樹などの森林整備と、多様な体験活動を行った。

●事業成果

- ・植樹会では、趣旨説明などの後、参加者全員で植樹を行った。
- ・樹種は、この地域の自生しているヤチダモ、ヤマモミジ、ハルニレ、イタヤカエデ、エゾヤマザクラ、シラカンバである。植樹が初めての人も多く、その大切さを実感した。

●自己評価

- ・事業は計画どおり行った。昨年に続いての参加者も多く、植樹活動への理解は得られており、評判も良い。

●参加者の声

- ・森林の役割を理解する良い機会になった。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	地拵え	道内	道外	計
0.11ha	200本	0.12ha	0.11ha	79人	2人	81人
樹種：ヤチダモ、ヤマモミジ、ハルニレほか						
実施場所：北海道当別町						



ヤチダモ、ヤマモミジ、ハルニレなどを植樹

いのちの森づくり植樹祭 IN 奥沢水源地 VOL 2

“北海道” 千年の森プロジェクト

北海道小樽市天神

●事業概要

目的は、平成23年に施設の老朽化で閉鎖となった奥沢水源地において本来の植生による「ふるさとの森」、「いのちの森」を整備するものであり、主な活動は、植樹と樹勢回復である。

●事業成果

- ・第2回目なので、道、市などの関係機関との協働体制もとれ、スムーズな運営ができた。
- ・近隣の小・中学生と家族の参加が多く見られた。
- ・市内のボランティア団体がそれぞれ事業として参加し、資金面でも協力があつた。
- ・小樽市が進める奥沢水源地の公園化に向け、植樹による市民公園造りと、環境教育を進めていく。

●自己評価

- ・植樹は10年計画であり、町会や学校と連携して進めるものなので、今後は苗づくりなどの協力を働きかけていく。

●参加者の声

- ・会場の都合上、講演会と植樹祭の場所が離れており、両方の参加は大変だ。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	道内	道外	計
700㎡	2200本	300本	220人	20人	240人
実施場所：北海道小樽市					



10年計画で植樹がすすめられる

木質バイオマス燃料普及プログラム

(特非) 吉里吉里国

岩手県上閉伊郡大槌町

●事業概要

目的は、手入れ不足の里山人工林の整備と、間伐材のバイオマス利用を行うことにより、東日本大震災被災地の自然環境の回復や、再生可能エネルギーの普及を推進することである。主な活動は、下刈り、間伐のほか、薪文化を伝えるイベントの開催である。

●事業成果

- ・下刈り間伐により、手入れ不足の森林がきれいに整地され、太陽の光が入るようになった。
- ・間伐材から薪を生産し、地域の薪ストーブや宿泊施設の薪ボイラー用の燃料として使用した。

●自己評価

- ・活動を継続できたのが大きい。
- ・地域の森林が少しずつ整備され、地域の人にも活動が徐々に知られてきた。
- ・今後は、安定的な薪の生産が可能になるため、再生可能エネルギーの普及を進めたい。

●参加者の声

- ・間伐材を薪にすることで、先祖が守ってきた森林がきれいになるのは望ましい。(山林所有者)
- ・昔は自分の山の木を伐って使っていたので、そんな文化が戻ってくれば良い。(山林所有者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	間伐面積	薪まつり	県内	県外	計
1ha	1ha	1回	40人	140人	180人
実施場所：岩手県大槌町					



間伐

湯河原で進める企業の森づくり 体験活動事業

(公財) かながわトラストみどり財団

横浜市西区岡野

●事業概要

目的は、町民の重要な水源地域において、下層植生の豊かな森林づくりと環境教育活動を行うものであり、主な活動は間伐・除伐・植栽や自然観察会などである。

●事業成果

- ・間伐、除伐により、ヒノキ人工林が明るくなり下層植生の生育環境が改善された。
- ・植栽、下刈りにより、参加者が長期的な森林づくりを体験できた。
- ・様々な活動に参加することにより、活動フィールドへの愛着、関心が高まった。
- ・森林と触れ合う機会の少ない参加者が、森林づくりの大変さや大切さ、森林の重要性について学んだ。

●自己評価

- ・植栽・下刈りは、森づくりの第一歩として参加者に啓発できた。
- ・除伐などで林内が見違えるほど明るくなり、達成感がある。
- ・自然観察会などは親子で参加できるので定期的に情報を発信し、参加者を増やしたい。

●参加者の声

- ・自然との触れ合いや間伐体験ができて良かった。
- ・ボランティア活動の大変さを感じた。

実績とりまとめ表

作業内容						参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	水源整備	計
0.02ha	50本	0.06ha	0.02ha	0.5ha	0.03ha	125人
樹種：クヌギ、コナラ						
実施場所：神奈川県湯河原町						



下刈り

緑のボランティアの森記念造成事業 「いずみの森21」

いずみの森連絡協議会

大阪市住之江区南港北

●事業概要

目的は、「稲倉池」を囲む約30haの里山林を本来の里山の姿に戻すとともに、森林ボランティアなど人材育成を図るものである。シラカシなどのうっ閉や「カシノナガキクイムシ」の被害拡大を受けて、間伐をしたところ、コナラからはその後の萌芽を確認している。

夏季は下刈りや整理伐を行っているが、活動地内のアカマツ枯死木が危険なことから、冬季はコナラ大径木とアカマツ枯死木の伐倒が主な活動である。

●事業成果

十数年活動を繰り返してきたことから、活動地の約80%に手が加わり、見違えるほど林内が明るく、シダ類も元気な緑色を呈するなど健全化している。

●自己評価

初期の手鋸、手鎌などの手作業から、チェーンソーや刈払機の作業となり、計画内容はほぼ達成し、最近では、植生の更新のため、大径木の伐倒にも取り組んでいる。

近年は里山保全に偏る傾向や、活動歴の長短による経験や知識の差が広がっていることから、活動内容の見直しが必要となっている。

また、会員の高齢化や地域住民の参加に対応できる安全対策などが課題である。

●参加者の声

ゆったり過ごしたり、大径木の伐倒によって開放感や爽快感を得られるとの声が多く出されている。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
下刈面積	除伐面積	間伐面積	府内	計
1.51ha	0.42ha	0.22ha	462人	462人
樹種：スギ、ヒノキ				
実施場所：大阪府泉佐野市				



枯れたアカマツの伐採

「未来へつなぐ共学の森」事業

(特非) 宮城県森林インストラクター協会

宮城県宮城郡利府町

●事業概要

目的は、NPO ボランティア、学校、企業などの協働により、里山の再生と環境教育に資する整備を行うものであり、植樹祭、スギ・雑木林の整備を行った。

●事業成果

- ・ササと枯損木で荒廃した森林が風通しの良い山に変わった。
- ・新しい遊歩道が完成し散策などに活用できる。スギ・ヒノキの間伐材の有効活用のため、子ども達の環境教育や遊具などを作成した。

●自己評価

- ・大きなクリなどの枯損木の処理などが大変で、計画よりも進まなかった。
- ・技術的な面でスキルアップが図られた。

●参加者の声

- ・自分たちのフィールドみたいに愛着が出てきた。(みどりの少年団)
- ・ヒノキが大好きになった (同)

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.27ha	386本	2.6ha	1.7ha	0.2ha	1029人	95人	1124人
樹種：クヌギ、カンワ、マユミほか							
実施場所：宮城県利府町 宮城県有林							



クヌギ、カンワなどを植樹

北蔵王水源の森造成事業

宮城森の会

仙台市青葉区東照宮

●事業概要

目的は、仙台市の水源地域である北蔵王山麓において、キリンビール社員・家族、森林ボランティアなどにより森林づくりを行い、生活用水などの安定確保や人と森林との共生に資するものである。主な活動は、つる切、除伐、歩道整備である。

●事業成果

- ・多くの地域住民が参加して、重要な水源地の森林の保全・整備を実施した。
- ・森林と触れ合う機会が少ない市民が、直接、保育作業などを行い、森林の役割について、理解を深めた。

●自己評価

- ・計画どおり、つる切・除伐及び歩道整備などを実施した。
- ・つる切・除伐によって健全な森林づくりに歩道整備によって、今後の適切な手入れにつながる。

●参加者の声

- ・森林と水、森林と自然環境の係わりや、これを守ることの大切さがよく分かった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
つる切り	除伐面積	歩道整備	県内	計
0.5ha	0.5ha	1 km	50人	50人
実施場所：宮城県川崎町				



森林整備

「赤西溪谷・水源の森」保全事業

(特非) ひょうご森の倶楽部

神戸市中央区中山手通

●事業概要

目的は、企業、森林管理署と協働した森林整備や教育研修などにより、環境林、水源かん養林を保全することであり、主な活動は、①下刈り、遊歩道の補修、②新入社員研修、森林観察、水棲生物観察、③間伐材を使ったコースターづくりなど、④企業との他県の森づくり活動視察である。

●事業成果

- ・7年目に入り、企業、NPO、森林管理署による保全活動の基盤が確立された。
- ・学生の水棲生物研究フィールドとして活用され、参加者も広がった。
- ・新入社員研修に利用され、企業の環境貢献イメージの向上に寄与している。

●自己評価

- ・現在の活動エリアが、国定公園、保安林であり、森林整備系の活動に一定の制限がある。
- ・間伐作業を計画したが、悪天候のため実施できなかった。来年度も同様の対応が必要になる。
- ・揖保川の源流域での生物多様性保全活動などをする計画だったが、満足できる活動にならなかった。

●参加者の声

- ・子ども、女性の参加者が増加している。
- ・赤西川で子どもたちが、水棲生物を採集・観察するなど、夏休み活動の素材として役立っている。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	歩道改修	県内	県外	計
0.1ha	100m	128人	107人	235人
実施場所：兵庫県宍粟市 赤西国有林				



植林地の下刈り作業

植栽地造成と植樹による 筑波山水源の森づくり

(特非) 地球の緑を育てる会

茨城県つくばみらい市陽光台

●事業概要

目的は、管理不足で成育不良や立枯れ木が目立つ水源地の人工林において、間伐などや広葉樹の植栽を行い、水源涵養機能の高い森林へ誘導するものである。

主な活動は生育不良木の除・間伐、ササの除去、シイ、カシ、タブなど、常緑広葉樹の植栽である。

●事業成果

- ・これまでの水源の森づくりでは、生育の悪いスギ、ヒノキを伐採した後に植栽した常緑広葉樹は、健全に生長している。
- ・また、スギ、ヒノキ、常緑広葉樹の競合によって、豊かな混交林を形成している。
- ・アズマネザサが繁茂する落葉樹間に植えられた苗は、夏の間、葉で光を遮られ、生長はゆっくりだが、健全に成長している。

●自己評価

- ・根気と体力の要る作業だが、多くの山林の抱える課題解決の一助になるのではと、今後も続けていきたい。

●参加者の声

- ・重労働だが面白い。
- ・作業を終えて下山する頃には筑波山の英気をもらった気がする。

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数		
植栽面積	植栽本数	下刈面積	間伐面積	耕起面積	県内	県外	計
750㎡	1500本	750㎡	750㎡	750㎡	103人	26人	129人
樹種：シイ、カシ、タブなど							
実施場所：茨城県つくば市（筑波山神社林内）							



間植樹

富士山緑の募金の森造成事業

富士山緑の募金の森造成実行委員会

静岡県沼津市

●事業概要

目的は、台風による風倒被害地「富士山緑の募金の森」において、地元NPO団体の協力の下、企業の社員が社会貢献活動を行いつつ、ヒノキ、広葉樹による森林の復元を行うものであり、主な活動は、枝払い・つる切り、歩道整備、子どもたちを対象とした森林教室である。

●事業成果

- ・台風被災地に植栽したヒノキ、広葉樹の成長により、森林が復元してきている。また、ヒノキの成長を阻害するつる類を除去したことにより、健全な成長につながった。
- ・ローソン及びびりコーリースの社員が参加し、自然に触れながら森林の重要性について理解を深めた。
- ・子どもたちが森林を散策しながら、主な樹種・動物、森の働きなどについて学習した。

●自己評価

- ・地元ボランティア、企業社員の参加により計画通りの作業ができた。
- ・獣害防止柵を設置しているものの、シカの侵入が見られることから、現地検討会などを開催したので、今後の駆除などを効果的に行う必要がある。
- ・枝払いなどのほか、幅広い作業を検討する。

●参加者の声

- ・久々の作業で汗を流し、森林が生き生きとしていると感じた。(企業社員)
- ・森林管理署の職員の指導により、森のことが分かった。(森林教室参加者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
枝払い・つる切り	歩道修理	県内	県外	計
3.8ha	600m	103人	162人	265人
実施場所：静岡県富士宮市				



森林整備

企業との協働による「高梁美しい森」森林整備事業

(特非) フォレストフォーピープル岡山

岡山県高梁市浜町

●事業概要

目的は、高梁市有林の一部「高梁美しい森」内に「ENEOS みらいの森」を選定し、JX日鉱日石エネルギー、高梁市、本会との協働による森づくり活動を実践し、森林環境保全への貢献、地域社会との交流、地域の発展に寄与することである。

平成24年より、10年計画で実施しており、今期は、下刈り、遊歩道・マツ林整備などを行った。また、間伐材など利用した炭焼きやキノコ栽培、樹木プレートの設置、自然観然会などもあわせて実施した。

●事業成果

4回の活動の中で、遊歩道を設置し、林内の移動が快適になった。また、桃太郎マツ(耐性マツ)を植林し、キノコの生育しやすい環境としたので、参加者が「また、この森へ来よう」という気持ちを育むことができた。

●自己評価

3回の計画のうち2回が雨天のため、無理のない作業に変更したため、計画通りに作業が進まなかったことから、1回の追加活動を行った。

リピーターも含め毎回100人を超える参加者があり、大きな成果だと感じている。

●参加者の声

- ・自分たちで作った遊歩道(階段)を見て、次が楽しみになった。(参加者 男性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	計
0.3ha	200本	0.6ha	0.5ha	598人	598人
樹種：桃太郎マツ					
実施場所：岡山県高梁市松山(高梁美しい森)					



マツの植樹

水源地保全活動

美和木材協同組合

茨城県常陸大宮市鷲子

●事業概要

目的は、茨城県笠間市平町の北山国有林2.65haにおいて、水を生み出す森林を保全することであり、企業ボランティア50人で、間伐木の整理、遊歩道階段整備、森林教室などを実施した。

●事業成果

階段設置、遊歩道整備など、参加者全員が自然に触れることができ、達成感を味わった。

●自己評価

計画通りの成果を得た。

●参加者の声

- ・自然の大切さを感じ取れた。
- ・普段使い慣れていない道具を手にして怖かった。
- ・今後も参加したい。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
間伐木の整理、遊歩道階段整備、森林教室など	50人	50人
実施場所：茨城県笠間市平町（北山国有林）		



遊歩道の整備

絶滅危惧種ヤクタネゴヨウの森づくり植樹祭

屋久島・ヤクタネゴヨウ調査隊

鹿児島県熊毛郡屋久島町

●事業概要

2013年より「ヤクタネゴヨウ苗の里帰りプロジェクト」(林木育種センター九州育種場(熊本)の苗木を島内の住民が里親になり、後世に残す事業)をセンター、町、調査隊の三者協定で実施しており、植樹祭もその一環である。

屋久島町立「屋久杉自然館」の敷地内に植樹することにより、より多くの人々にヤクタネゴヨウを知ってもらい、有用な樹種であることを普及啓発する。

●事業成果

育成の結果、絶滅の危機を乗り越えることができれば、過去に丸木舟の材として利用されてきたヤクタネゴヨウを未来に引き継ぐことができる。

●自己評価

植樹した場所は多くの人々の目に触れるので、苗の成長の計測やシカ防除冊の点検などに今後も「ヤクタネゴヨウ苗の里帰りプロジェクト」を継続する。

●参加者の声

- ・大きく育ってくると嬉しいです。毎年生長を確認します。(50代 男性)
- ・100年後などのヤクタネゴヨウの森を見ることができなけれど、想像するとうれしい。(60代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	間伐面積	県内	県外	計
1ha	50本	1ha	20人	30人	50人
樹種：ヤクタネゴヨウ					
実施場所：鹿児島県屋久島町 屋久杉自然館敷地内					



ヤクタネゴヨウの植樹

みんなで作ろう 海の森プロジェクト

(特非) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町

●事業概要

海の森づくりは、植樹活動や、様々なイベントが行われているが、環境保全や生物多様性に貢献する活動は一部に限られている。

目的は、育樹活動並びに生物の視点から海の森を理解する環境活動を行い、海の森づくりの意義や特徴を知り、今後の様々な活動に対する興味を促すことである。

●事業成果

春夏秋冬の3シーズンに親子対象イベント（春は海の森を知るための生物調査、夏は生物調査とともに7つの環境づくり、秋は夏につくった環境の変化を調査）し、破損箇所の修繕や今後の環境改善作業を実施した。

多くの昆虫や爬虫類や今まで見られなかった野鳥を確認できるなど、多様性に寄与することができた。

また、企業主体の育樹活動では、外来種の駆除及び森を覆うクズなどの除去作業を実施し、育樹活動の重要性を認識した。

●自己評価

参加者のうち8割がリピーターとなり、全体のプログラムを通じて自然を守る大切さや自分たちにもできることがあることを実感してもらえた。

●参加者の声

・ふだん虫を触れない子どもたちが楽しそうに虫を探しまわり、観察している様子がとてもうれしい。親子ともども充実した時間が過ごせました。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	都内	計
下刈面積 1.5ha	335人	335人
実施場所：東京都江東区（海の森公園予定地）		



森林整備活動

海の森 植樹プロジェクト

(特非) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町

●事業概要

目的は、ゴミと建設残土の島である「海の森」を「海に浮かぶ美しい島」に生まれ変わらせるため、企業社員・家族が植樹活動をするものである。

植栽樹種は、潮風や劣悪な環境に強い18種とし、あわせて、海の森づくりを理解してもらうためのミニ現地ガイドツアーを行った。

●事業成果

- ・海の森公園（仮）における「風の森」の一部で植樹を行った。
- ・現地ツアーは、グループごとに各リーダーがクイズを交えながらガイドを行い、海の森への理解を深めてもらった。
- ・2013年より「海の森倶楽部」を発足させ、今後、多くの企業・団体により運営されていく。

●自己評価

- ・植樹、イベントともに好評で、参加者は、植樹などを体験しながら森づくりの大切さを理解した。
- ・イベント終了後に雨天となったが、終了時間を早めたので、降雨前に終了させることができた。

●参加者の声

- ・リーダーから丁寧に教えてもらって楽しく植樹ができた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	都内	計
0.769ha	805本	125人	125人
実施場所：東京都江東区（海の森公園予定地）			



18種の苗木を植樹

「みたけ木曾川水源の森づくり」活動

みたけ木曾川水源の森づくり実行委員会

岐阜県可児郡御嵩町

●事業概要

目的は、木曾川流域の里山において、保育、間伐などを行い、保水機能が強く、生態系豊かな森林を造成するとともに、環境学習の場とするものである。

主な活動は、次のとおりである。

- ①既設作業道・階段の補修支障となる脇の支障木・枝の伐採。
- ②高木性の樹木を育成木とした多様な階層による森林造成。
- ③森林インストラクターによる森林学習会。
- ④ウッドチップパー機による残材処理と、作業道へのチップ敷布。
- ⑤アサヒビール名古屋工場で育てたドングリの木の植樹。

●事業成果

- ・作業道の補修により移動が容易になった。
- ・支障木伐採により森林内に光が差し込み、散策範囲が広がった。
- ・地元の森林ボランティアとの協働作業により地域交流ができた。

●自己評価

- ・スタッフ、森林ボランティアが連携して参加者に対する十分な活動支援ができた。作業前の環境学習により意義のある活動となった。

●参加者の声

- ・暗かったところが明るくなり、整備目的が分かった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付本数	除伐面積	県内	県外	計
33本	0.10ha	65人	69人	134人
実施場所：岐阜県御嵩町				



作業道の補修

さいたまの森林づくり支援事業

(特非) 埼玉森林サポータークラブ

さいたま市浦和区高砂

●事業概要

目的は、地球温暖化防止や花粉症発生源対策などとして、企業や学校などが行う森林体験作業を支援するものであり、主な活動は、植付、下刈り、間伐である。

●事業成果

- ・企業の社員・家族が森林に親しみながら森林の持つ力について体感し、学ぶことができた。
- ・高校生や小学生が、校内では体験できない植樹や間伐、下刈りなどの作業によって森林づくりの大切さや樹木に対する興味を持つことができた。

●自己評価

- ・1月は雪害のため中止となったが、予備日の実施で計画通り終了した。
- ・4月に大苗の植樹を行うなど満足のいく事業ができた。

●参加者の声

- ・間伐によって木々が大きく育ち二酸化炭素の吸収や地球温暖化防止に貢献できた気がした。
- ・木が生長するためには地道な作業を続け、森林を大切にしなければならないと感じた。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
1.0ha	518本	1.5ha	0.6ha	540人	64人	604人
樹種：ヒノキ、カシワ、ミズナラ						
実施場所：埼玉県三芳町・越生町・長瀬町・小川町・寄居町						



下刈り作業

多摩動物公園 雑木林再生プロジェクト

(特非) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町

●事業概要

目的は、放置され過密となった雑木林を多様な生物が暮らせる明るい林として再生するものであり、主な活動は、除伐やササ刈りなどである。

●事業成果

- ・アズマネザサを広範囲で除伐することができた。除伐が進むことで整備による雰囲気の違いも十分に理解してもらえた。
- ・森の多様性を学ぶ体験プログラムにより、子どもでも楽しみながら、いろいろな種類の植物があることを知ることができた。

●自己評価

- ・親子での参加も多く、安全に森を体験しながら、学び、保全する活動となった。
- ・ゲーム形式のプログラムなどで保全活動の大切さを効果的に普及できた。

●参加者の声

- ・シイタケの菌を打ったので、出てくるのが楽しみだ。
- ・葉っぱにもいろいろな種類があることに気づいた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	除伐面積	都内	計
0.5ha	0.3ha	53人	53人
実施場所：東京都日野市（多摩動物公園内雑木林）			



シイタケ植菌

木曽川・やおつ水源の森づくり活動

やおつ水源の森づくり実行委員会

岐阜県加茂郡八百津町

●事業概要

目的は、企業の社員・家族、地域住民が森林生態系や生物多様性について学びながら、自然豊かな水源の森を整備するものであり、主な活動は、植付、下刈り、間伐である。

●事業成果

- ・下刈り、間伐により、林内の見通しが良くなり、光が地面に届くようになった。
- ・キンピール(株)名古屋工場からの参加者へ森林整備の大切さを伝えることができた。
- ・ヒノキの間伐材を利用した箸づくりで木材利用などに興味をもってもらえた。

●自己評価

- ・今後は、下刈り以外の活動も計画する必要がある。
- ・遊歩道整備、サクラの間伐などを検討していく必要がある。

●参加者の声

- ・下刈りや間伐は大変だったが、森を良くするためには必要な作業だと感じた。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
1ha	30本	9.2ha	4ha	211人	211人	422人
樹種：アワズミサクラ						
実施場所：岐阜県八百津町						



サクラの植樹

玖珠町ふれあいの森づくり事業

玖珠郡森林組合

大分県玖珠郡玖珠町

●事業概要

目的は、里山において豊かな生態系と美しい景観を創造し、人と森との共生に資するものであり、主な活動は、企業社員・家族と町民による植栽、シイタケ駒打体験である。

●事業成果

- ・多くのエネオス関係者などの参加で、駒打、植栽などを行った。
- ・参加者は、自然の優しさ、厳しさを感じながらの作業で、良い汗をかき生き生きしていた。

●自己評価

- ・ほぼ計画どおりに実施できたが作業の内容・軽重に応じて時間配分を検討する。今後の取り組みとして、植栽など今までに実施してない作業を実施したい。
- ・今後は、子ども達に枝、葉っぱなどを使った工作をさせたい。

●参加者の声

- ・とても土が柔らかく、触り心地が良かった。
- ・何度もやっているのだから慣れているが、パパと交代で楽しかった。
- ・自然の中の植え付けを一生けん命やれて気持ち良かった。ENEOSの森がとても好きになった。(全て小学生 女子)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	駒打ち	県内	計
0.40ha	190本	300本	147人	147人
実施場所：大分県玖珠町				



広葉樹の原木に植菌

十日町市民協働の森づくり

十日町市民協働の森づくり実行委員会

新潟県十日町市本町

●事業概要

目的は、平成23年発生した長野県北部地震の被災地（スキー場跡地）の山林崩壊防止、里山機能の回復、普及啓発であり、主な活動は、①地拵・植樹、②植樹祭、③「緑の募金」のPR活動などである。

●事業成果

- ・植樹祭は、市内の子ども、高齢者なども参加し里山回復が進んだ。
- ・十日町市民活動見本市では、「緑の募金箱」を設置し、森林の啓発活動などを行った。

●自己評価

- ・年々、孫を連れた高齢者、小学生などの参加者が増えた。
- ・参加者からは、多くの感謝の言葉があった。
- ・スキー場跡地斜面のため、急斜面で地山が緩んでいるので安全確保が重要である。

●参加者の声

- ・植えた木の生長が見られて楽しみだ。(40代女性)
- ・大勢の市民が里山復興に汗を流している姿を見て感激だ。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.5ha	1500本	130人	0人	130人
樹種：ブナ				
実施場所：新潟県十日町市				



市民による植樹

平成26年度東日本大震災復興事業 (鹿島灘海岸防災林造成事業)

(公社)茨城県緑化推進機構

水戸市三の丸

●事業概要

目的は、東日本大震災で被災した海岸防災林の一部のマツ林を再生し、防災林復旧のシンボルとするものであり、防災林再生の必要性、可能性を県民に発信するもの。

主な活動は、①植栽(クロマツ、トベラ、アキグミ)、②緑の出前授業、③参加4校の児童生徒による緑の誓いである。

●事業成果

- ・荒廃した前浜に地域の子どもたちと一緒に抵抗性クロマツを植えることができた。
- ・小学校へのお出前授業で次の世代に植林の重要性を認識させることができた。
- ・事業を実施したことにより、地域社会に広く普及啓発できた。

●自己評価

- ・マツ林再生シンボルができ、市町村、地域住民、児童生徒に海岸砂地造成林の大切さを再認識してもらえた。
- ・神栖市では、中学校の復興プロジェクトと連携でき、海岸松林再生ボランティア活動も活発化している。
- ・整備に費用がかかる前浜の前線ばかりでなく、後背地のマツ林の整備も必要である。

●参加者の声

- ・砂地に木を植えられることに驚き、海岸マツ林の重要性を改めて感じた。
- ・防風や水分保持のための竹垣や敷き藁に昔の人の知恵を感じた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
1.4ha	2940本	668人	2人	670人
樹種：クロマツ、トベラ、アキグミ				
実施場所：茨城県神栖市波崎				



クロマツ・トベラなどを植樹

さんむ災害復興植樹祭

(公社)千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ヶ浦市長浦拓

●事業概要

目的は、東日本大震災地震による津波被害などで荒廃した海岸保安林の被害木除去、機能回復を図るための海岸防災林の造成であり、主な活動は、①被害木の伐採・搬出、②クロマツの植栽、③森林環境教育である。

●事業成果

- ・多くの地域住民が参加して作業したことにより、根返り・幹折れ木、流木の散乱箇所がきれいになった。
- ・次代に引き継ぐ海岸防災林として生まれ変わった。
- ・普段、森林と触れ合う機会が少なかった参加者も海岸防災林の働きなどについて学んだ。
- ・市の広報やマスコミを通じたPRにより、今後の広がりが期待できる。

●自己評価

- ・計画通り植栽できたが、枯木などのチップ化ができず運搬移動となった。
- ・土が固く小さな子どもや高齢者は穴掘りが大変だった。

●参加者の声

- ・ボランティアの人と木を植えながら、話が聞けて良かった(小学生)
- ・長い年月と多くの作業が必要だと分かった。(主婦)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.90ha	3000本	220人	220人
樹種：クロマツ			
実施場所：千葉県山武市			



クロマツの植樹

旭復興事業

(公社) 千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ケ浦市長浦拓

●事業概要

目的は、東日本大震災による津波などと、マツクイ虫被害により枯損した海岸保安林を復旧し、機能回復を図るものであり、地元住民によるクロマツ、トベラなどの植樹を行った。

●事業成果

- ・海岸保安林の重要性は地域住民に認識され、早急な再生が望まれている。
- ・市内の他の箇所においても海岸林の再生や造成が進められている。

●自己評価

- ・再生すべき海岸林は、箇所・延長は相当量あり、公共事業でも実施されている。
- ・本事業のようなイベント方式の取り組みは、地域住民や子どもたちに津波や防災効果などの意識啓発ができることから、今後も実施していく。
- ・植樹場所については、適正に維持管理を行い、健全な海岸林の形成を図っていく。

●参加者の声

- ・早く昔のようなマツ林に戻って欲しい。
- ・雨で子どもたちが参加できず残念だったが、森林が大事なことを伝えていきたい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	伐木整地	県内	計
0.16ha	832本	0.16ha	25人	25人
樹種：クロマツ、トベラ、マサキ				
実施場所：千葉県旭市				



クロマツ、トベラなどを植樹

白子町海岸保安林整備事業

(公社) 千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ケ浦市長浦拓

●事業概要

目的は、東日本大震災による津波やマツクイ虫被害で壊滅状態にある海岸保安林を再生し、防災機能の回復、景観の形成を図るものである。

主な活動は次のとおりである。

- ①ヤブ地となっている斜面を整備しクロマツ、河津桜を植栽。
- ②滞水地に盛土し、クロマツ・マサキ・トベラを植栽。
- ③裸地化している場所へ中学生によるクロマツ・マサキ・トベラの植栽。

●事業成果

- ・白子中学校の生徒や教職員、関係者が一体となり、植栽することにより、海岸保安林の役割などを実感した。
- ・次代に引き継ぐ海岸保安林として生まれ変わった。
- ・マスコミを通じてPRされ、住民へ周知できた。

●自己評価

- ・計画より面積・本数が増加した。
- ・土質が海砂のため、活着するまでの保水などの対策を検討すべきであった。

●参加者の声

- ・3月12日の実施で新たな一歩を踏み出した気がする。
- ・海岸保安林の重要性を知ることができた。
- ・いつか子どもや家族に自慢したい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	その他	県内	県外	計
0.81ha	5190本	0.81ha	328人	2人	330人
樹種：クロマツ、マサキ、トベラなど					
実施場所：千葉県白子町					



クロマツ、マサキ、トベラなどを植樹

3.11 復活の森づくり ～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業

(特非) 森のライフスタイル研究所

長野県伊那市荒井

●事業概要

目的は、津波に飲み込まれ壊滅した海岸防災林を再生するものであり、主な活動は、①枯損木の撤去・チップ化・敷き詰め転圧、②抵抗性クロマツの植林、③目印棒の設置、④竹柵の設置である。

●事業成果

- ・多くのボランティアの参加で作業したことが、次世代を引き継ぐ防災林として生まれ変わった。
- ・体験や移動バス車内での森林環境教育によって、森林と触れ合う機会が少ない参加者も海岸防災林の働きなどを学んだ。
- ・参加者がこの活動をきっかけに、他のボランティア活動に参加するなど波及効果があった。

●自己評価

- ・苗木の活着は良いが、参加人数の停滞が感じられるので、企業などの社員ボランティアの受入れ体制を整えたい。
- ・今後も指導・安全体制などに取り組む。

●参加者の声

- ・昨年植えた苗木が育っていて、嬉しかった！
- ・活動を続けて、3.11を風化させないようにしたい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.3ha	2800本	49人	64人	113人
樹種：抵抗性クロマツ				
実施場所：千葉県山武市蓮沼殿下海岸防災林				



クロマツの植樹

「名取・潮除須賀松の森」植樹事業

(公社) 宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

目的は、津波により甚大な被害を受けた名取市の沿岸域において、海岸防災林の再生を図るものであり、地域の住民と県内団体などの協働により、クロマツを主体とした森づくりを行った。

●事業成果

- ・殆どどの参加者が震災復興に関するボランティア参加が初めてであり、植樹作業によって、「復興事業」に携わった実感が持てた。
- ・子ども達にとっても良い体験となり、海岸防災林の重要性・働きについて学ぶことができた。
- ・今後は、この経験を会社関係、知人、友人などに広め、数多くの方々の参加につながることを期待できる。

●自己評価

- ・計画のとおり植栽できたが、クズや雑草が繁茂し始めていたため、今後現地を確認しながら除草作業を計画したい。
- ・事故などはなかったが、作業時に排水路を横断することから、もう少し安全管理に注意すべきであった。

●参加者の声

- ・苗木を植えるのは初めてでとても楽しかった。大きくなった木を見るのが楽しみ。(7歳女)
- ・立派に生長し、災害から守ってくれると思うと、とても貴重な体験になった。(44歳女)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.15ha	750本	55人	7人	62人
樹種：クロマツ				
実施場所：宮城県名取市下増田 台林国有林「社会貢献の森」				



クロマツの植樹

自伐型林業による被災地再生（就業づくり）事業

（特非）土佐の森・救援隊

高知県吾川郡いの町

●事業概要

目的は、被災した三陸沿岸域において、将来的に就労できる「自伐型林業」の普及を速め、地域創生のツールとするものであり、主な活動は、①新規就業につなげる自伐型林業研修、②すでに立ち上がっている自伐型林業チームを支援するコンサルティング、③地産池消だけでなく、建築材やバイオマスなど県境を跨ぐ連携・補完システムの展開である。

●事業成果

- ・大槌町では、コーディネートにより、自伐型林業組織（特非）が、被災者の受け入れ団体として成長した。
- ・気仙沼市では、80人以上が副業、専業で活躍する中、地域のチームができてきた。
- ・陸前高田市では、行政や地元企業・住民による協働のための研修が、全域で注目されている。
- ・石巻市では、秋田県旧雄勝町との連携へつながった。

●自己評価

- ・三陸沿岸域へ広がり、震災復興の一つのモデルになりつつある。
- ・持続可能な仕事・就業の新しいカタチとして確立されてきている。

●参加者の声

- ・“収入と元気”の力が湧いてきた。
- ・自治体との協働も見え始め、期待が持てる。

実績とりまとめ表

実施場所：宮城県気仙沼市、石巻市、南三陸町、岩手県陸前高田市、田野畑村、大槌町	参加者数
	計
	310人



作業道敷設研修

「岩沼潮除須賀松の森」植樹事業

（公社）宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

目的は、東日本大震災により被災した沿岸地域において、海岸防災林の再生を行うものであり、公募などで参加した地域住民と県内団体の協働によりクロマツの植樹を行った。

●事業成果

- ・殆んどの参加者が初めての参加であったが、「また来たい。」「楽しかった。」「復興事業に携わって良かった。」などの感想が寄せられた。
- ・親子の参加によって、海岸防災林の重要性・働きを共に学ぶことができると感じた。

●自己評価

- ・計画とおり植栽でき、高校生、みどりの少年団、小学生生徒の参加もあった。
- ・枯損はなかったが、クズや雑草が繁茂し始めていたため、今後、現地を確認しながら除草作業を計画したい。
- ・事故はなかったが、盛土面が硬く、女性や子ども達が苦勞した。

●参加者の声

- ・貴重な経験ができて良かった。(60代男)
- ・きれいに植栽された苗を見て感動した。(中2女)
- ・一緒に植えた孫と確認しに来たい。(70代男)
- ・大阪在住だが、今日の植栽がふる里の復興に役立つことを祈る。(大阪県人会)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.92ha	4605本	827人	31人	858人
樹種：クロマツ				
実施場所：宮城県岩沼市 市有林				



クロマツの植樹

「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業

(公社)宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤道理雨宮町

●事業概要

目的は、沿岸被害住民と山村住民の交流を図りながら、東日本大震災からの復興を誓うと共に森林づくりの重要性を普及啓発するものであり、主な活動は、植樹と下刈りである。

●事業成果

- ・沿岸被災住民と山村住民の交流のきっかけとなった。
- ・沿岸被災住民は、初めての森林作業体験を通して森林づくりの魅力を感じ、次回への意欲を示していた。

●自己評価

- ・所期の目的は達成できた。
- ・日程設定の難しさを感じたので、今後は工夫したい。
- ・今後は、森林作業体験を計画したい。

●参加者の声

- ・一時的でも森林で癒された。(南三陸町75才男性)
- ・米川地区住民の方々と交流が深まったので、今後も継続して欲しい。(南三陸町72才女性)
- ・山で人と話し合え、心が安らいだ。(南三陸町80才女性)

実績とりまとめ表

開催内容			参加者数	
植付面積	下刈面積	植付面積	県内	計
0.20ha	0.20ha	0.20ha	90人	90人
樹種：ヤマザクラ				
実施場所：宮城県登米市東和町				



ヤマザクラの植樹

札幌市澄川環境林における外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業

(特非)北海道森林ボランティア協会

札幌市豊平区平岸

●事業概要

目的は、市有林のうち、ニセアカシアが天然更新により繁茂し、郷土樹種のミズナラ、イタヤカエデなどの成長を阻害している地域において、従来の森の復興をめざすものである。

主な活動は、ニセアカシアの除伐、ミズナラの植栽、保育などである。

●事業成果

- ・作業道の整備により、軽トラックでの運材や機材の搬入が容易になった。
- ・避難小屋の整備により、危険時の避難、森林教室などに活用できる。
- ・ニセアカシアの除伐250本、巻枯らし20本を行った。
- ・ニセアカシア伐採木をナメコ、シイタケの原木として有効活用した。

●自己評価

- ・伐採によって、森が明るくなり、環境林として利用しやすくなった。
- ・郷土樹種の植栽によって、多様な森に変わることが期待できる。

●参加者の声

- ・外来種から郷土樹種への再生に期待する。

作業内容						参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	除伐面積	間伐面積	道内	道外	計
0.3ha	187本	50本	0.4ha	0.9ha	0.9ha	85人	1人	86人
樹種：ミズナラ								
実施場所：札幌市南区（札幌市澄川都市環境林）								



郷土樹種の再生をめざして

富良野地域の緑化及び環境教育事業

(特非) C・C・C富良野自然塾

北海道富良野市下御料

●事業概要

地域に豊かな森林環境を残すため、富良野と広域住民による植樹会を計6回開催し、元ゴルフ場の緑化及び環境教育事業を実施した。

●事業成果

全国各地からの参加者が植樹会に集い、元ゴルフ場（約19ha）のうち約1haに1500本の苗木を植えた。また、継続して参加する人が増え、森を育む意識の広がりや教育的効果が得られた。

●自己評価

概ね計画通りに実施され、三世代が参加した植樹会では、子どもが大人の姿を観て学ぶとともに、様々な地域から集う参加者と地元住民との交流も生まれた。また、世代や地域を越えた森づくりの意義や、地域社会のために、より多様で多くの人に関わる活動の継続が今後の課題である。

●参加者の声

- ・子どもたちがおじいちゃん、おばあちゃんになる頃に、緑豊かな森に還る姿を、私は空の上から見られるでしょうか。(70代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	道外	計
1ha	1500本	1ha	137人	12人	149人
樹種：ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ、ホオノキ、ナナカマドほか					
実施場所：北海道富良野市					



13種の苗を植樹

NPOや事業者の連携による間伐推進と間伐材活用モデル構築事業

(特非) ウヨロ環境トラスト

北海道白老郡白老町

●事業概要

目的は、放置人工林の間伐、間伐材の利用を通じて、間伐材の地域内での活用モデルの構築や人材育成を図るものであり、主な活動は、①間伐ワークショップ、②間伐材活用研修会などである。

●事業成果

- ・他のNPOのメンバーも参加して、森づくり団体のネットワーク化が図られた。
- ・新たな森林ボランティア団体も設立され、裾野が広がった。

●自己評価

- ・参加者は、間伐材活用研修会が計画以上、ログハウス製作研修会が計画の約7割であった。
- ・一般の方が歩く自然歩道フットパス沿いで研修したので、広くPRすることができた。
- ・以前作成した小規模なログハウスなどと合わせ、間伐材利用の普及を図る拠点とすることができた。
- ・大学の研究者からは「小さなNPOにも森林整備において活躍の場がある。」と評価された。

●参加者の声

- ・安全を最重点に間伐したが、間伐材の多さに成果を実感した。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
間伐面積	道内	計
2.4ha	79人	79人
樹種：トドマツ、カラマツ		
実施場所：北海道喜茂別町、白老町		



間伐作業

オオヤマザクラ等の保育活動を通じた地域を結ぶ森づくり

岩木山桜会議

青森県弘前市御幸町

●事業概要

目的は、津軽地方のシンボルである岩木山麓周辺にあるオオヤマザクラなどの保育体験により、森林の大切さなどを認識するものであり、主な活動は補植、下刈り、樹勢回復である。

●事業成果

- ・多くの住民が参加し、木を育てること、森林の大切さを知ってもらえた。
- ・活動により地域間、世代間の交流ができた。
- ・手入れにより、春になるとヤマザクラが咲き、県内外の方々に喜ばれている。

●自己評価

- ・募集人員に対して100%の応募があった。保育作業の必要性と木の名前などを学習できた。
- ・競合木の伐採やつる切により、ヤマザクラが元気を取り戻している。

●参加者の声

- ・これまで植えた木が育っているのは気持ちが良い。
- ・木の名前をもっと知りたい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
補植面積	補植本数	樹勢回復	県内	県外	計
1.64ha	30本	470本	124人	3人	127人
樹種：オオヤマザクラ					
実施場所：青森県弘前市（津軽森林管理署内国有林）ほか					



オオヤマザクラの植樹

森林の整備とバイオマス利用効果の検証事業

(特非) どんぐりの森・山楽校

青森県十和田市西

●事業概要

目的は、台風や降雨の度に、小中規模な土砂崩落が発生していた雑木林を風水害に強く、景観に優れ、市民に広く親しまれる森林へと再生することであり、主な活動は、次の通りである。

- ①倒木のおそれがある樹木の伐採。
- ②伐採跡地の整地、林道整備。
- ③市民参加による植樹祭の開催。
- ④植林後の苗木の手入れ。

●事業成果

- ・広葉樹の根を広く、強くさせるよう植樹間隔を考慮した。
- ・モミジやクリの植樹によって災害に強い里山育成の意義などを理解してもらえた。

●自己評価

- ・降雨により参加者が少なかったが、小学生や幼稚園児と親の参加があった。また、植樹地の傾斜がやや強すぎて、高齢者や子どもには不向きであった。

●参加者の声

- ・市民が楽しめる森林作りは、いいアイデアだ。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	県内	県外	計
1.0ha	420本	405本	1.0ha	54人	2人	56人
樹種：モミジ、クリ、ヤマモミジなど						
実施場所：青森県十和田奥瀬						



モミジやクリなどを植樹

復活の森プロジェクト

(特非) 吉里吉里国

岩手県上閉伊郡大槌町吉里吉里

●事業概要

目的は、荒廃した里山林を保全整備し、森や海とその流域の自然環境の回復を図ることであり、主は活動は、①下刈り・間伐・搬出など、②薪などの生産、③「森林教室」の開催、④「林業学校」の開催、⑤「ヤマナラシ」の植栽である。

●事業成果

- ・5haの里山の整備と、劣勢木の間伐をしたことで、健全な優良木としての成長が期待できる。
- ・全国から約1300人のボランティアが参加し、薪などの生産を増やしたことから、安定供給が可能になった。
- ・事業終了後も地元小学校(5年生)のカリキュラムにこの事業が組み込まれることになった。

●自己評価

- ・計画を上回る事業活動ができた。
- ・震災復興事業による苗木需要の拡大で、入手が難しかったので、余裕のある対応が必要である。
- ・事故や怪我などはなかったが、今後も安全衛生講習会などの開催が必要である。

●参加者の声

- ・森林教室に参加して、森を育てる人になりたいと思った。(小学5年女)
- ・林業学校で、山仕事の大変さと大切さを学んだ。(高校1年生、男)

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.5ha	1250本	5ha	5ha	5ha	243人	107人	350人
樹種 ヤマナラシ							
実施場所：岩手県大槌町							



広葉樹を伐採して薪づくり

プロ野球の森整備事業

(特非) いわきの森に親しむ会

福島県いわき市常磐藤原町

●事業概要

目的は、プロ野球の森(平成23年12月設定)を市民が森に親しみ、利用し、交流する拠点として整備するものであり、主な活動は、放射線量が公園としての利用可能なレベル以下に低下したことから、今年度は次の事業を行った。

- ①モウソウチクの除伐作業、②アカマツ(枯木)の除伐、③タケや枝葉などのチップ処理と敷地内への埋設、④遊歩道整備などである。

●事業成果

モウソウチクの除伐は、思ったより大変で、最後は機械作業になったが、ハード整備は当初計画どおりできた。

●自己評価

作業場所が急斜面のところでの手作業の大変さと作業機械の効率の良さを実感させられたが、なんとか多くの人達の協力により当初計画を達成することができた。ただ、問題は予算が多くかかったことであった。

●参加者の声

- ・急傾斜地での作業は、高齢者には年々厳しくなってきた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
タケ除伐本数	マツ伐採本数	計
約3200本	25本	200人
実施場所：福島県いわき市(21世紀の森公園)		



竹林の整備

森林ボランティア育成講座第11期

森のボランティア茨城

茨城県ひたちなか市馬渡

●事業概要

目的は、これまでの「都市近郊林で活動するボランティア」でなく、「高齢化・過疎化、都市・山村の協働に着目したボランティア」を育成するものであり、過疎地である大子町において、講座を開催し、13人の終了生を送り出した。

●事業成果

・遠隔地であるため、受講生は少なかったが、2回の講座で13人の修了生を送り出した。

●自己評価

・講座を追加することで、ぎりぎりの目標を達成した。
 ・フィールドまで遠い中で、会員のモチベーションを維持させる対策が必要である。

●参加者の声

・内容や日程などは概ね良好だ。
 ・これだけのものを続けることに感動した。

実績報告とりまとめ表

作業内容				参加者数	
下刈面積	間伐面積	キノコ植菌		県内	計
0.1ha	0.3ha	短木18 セット	駒打29本	170人	170人
実施場所：茨城県大子町					



密生シノタケを刈り払い、景観を改善

八溝地域の林地残材を活用した公共施設の整備事業

(特非) やみぞの森

水戸市三の丸

●事業概要

目的は、間伐材の残材を活用して地球温暖化防止やエコ意識を深めるものであり、主な活動は、残材の運搬、製材、ベンチ製作である。

●事業成果

・間伐材の利用推進により、森林保全と地球温暖化防止に寄与できた。
 ・日頃森林と触れ合う機会が少なかった参加者も、森林の保全や木材の活用方法について学んだ。
 ・偕楽園に設置したベンチは、来園者に木の良さを知らせ、地域材利用を発信した。

●自己評価

・間伐木残材の活用は、地元の木材協同組合との連携によるものである。
 ・今後も、技術を有する様々な団体と連携を図り、活動内容を対外的にアピールしていく。

●参加者の声

・山土場での低質材選別の仕方が分かった。(60代男性)
 ・ノミの使い方の上達を実感した。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
林地残材ピックアップ作業1回(間伐木約5㎡)、ベンチ4基製作9回、寄贈式1回	71人	18	89人
実施場所：茨城県常陸大宮市、笠間市、水戸市			



林地に残された間伐材を運び出す

森林づくり教育支援事業

(特非) 埼玉森林サポータークラブ

さいたま市浦和区高砂

●事業概要

目的は、自然と向き合う機会が少なくなっている児童・生徒たちを対象に、植樹や間伐など山のボランティア作業を体験させ、森林づくりの必要性を啓発するものである。

主な活動内容は、①小学生の間伐・植樹、②高校生の下刈り・植樹・間伐である。

●事業成果

- ・造園学科や建築学科の高校生が植樹、間伐、下刈りなどの作業を通じ、森林づくりの大切さや樹木に対する興味を持った。
- ・小学生が間伐や植樹の支援活動を実施することによって、地域の人々と共に山に親しみ、森づくりの大切さを実感できた。

●自己評価

- ・学校行事のため、急な気象変化による日程変更なども困難なことが多いため、事前に打合せを密にしている。
- ・台風接近の際は、屋内行事に変更し、「森林教室」を実施した。
- ・チェーンソーや刈払機などで、生徒たちの興味を喚起した。

●参加者の声

- ・間伐によって木々が健全に成長するなどを学んだ。将来木造の建築物を作りたいと思った。(高校生)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	計
0.5ha	225本	1.0ha	0.8ha	438人	438人
樹種：サクラ、ヤマグリ					
実施場所：埼玉県越生町、小川町、長瀬町					



下刈り作業

地域の子供たちを森へ誘う事業

(特非) NPO埼玉ネット

さいたま市北区日進町

●事業概要

目的は、親子で豊かな森林に親しみ、自然を大切にする心・豊かな心を育むとともに、森林に対する理解を深めることである。内容は、①森林体験活動として、下刈り・除伐・間伐・植樹・看板設置、観察会・近隣調査などの森づくり教室を開催、②「どんぐりを育てよう」をスローガンとした森づくりの啓発活動を行った。

●事業成果

下刈り、造林木に巻き付いたツル切りにより、林内の見通しが良くなった。

また、普段、森林と触れ合う機会が少ない子どもたちが、作業前後の林を見て、手入れ不足の影響や、森林整備の大切さを学ぶことができた。

●自己評価

- ・森林体験活動を2か所で行った結果、活動フィールドが3か所となった。
- ・自然体験教室でシイタケのほだ木作りや、どんぐり育成地の下刈り、除伐ができ、参加者から好評だった。
- ・親子によるどんぐり教室を通して森づくりの啓発活動を行った。

●参加者の声

- ・来て良かった。もっと友達を誘います。(小学4年生)
- ・地域活動の広がりにも貢献している。(70代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付本数	下刈面積	県内	計
20本	7.2ha	455人	455人
実施場所：埼玉県東秩父村、毛呂山町			



下刈り体験

県境を越えた森づくり連携事業

(特非) グリーンフォーレストジャパン

埼玉県川口市元郷

●事業概要

目的は、人口減少、高齢化、産業の衰退などにより、荒廃している森林において、県境を越えた広域的な森づくりを行うものであり、主な活動は、下刈り、除・間伐などである。

●事業成果

- ・どんぐりを通して様々な活動をしたが、かなり大きな反響があった。
- ・自分が拾った実が苗木になり森に還元されることが体験できた。
- ・中高年の会員が教える楽しさを実感したので、今後につながる。

●自己評価

- ・除伐や歩道整備への参加を促す勉強会やシンポジウムを行ったが、多くの人たちへの呼びかけと賛同者を募る工夫が必要だった。
- ・初年度としては順調だったが、継続的な森づくりのためには人材確保が重要な課題である。
- ・安全研修会を定期的開催したいが、資金的な問題がある。

●参加者の声

- ・森林に入ってみて予想以上に荒廃しているのを実感した。
- ・直接、森林所有者の話聞くことによって、森づくりの大変さを理解できた。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	間伐本数	県内	県外	計
0.7ha	0.2ha	0.3ha	33本	173人	126人	299人
実施場所：埼玉県飯能市、東京都青梅市						



歩道整備

人が楽しめる森と里山作り事業

上総自然学校

千葉県袖ヶ浦市川原井

●事業概要

約10年間にわたり、人が入ることも難しかった荒れた里山において、間伐・下刈り、谷津田の開墾を行った。また、整備された里山に生息している生物の生態をセンサーカメラで調べた。

●事業成果

スギの間伐、ササ刈り、枝打ちにより、景観が良くなり、イノシシの侵入を抑えただけでなく、所有者も下刈りをやり始めるなど、継続的整備が容易になった。

生態調査とセンサーカメラによる撮影で、房総半島で珍しくなったニホンリスが確認できたのでマツ、クルミの植栽を行った。

斜面のモウソウチクの皆伐が終了し、以前、風の強い日は、道路をふさいでいた倒竹がなくなった。遊歩道整備により、観察会などの周遊コースが取れ、北・南斜面の違いが学べるようになった。

●自己評価

- ・数年続けて参加してくれる方が多く、フィールド作りはうまくできた。
- ・地元の人々を巻き込むこともできた。トンボの専門家からも高い評価をいただいた。

●参加者の声

- ・ここは、いつ来ても気持ちいい。来るたびに、何か改善されている。

実績とりまとめ表

作業内容						参加者数		
植付面積	植付本数	枝打ち	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.1ha	160本	0.3ha	4ha	1.1ha	0.6ha	277人	370人	647人
樹種：マツ、クルミ、アジサイ								
実施場所：千葉県袖ヶ浦市								



歩道の整備

群馬県草津やすらぎの森 森林整備事業

(特非) 森とでんえん倶楽部

東京都新宿区高田馬場

●事業概要

目的は、都市住民が森に親しみ「やすらぎの森」の整備活動を進めながら、自然環境を守る意義などを認識するものであり、主な活動は、間伐、除伐、枝打ち、倒木の片付けなどを行った。

●事業成果

・2回の整備で、間伐・除伐・枝打、倒木の片付けを行った。区域内に、多くの未整備地を残している。

●自己評価

・ボランティアの参加があったが、全体として予定どおりの整備ができなかった。
・5月から10月に作業が集中し、ボランティアの参加が難しい。

●参加者の声

・中国から来ているが、中国では様々な環境問題があるので森林づくりは大切だ。
・山は空気が美味しく感じ、気分がすっきりした。
・木が育つには十分な空間が必要なので、木を伐るのが重要だと分かった。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県外	計
間伐面積 0.4ha	78人	78人
実施場所：群馬県草津町		



間伐体験

森林と竹林と里山林の実践整備

ふれあい筑波

東京都目黒区中目黒

●事業概要

目的は、つくば市内の手入れ不足の森林・竹林・里山林を地域の環境と景観を守る森林として整備するものであり、主な活動は、下刈り、除伐などの保育である。

●事業成果

・継続した活動により地域の環境保全、意識の改善に寄与できた。
・関東一円から多くの参加があり地域に密着した活動となっている。

●自己評価

・概ね当初の計画通り実施できたが、高齢者が多いので若者向けのPRが必要である。
・使用機材を自前で修繕できるよう研修が必要である。
・予め天候が悪い場合の対応を工夫する。

●参加者の声

・地域密着で、対応しており大変有意義である。(70歳代男性)
・女性が参加できるようにしてほしい。(60歳代女性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	枝打面積	県内	県外	計
2.6ha	1.1ha	0.7ha	0.3ha	52人	67人	119人
実施場所：茨城県つくば市						



里山整備

茨城県民の森「スギ採種園の跡地」の森林整備及び森づくり活動

いばらき森林クラブ

茨城県ひたちなか市高野

●事業概要

目的は、手入れされずに放置された「県民の森」内のスギ採種園跡地において、訪れる者が楽しく散策できる森づくりをすることであり、主な活動は、雑草の刈払い、広葉樹のを植樹である。

●事業成果

- ・ 6回の整備活動により、雑草の伸びを抑えることができた。
- ・ 以前に植樹したイロハモミジとコブシの剪定作業を行い、切断面に薬品を塗布した。

●自己評価

- ・ 回ごとの参加者も前年度より増加し、計画以上の成果があった。
- ・ 植樹では、穴掘り、施肥、水遣り、支柱設置などについて、経験と話し合いにより技術の向上が図られた。

●参加者の声

- ・ 森林整備活動は年々成果が出てきている。また、これまでに植栽された広葉樹の紅葉は見事である。(県民の森・管理者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.2ha	33本	1.0ha	69人	0人	69人
樹種：イロハモミジ、ヒガンザクラ、ヤマザクラ					
実施場所：茨城県那珂市「茨城県民の森」					



ヒガンザクラなどの植樹

首都圏居住者を対象とした森林整備体験と環境啓発事業

(特非) 地球と未来の環境基金

東京都千代田区神田須田町

●事業概要

目的は、林業衰退により放置山林が増加している中山間地域において、森林活動を希望する都市住民と山村のニーズをマッチングし、森林の整備や都市住民に対する啓発、国産材利用を促進するものである。

●事業成果

- ・ 8つのイベントを開催し、普段、森林と触れ合う機会が少ない都市部の若者、企業に勤める社会人の参加による植林、間伐を行った。
- ・ 森林整備のためには、資源を活用していかなければならないことを学ぶことができた。

●自己評価

- ・ 各地の森づくりグループ（林業研究協議会など）や林業家、地元NPOなどと綿密な打合せを繰り返し、安全第一を心がけた。
- ・ 地元団体との折衝に時間を要したため、目標回数を実施することはできなかった。

●参加者の声

- ・ 5回目位の参加だが、植えた木が成長し、山をや生き物を守っていけるようになるまで見守りたい。(20代男性 千葉・木更津の参加者)

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.5ha	170本	4.5ha	1.5ha	1.0ha	80人	115人	195人
樹種：クヌギ、ヤマザクラ、アオハダ、クリ、スギ、コナラ、スギ							
実施場所：埼玉県飯能市、千葉県木更津市、君津市、静岡県川根本町							



クヌギなどを植樹（埼玉県飯能市）

川場・世田谷上下流連携による「親林」の森づくり事業

やまづくり・くらぶ

東京都世田谷区給田

●事業概要

目的は、利根川の上下流の住民が協力して源流部の森の整備、間伐材の利活用を推進することで持続可能な森づくり活動の確立することである。

具体的には、マツ、スギ、ヒノキから薪・燃料・炭を生産し、世田谷区で利用したり、森の中のシイタケ栽培などを行い、連携を深めた。

●事業成果

・マツ林と広葉樹の里山は、地元住民も参加して3回の作業を行い、整備が完了した。

・炭は、世田谷区の鍛冶教室で必要な分を賄える生産量となった。

●自己評価

・間伐による炭の生産と消費の循環が確立できた。

・間伐作業によって出た材に比べて燃料使用量が少なかったため、需要を増やす必要がある。

●参加者の声

・使える炭が大量に生産できるので、自分たちも独自に取り組みたい。(川場村地権者)

実績とりまとめ表

作業内容		作業者数		
下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
1.5ha	1.7ha	15人	139人	154人
樹種：ヒノキ、スギ、マツほか				
実施場所：群馬県川場村				



森林整備

若者の森づくり

(特非) 緑のダム北相模

東京都世田谷区若林

●事業概要

目的は、国産材価格の低迷などにより所有者の森林離れが進んでいることから、森林・林業の担い手となる若者を育成するため、森林内で実践活動をするものである。

主な活動は、GPSなどの技術習得、除伐、間伐などである。

●事業成果

・NPOの里山活動だけでは森林は救えないので、積極的に他の団体と共に行動している。

・すでに巣立った先輩たちの影響を受けて、在学生も積極的に取り組んでいる。

●自己評価

・若者が成長しており、十分な成果を上げている。

・日々、反省点は多くあるが、次のステップに繋がっている。

・森林の保全・再生だけでなく、「森林・林業の復権」に挑戦する必要がある。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
下刈面積	除伐面積	間伐面積	計
1.5ha	0.8ha	3.4ha	683人
実施場所：神奈川県相模原市			



GPSなどを技術習得

創る・育てる「みんなの森林セラピーランド」活動の充実と活用

(特非) MORIMORI ネットワーク

東京都千代田区平河町

●事業概要

目的は、森林整備により、森林浴やウォーキングを楽しむ、森林・林業の現状への関心を促すことである。

3年目の今年は、森林空間をより楽しんでもらうための整備とネットワークの拡大をしたが、一人一人が仲間を呼び、若い人たちの参加が増えた。

間伐、下刈り、木材を使用したものづくり、森歩き、ツリーハウスで休息など、都会では得られない魅力にあふれる場となった。

●事業成果

森林の中で協働し、一緒に創造する喜びを分かちあうことができた。

また、環境に関心のある団体、近隣の大学生たち、福祉関連の支援グループなど、さまざまな人たちが森林の中で出会いを重ねることができた。

●自己評価

計画はほぼ達成し、これまでの施設のメンテナンスを行うこともできた。また、作業時に森林・林業の現実も伝えることができた。

今後の課題は、参加者の多様な要望に応えるプログラムの充実である。

●参加者の声

- ・週末には山登りをしていたが、森林の中で集まった人たちと一緒に作業をすることが楽しかった。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
下刈面積	間伐面積	森林整備	作業道整備	県内	県外	計
2ha	0.5ha	3ha	1ha	63人	160人	223人
実施場所：埼玉県飯能市長沢						



森林整備

森づくり体験プログラム 「森林の楽校 (もりのがっこう)」 2014・2015

(認定特非) JUON (樹恩) NETWORK

東京都杉並区和田

●事業概要

目的は、未来を担う若者・都市住民が自然環境の残る山村における森づくり体験や交流などを通じて、森林・環境問題などのついて考えるものである。

主な活動としては、13ヶ所で21回の森林整備活動を行ったほか、リーダー養成講座を東京・大阪で実施した。

●事業成果

- ・参加者全体の3分の1を占める学生や20代の若者が、森林や農山村の現状について考え、保全活動を行った。
- ・「青年リーダー講座」参加者は、「森林の楽校」などでリーダーを担える人材として成長している。

●自己評価

- ・すべてのプログラムを計画通り実施でき、参加者も増加した。
- ・リピーターが3分の1程度で、良いバランスと考えているが、より多くの方々の継続参加が課題である。

●参加者の声

- ・間伐で光が差し込み、周囲が急に明るくなるのが印象的だった。
- ・みんなと協力しながらの作業はとても楽しく、達成感と充実感を味わえた。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
5.6ha	4ha	5ha	161人	466人	627人
実施場所：秋田、福島、群馬、埼玉、東京、新潟、富山、岐阜、兵庫、徳島、香川、高知、長崎					



間伐体験

第33回緑の都市賞内閣総理大臣賞 受賞記念事業

サンシティ管理組合

東京都板橋区中台

●事業概要

目的は、都市公園エリアを緑豊かな環境に整備するものであり、主な活動は、サクラの植樹、下刈り、樹勢回復である。

●事業成果

- ・老木のサクラの樹勢回復とサクラの植樹によって、次世代公園づくりがスタートできた。
- ・また、虫の食害が少なくなり、多くの緑豊かな葉や紅葉が楽しめるサクラ公園が再現した。

●自己評価

- ・予定通りに完了できた。
- ・40～60°の急斜面の作業だが、資材運搬などの事前検討が不十分で作業に苦勞した。
- ・老木のサクラと若いサクラの共生のための管理を住民全員で行う体制整備が必要である。

●参加者の声

- ・サクラが戻り、緑豊かなサンシティが楽しめるようになった。(住民)
- ・下刈りから植樹まで体験できた。また、作業では、コミュニケーションと体調管理が大切であることを学んだ。(東京テクニカルカレッジの生徒)
- ・緑の中にいると、ストレスが解消し、爽快になることを実感した。(レンジャー部隊)

実績取りまとめ表

作業内容		参加者数
下刈	植樹	計
1060㎡	25本	409人
樹種：サクラ		
実施場所：東京都板橋区		



林床の整備

10地域と1000人が創り出す。 国際森林保全ワーキングキャンプ

(特非) NICE (日本国際ワークキャンプセンター)

東京都新宿区新宿

●事業概要

目的は、荒廃森林の再生に資する実践的な作業の体験、都市の若者の意識高揚を図るものであり、主な活動は、合宿型ボランティア活動である。

●事業成果

- ・全国13ヶ所で15回、計217日間、185人の国内外の若者が荒廃する森林の間伐や下刈りを行った。
- ・国内外の若者たちが地域住民と作業し、森林の手入れだけではなく、世代間、国籍を越えた交流が生まれた。
- ・森が人と人とを結ぶ場にもなった。

●自己評価

- ・多くの開催地で目標とした下刈り、間伐ができた。

●参加者の声

- ・森の木を切ることは良くないと思っていたが、木を間引くことで、強くなることを初めて知って驚いた。
- ・色々な国のメンバーとそれぞれの国の森の現状をシェアできて良かった。
- ・環境問題に直結する活動ができたのはうれしかった。(21歳日本人男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
3000本	10ha	6.0ha	6人	179人	185人
樹種：ケヤキ、コナラ、トチなど					
実施場所：北海道、大阪府、外8県					



間伐体験

森林ボランティア養成プログラムと都市住民との協働による森林づくり事業

(特非) 足柄丹沢の郷ネットワーク

横浜市緑区寺山町

●事業概要

目的は、未利用となっている間伐材や林地残材を小規模農林家が活用する仕組みを構築するため、都市・地域住民の協働による森林づくり、森林ボランティア養成プログラムの作成を行うものである。

主な活動は、①植栽木の成長阻害木、枯損木の伐採、②森林ボランティア養成の体験林業研修などである。

●事業成果

- ・森林ボランティア活動を続けることで地域住民の信頼を少しずつ得ることができた。
- ・過密な造林木を除去したことで林内に光が射し明るくなった。
- ・日々の間伐作業や地域住民との交流で薪ストーブなど間伐材の活用について考える人が増えた。

●自己評価

- ・森林ボランティア養成の除伐や間伐に限定してしまい、搬出・運搬までの作業に至らなかった。
- ・今後は、森林ボランティア活動の目的や取り組み内容を地元住民に理解してもらいながら、都市部から参加者を集める取り組みが必要である。

●参加者の声

- ・二又木や傾斜木の伐採に苦勞した。
- ・間伐後、ミツマタの幼木が群生するようになり驚いた。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
間伐面積 1.3ha	51人	18人	69人
樹種：スギ、ヒノキ			
実施場所：神奈川県山北町、山梨県道志村（研修会）			



ノコギリでの間伐体験

青年の山の整備活動と作業体験を通じた啓発普及活動

高尾グリーン倶楽部

神奈川県茅ヶ崎市浜之郷

●事業概要

目的は、青年の山において、人工林間伐、複層林育成など教育の場となるモデル林を整備するものであり、森林作業や普及啓発活動を行った。

●事業成果

- ①間伐、侵入した中低木の除伐、つる類切り、複層林の林床整理、歩道整備を行った。
- ②木工作业、間伐材利用を進めるための整備を行った。
- ③多様なグループを対象とした除間伐などの作業体験などを通して環境問題や社会貢献を理解した。
- ④子どもから大人まで幅広い層に、森林保全意識を高めた。

●自己評価

- ①主な活動である間伐の大径化に対応して、チェーンソー技術の向上が必要である。
- ②参加者には大変好評で、リピーターが増えてきていることから、可能な範囲で拡充したい。
- ③木材の良さを実感してもらうため、間伐材の加工利用体制を強化する必要がある。

●参加者の声

- ・間伐や除伐した後、森が明るくなることを実感した。
- ・山を良くするために伐った木を有効に使いたい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
間伐面積	つる切り林床整理	複層林整備	都内	都外	計
0.6ha	1.0ha	0.3ha	679人	170人	849人
実施場所：東京都八王子市 梅ノ木平国有林					



間伐木を加工

水源林の整備と癒しのフィールドづくり (第二ステップ)

(特非) かながわ森林インストラクターの会

神奈川県厚木市旭町

●事業概要

目的は、水源林の再生や癒しの森づくりであり、主な活動は、除間伐、間伐材を活用した歩道・ベンチ作り、自然・生物観察、森林癒し体験などである。

●事業成果

- ①除間伐や歩道整備などにより森林整備と癒しのフィールド作りができた。
- ②多くの団体呼び込み、多様な活動ができた。特に水源涵養、水源林の動物の話は好評だった。
- ③参加団体と、安全管理の情報交換ができた。

●自己評価

- ①年間500人近くの参加者を森林に呼び込めた。
- ②体験や森林整備の組み合わせが好評だった。
- ③森林作業の意義や森からの恵みを知ってもらえた。
- ④水源林の整備プログラムを組み入れる必要がある。

●参加者の声

- ・歩道作りは大変だけどやりがいがあった。
- ・緑のダムと水源涵養の話はよく理解できた。
- ・秋に植えたミツマタが育っていて感激だ。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	間伐面積	林内整備	県内	県外	計
59本	0.75ha	経路70m	480人	12人	492人
樹種：ミツマタなど					
実施場所：神奈川県松田町（やどりき水源林）					



間伐材の玉切り

山の間伐材を利用したマチの公園整備

森林を楽しむ会

神奈川県川崎市多摩区

●事業概要

目的は、手入れ不足となっているヒノキ林や雑木林の保全と、伐り出された材を有効活用した町の公園整備である。主な活動は、①桐生市やさくら市の間伐・除伐材を小平市でベンチ&テーブルの材などとして活用、②桐生市では、森林維持作業と杭材の小平での活用、③森林環境教育である。

●事業成果

- ・自分たちで除間伐した材を、運搬し、公園の土留めや杭、ベンチ&テーブルの材として使うなど有効に活用している。
- ・土留めにより斜面が大雨でも崩れず、市からも喜ばれている。

●自己評価

- ・毎回作業前の指導者による技術・安全指導、作業後の反省会を行っている。
- ・かかり木も多く作業に手間取ったが、無事故を目標にしている。
- ・活動費を得るため、市民バザーなどで木工作品や花炭など販売している。

●参加者の声

- ・間伐や除伐を繰り返し、山が明るくなり稜線に青空が見えて気持ちいい。(50代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
2ha	3.5ha	1ha	58人	64人	122人
実施場所：群馬県桐生市、栃木県さくら市、東京都小平市					



公園のベンチとテーブルの補修

2014企業人学びの森整備事業

(公社)石川の森づくり推進協会

金沢市古府

●事業概要

目的は、企業の社会貢献としての森づくり活動を推進するため、企業人に対しては森林・林業に関する基礎知識と実践技術を指導するものである。

主な活動は、指導員の育成研修と植栽・保育の森づくり活動である。

●事業成果

- ・樹木の特性や刈払機の操作・保守点検などの技能・知識の向上に努めた。
- ・森づくり整備活動では、植栽、下刈り・つる切、徐間伐、山野草の植付を行い、活動指導や森林教育に活かすことにした。

●自己評価

- ・植栽木のコナラ・クヌギ、徐間伐後のトチノキ・クルミ・サクラなどは順調に生育している。
- ・依然として葛つるやササが繁茂しており、継続した刈り払い作業などが必要である。

●参加者の声

- ・山野草に触れる機会が少なく、知識も少ないので勉強になった。
- ・コシアブラの芽が食用だと知った。

実績とりまとめ表

作業内容						参加者数	
植付面積	植付本数	笹刈面積	下刈・つる切面積	補植面積	除間伐面積	県内	計
0.10ha	50本 300株	0.25ha	2.06ha	0.11ha	0.25ha	137人	137人
樹種：クヌギ、コナラほか							
実施場所：石川県							



クヌギ、コナラなどを植樹

森林公園生物多様性復元事業

(特非)世界の砂漠を緑で包む会

金沢市大通町

●事業概要

目的は、耕作放棄水田跡地に溜め池を作り、周辺森林を整備することにより、水生昆虫や絶滅危惧種であるギンヤンマ、オニヤンマ、ホタルなどの飛び交う環境を復元することであり、主に草刈、間伐、枝打ち、枯損木の整備などを行っている。

●事業成果

- ・里山環境の復元により、四季を通じた推移が確認できるようになった。
- ・カエル、トンボなどの水生昆虫、蝶、野鳥、リスの生息など生物多様性が確認できる森になった。
- ・間伐、枝打ちにより、日が射す明るい森になった。

●自己評価

- ・当初計画の70%程度の達成率である。
- ・湿地帯の排水処理をどうするか、水路への土砂の流入防止のための堰設置を検討する必要がある。
- ・今後、観察道の整備により家族連れでも気軽に生物多様性を確認できる場としたい。

●参加者の声

- ・かつて身近にいた昆虫が飛び交う環境に感激した。
- ・観察池と水路が短時間に豊かな自然を取り戻すことに驚いた。

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	計
1.0ha	130本	2.5ha	2.0ha	1.0ha	128人	128人
実施場所：石川県津幡町						



クルミの森整備地

大呑ふれあいの里山づくりプロジェクト

大呑グリーンツーリズム推進協議会

石川県七尾市花園町

●事業概要

目的は、過疎化・少子高齢化により放置されている里山の保全・再生を図るものであり、主な活動は、カエデ、モミジ、ナラなど広葉樹の植栽、作業路開設、森林環境教育である。

●事業成果

- ・地元住民だけでなく、市街地からも多くの家族が参加した。
- ・普段森林に触れることのない方々が、森林に対する理解と関心を深めることができた。
- ・親子のコミュニケーションが図られた。

●自己評価

- ・ほぼ計画どおり実施できたが、準備に手間取り、参加者に対する説明が不十分だった。
- ・様々な場面を想定した対応で、さらに多くの方々が参加できるようにしたい。

●参加者の声

- ・親子で植栽ができ良かった。
- ・植栽木の保育にも関わりたい。
- ・木に対する知識や関心が深まった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	作業道距離	県内	県外	計
0.5ha	200本	100m	130人	10人	140人
樹種：カエデ、モミジ、ナラなど					
実施場所：石川県七尾市山崎町					



カエデ、モミジ、ナラなどを植樹

奥裾花自然園遊歩道整備と林産材を利用した林業体験

(特非) まめってえ鬼無里

長野市鬼無里

●事業概要

目的は、多くの人々が訪れる自然園をさらに充実させるものであり、主な活動は、ブナの植樹、間伐、間伐材の利用体験などである。

●事業成果

- ・遊歩道へのチップ敷設は、観光客から環境に配慮した良い取り組みだと評価された。
- ・資源の有効活用と里山整備の必要性を学習できた。

●自己評価

- ・今後は、年間を通じた学習につなげたい。
- ・木工作品は、公共の場で活用しているので、利用者からも好評だった。

●参加者の声

- ・木質チップをまくことで、木にも人にも優しくなるということが分かった。
- ・間伐材で作ったベンチを地区の方に利用してもらえて良かった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	間伐面積	県内	計
1ha	100本	1ha	96人	96人
実施場所：長野市鬼無里				



ブナの植樹

東濃の緑を守るボランティア活動事業

東濃山歩倶楽部

岐阜県中津川市加子母

●事業概要

目的は、山歩きや森林作業に意欲を持つ中京圏の都市住民と地域住民とが連携し、森林を守り育てることであり、主な内容は次のとおりである。

- ①ヒノキ人工林の下刈り、間伐・雑木除去など
- ②天然ヒノキの「神宮備林」におけるヒノキ育成上の技術・技能面の研修
- ③林道沿いへの広葉樹植樹

●事業成果

下刈りや間伐の必要性を学び、現地作業を実践することで、地球環境について考えることができた。

●自己評価

今後は子どもたちにもこの活動に参加してもらい、興味を持ってもらえるよう計画をしたい。

●参加者の声

- ・森林に触れ、健康になった気がする。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
10本	0.5ha	0.5ha	14人	23人	37人
実施場所：岐阜県中津川市					



広葉樹を植樹

「森づくり自然学校」及び富士山麓の自然現地調査

(特非) 土に還る木 森づくりの会

静岡県御殿場市新橋

●事業概要

目的は、「森林・林業再生」のため“だれでも参加できる安全で楽しい持続的な森づくり活動”を推進し、富士山の自然の調査や普及啓発を行うものである。

主な活動は、①植栽など、②間伐、下刈りなど、③間伐材などの有効活用、森林体験、生物多様性の調査などである。

●事業成果

- ・多くの参加を得て、“だれでも参加できる開かれた森づくり活動”を実践できた。
- ・協働した森づくりの結果、森が見違えるように整備された。
- ・新たにシカ食害防止柵を設置した。

●自己評価

- ・荒れた森を整備や広葉樹への樹種転換によりプロセスを実感できた。
- ・しかし、事業全体の広報・パブリシティ活動が不十分であった。

●参加者の声

- ・普段使わない道具で作業を体験した子どもたちの目は生き生きとしていた。
- ・森を体験することの大切さが分かった。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.5ha	256本	1.0ha	0.2ha	520人	515人	1035人
樹種：クヌギ、モミジ、ミズナラなど						
実施場所：静岡県御殿場市 市内3ヶ所の森林						



シカ食害防止柵の設置

沼津市愛鷹運動公園内森林整備事業

環境整備「森と竹で健康クラブ」

静岡県沼津市東原

●事業概要

目的は、森林と親しみながら里山の保全、公園整備を行うものであり、主な活動は、①公園内の荒れたヒノキ人工林の手入れ・間伐材利用、②ヒノキ林跡地への植樹、③下刈り、④樹種名板の取り付け、⑤コナラの育苗、⑥安全技術研修会などである。

●事業成果

- ①徐々に明るく、安全な市民公園になりつつある。
- ②樹木名板は、児童の樹木学習に役立っている。
- ③エリア内の階段修復によって散策者が増えた。
- ④植樹で樹種が増え、花も楽しめるようになった。
- ⑤チルホールで安全作業ができた。

●自己評価

- ・植樹、育樹、下刈りなど順当に行えた。
- ・林内の灌木は4年でほぼ除伐が完了した。
- ・市民・子どもの参加を増やすのが今後の課題である。

●参加者の声

- ・案内板や歩道が整備され、歩きやすくなった。(散策路利用者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	除伐面積	間伐面積	県内	計
90本	1 ha	1 ha	708人	708人
樹種：コナラ、ドウダンツツジ				
実施場所：静岡県沼津市愛鷹運動公園（市有地）				



チルホール活用でかかり木処理作業

猿投山北西山麓の環境林整備

猿投の森づくりの会

名古屋市中区富士見町

●事業概要

目的は、人工林の間伐作業などによって、健全で活力ある森林を育成し、水土保全林機能・景観・林床植生の多様性など環境林として整備するものである。

主な活動は、①除伐、間伐、下刈り、遊歩道の整備、②カシノナガキクイムシ被害によるコナラ枯死木の伐倒、③間伐による植生の多様化、④様々な層を対象にした森の探検隊・音楽祭、自然観察会などを行った。

●事業成果

- ・遊歩道沿線の枯死木伐倒により、ハイカーの安全を確保することができた。
- ・スギ、ヒノキの間伐の結果、景観面が良くなった。
- ・森の音楽祭などの参加者の森林環境への関心が高まった。

●自己評価

- ・コナラの枯死木処理は8割程度終了したが、継続する必要がある。
- ・人工林の間伐は、ほぼ計画通り実行できたが、雑木林の笹刈は広いため、継続する必要がある。

●参加者の声

- ・生態系のことを学べ、親子で楽しい体験となった。(森の探検隊参加者保護者)
- ・遊歩道が良く整備されているので驚いた。(自然観察会参加者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
間伐・除伐	除伐・笹刈	県内	計
1.3ha	0.8ha	1032人	1032人
実施場所：愛知県瀬戸市			



間伐作業

森の健康診断&簡易搬出全国出前事業 (拡充)

矢作川水系森林ボランティア協議会

名古屋市中村区那古野

●事業概要

目的は、「森の健康診断」と「簡易搬出研修」を全国で展開することである。

森の健康診断は、講座内容を充実させ、特に学校では、子どもの森の健康診断プログラムの改善・充実と、未実施地域への普及を図った。

また、搬出研修の出前講座は、全国各地の森づくり・村づくりの要望に応えた。

●事業成果

10県域からの依頼を受け、診断と研修を実施し、延べ18回の出前、延べ77人の講師により、広域普及ができた。

特に、子どもの森の健康診断は、チームを編成、教育委員会、小学校、地元キーパーソンなどに働きかけ、内容改善、短縮改訂版プログラムを開発した。

●自己評価

流域全体をまきこんだ森の健康診断(最上川流域)を、立上げから初回実施まで支援し成功させた。また、子どもの森の健康診断の小学校普及に大きな進展があった。

●参加者の声

素直な感性で感想とお礼がつづられている。(感想文)

実績とりまとめ表

作業内容		派遣人数
森の健康診断	簡易搬出	計
14件	6件	79人
場所：山形県、長野県、静岡県、岐阜県、愛知県、滋賀県、京都府、岡山県、広島県、福岡県		



子どもの森の健康診断

森に集まれ！ 森を守ろう！

グリーンボランティア『森林づくり三重』

三重県四日市市小牧町

●事業概要

目的は、森林の大切さ・整備の必要性を社員や一般の方の理解を得るためのものであり、主な活動は、①企業と協同で間伐体験や作業道作り、子ども達による間伐材の工作・森の遊び体験、②ボランティアや一般の方々ที่チェーンソーを安全に使用するための講習会、③森林整備作業、市民まつりなどへの参加、間伐材による木工教室などを行った。

●事業成果

- ・社員や一般の方々が、森林整備の必要性やチェーンソーの知識を得たいという思いがあったことがわかった。
- ・チェーンソー講習会では、数名が会員になり、森林ボランティアの戦力アップとなった。

●自己評価

- ・チェーンソー講習会の参加者が思った以上に多かったため、今後、他市町でも積極的に実施していきたい。

●参加者の声

- ・本格的にチェーンソーを使った間伐をしたい。(社員)
- ・入会してチェーンソーを使った森林整備に参加したい(チェーンソー講習会受講者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
6ha	4ha	1979人	289人	2268人
実施場所：三重県いなべ市北勢町、名張市ほか				



間伐体験

森業施業・林業生産等の体験と森林整備

府民の森ひよし森林倶楽部

京都市右京区梅津前田町

●事業概要

目的は、会員の知識と技術向上、一般参加者の森林とのふれあい・体験林業のため、各種イベントを開催し、森林整備と交流を図るものである。

主な活動は、①憩える森林作り、②間伐材による遊歩道の整備、③地元との交流会、④一般参加者に対する森林整備の基本・実技指導などである。

●事業成果

- ・森林に興味を持ち、整備することで、森林の大切さを理解してもらえた。
- ・森林整備や橋の架け替え作業などを通じて、安全作業について学んだ。

●自己評価

- ・一般参加者も予定どおり確保し、事故もなく活動できた。
- ・炭焼き用の材が不足したので、今後、近隣の放置林からの活用を図りたい。

●参加者の声

- ・カブトムシは家でも孵化させた。(中学生男子)
- ・春にミツマタの花がきれいに咲いていた。(60歳女性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下草刈り	間伐面積	府内	府外	計
0.03ha	45本	0.02ha	0.03ha	510人	110人	620人
樹種：ヤマザクラ、ユキヤナギなど						
実施場所：京都府南丹市日吉町（府民の森ひよし）						



森林散策

里山整備事業

(特非) 兵庫間伐サポートサービス

兵庫県尼崎市下坂部

●事業概要

目的は、小学校や保育園の隣接地で手入れ不足となっている森林を明るく健全な森に誘導するものであり、主な活動は、①風倒木、不良木、枯マツなどの伐採、②過密林の間伐、③学童の観察学習フィールドの整備である。

●事業成果

- ・薄暗い森林に日が差し込むようになった。
- ・小学校・保育園からの見通しが良くなった。
- ・地元住民、関係機関から協力が得られ、スムーズに進められた。

●自己評価

- ・長年の手入れ不足による繁茂と、折損木、ツルの巻きつきなどが多かったが、ほぼ計画が達成できた。
- ・人員の確保と作業量を整合させて、作業を進めていく必要がある。

●参加者の声

- ・間伐を実施した箇所と実施しない箇所を比較した説明を受け、間伐の重要性を認識した。(尼崎市・男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	計
2.6ha	3.2ha	2.1ha	340人	340人
実施場所：兵庫県加東市				



風倒木、不良木などを伐採

竹林整備と竹の利活用

奈良県森林ボランティア連絡協議会

奈良市高畑町

●事業概要

目的は、手入れ不足の荒廃竹林が周辺に拡大していることから、適正な密度に整備するとともに、竹材の活用を図るものであり、主な活動は、次のとおりである。

- ①シホウチク、モウソウチク、マダケの竹林整備 (13回)、
- ②ミニ門松などの作成 (2回)、③出前紙すき体験である。

●事業成果

- ①珍しいシホウチク竹林が、枯れタケ、ササ、取り除き作業で、存在感を示すようになった。
- ②モウソウチク、マダケの林も林内に日が差し、眺めも良く、人の移動もしやすくなった。
- ③花器、竹カップ、スプーンの作成体験で、参加者はやればできるという自信をつけた。

●自己評価

- ・活動日の追加によって、計画どおり整備できた。
- ・竹紙すき体験は材料の熟成が間に合わず、「牛乳パックの紙すき」体験となった。
- ・「植和紙工房」の出前紙すき体験も実施できて良かった。

●参加者の声

- ・花器づくりは難しかったが、楽しかった。(36歳主婦)
- ・荒れ放題の竹林をよく見かけるが、こんなにひどいとは思わなかった。(55歳男)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
竹林整備面積			
約0.8ha	212人	16人	228人
実施場所：奈良県大和郡山市 県立矢田自然公園			



竹林整備

太田川の源流の森林保全と資源活用事業

(特非) ひろしま人と樹の会

広島市西区鈴が峰町

●事業概要

目的は、太田川の源流域のナラ枯れ病や手入れ不足の広葉樹林の整備や健全な森林の復活と、伐採木の有効活用を通じて都市と山村との交流を図ることである。

主な活動は、①広葉樹林の除伐、草刈、②間伐 (危険木伐採含む)、搬出、利用、③伐採木の有効利用 (キノコ栽培の原木、木炭、薪など)、④キノコ栽培教室、炭焼き体験、薪割り体験である

●事業成果

地域住民による間伐、除伐、草刈の結果、手入れ不足の広葉樹林に光が差し込み、ササユリの生育も確認されるなど里山の復元が図られた。

材の有効利用は、定期的なキノコ栽培教室、炭焼き体験、薪割り体験で理解し、薪や木炭は教材として活用した。

●自己評価

殆どどの材を林内作業車で運び出し、有効活用できた。今後は、チェーンソーの技術力の向上を図るとともに、安全に活動ができる体制作りを進める必要がある。

●参加者の声

- ・初めてノコで木を倒すのが楽しかった。(小学生)
- ・チェーンソーの目立て指導を受けて自信がついた。(60歳代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除間伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.0ha	1.0ha	1.0ha	304人	10人	314人
実施場所：広島県廿日市市吉和					



広葉樹間伐材の有効利用のため搬出して薪割り

下ノ加江川水系の森里川海の つながり再生プロジェクト

(特非) いきいきみはら会

高知県幡多郡三原村

●事業概要

目的は、川上の三原村側と川下の土佐清水市側が連携して森林整備を行い、森里川海をつながりを再生するものである。また、自伐型林業の指導を受け、軽機材での間伐作業の実践者を増やす。

●事業成果

実務講習を受けたメンバーは、初心者レベルであるが、間伐、造材、搬出、薪への加工などの作業を実施できるようになった。また、村内及び土佐清水市で、バラバラに自伐型林業を行っていた個人やグループ、自伐に取り組めなかった所有者などが、連携して活動するようになった。

●自己評価

専門家や経験者により、約1.0haの森林整備及び約280mの作業道、歩道ができた。

この成果は、三原村、土佐清水市の各メンバーの連携がなければ、得られなかったもので、経験を元に、森林整備を効率的に行うと共に、間伐などができるメンバーを増やし、川上、川下で連携するネットワークを広げたい。

●参加者の声

・作業道がなぜ必要かがよく判った。(参加者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.0ha	0.2ha	1.1ha	184人	18人	202人
実施場所：高知県三原村、土佐清水市					



間伐の実務研修

野に山に庭に炭を撒いてCO₂削減！

(特非) 北九環浄研

福岡県北九州市小倉南区

●事業概要

目的は、後継者・担い手不足による放置林や未利用資源の増加に対応するため、未利用バイオマスの炭化や炭を活用した環境浄化を推進するものである。

主な活動は、除間伐などの森林整備、竹炭製作などである。

●事業成果

・放置林の整備、伐採竹の炭化作業を行った。
・竹炭化は、大学教授、学生と学びながら市民活動として行った。

●自己評価など

・今後、放置林を資源の宝庫として見るなどの変化が期待できる。
・放置林の整備は、手作業だけでなく、重機使用による効率化が必要である。

●参加者の声

・初めて炭作りを楽しんだ。
・放置林の枯竹、倒木が資源になることを知った。
・環境に貢献しながら、余暇を楽しく過ごせた。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	竹炭製作	県内	県外	計
0.2ha	0.2ha	1ha	9600ℓ	120人	70人	190人
実施場所：福岡県北九州市門司区						



無煙炭化器での炭づくり

みんなの森プロジェクト

地球お守り隊

福岡市中央区小笹

●事業概要

目的は、筑後川源流の大分県中津江村の山林において、福岡都市圏の一般市民による森林保全作業を行い、都市住民に親しまれる「みんなの森づくり」を行うものであり、今年度は、次の事業を実施した。

- ①平成26年8月 筑後川源流での川の学校・クラフト体験
- ②平成26年10月 森林保全作業（枝打ち・除伐）
- ③平成27年4月 指導者研修（植林・除伐・地拵え）
- ④平成27年5月 森林保全作業（枝打ち・除伐・シイタケの駒打ち）

●事業成果

水源地の森は自分たちの森との意識を参加者一人一人が持つことができ、森や水を自ら守るため、考え行動できる人材の育成に繋がった。

●自己評価

- ・森の中での間伐材を利用した拠点づくりは、時間が足りず実施できなかった。
- ・活動中に参加者及びスタッフがスズメバチに刺され、急遽病院で受診した。今後は事前準備をより計画的な実施に努めたい。

●参加者の声

- ・川の水がとてもキレイで冷たいのにびっくりした。（小学3年生）
- ・自分たちの生活と森が繋がっていることが分かった。（40代 男性）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	除伐面積	県内	県外	計
0.3ha	200本	0.9ha	276人	20人	296人
実施場所：大分県日田市中津江村					



枝打ち体験

地球温暖化防止に資する 水源林整備活動

人吉・球磨自然保護協会

熊本県人吉市大工町

●事業概要

目的は、広大な森林地帯の水源林を地球温暖化防止にも資するよう整備するものであり、主な活動は、植付、保育である。

●事業成果

- ・森林に関する様々な知識を習得しながら、整備活動を行った。
- ・参加者は森林の必要性や役割を認識しながら作業した。

●自己評価

- ・地球温暖化防止や水源林を知る有意義な事業であった。
- ・今後は、高齢者や緑の少年団が参加しやすいよう尾根筋などに歩道を整備したい。

●参加者の声

- ・木材を使った時計作りや、珍しい生物を探した。
- ・今回の活動でしっかりと地球温暖化防止のことを学んだ。（以上、人吉市立中原小学校緑の少年団）

実績報告とりまとめ表

作業内容						参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.4ha	6本	6本	0.2ha	0.2ha	0.6ha	70人	90人	160人
樹種：ケヤキ、モミジ								
実施場所：熊本県あさぎり町須恵（松尾国有林）								



ケヤキ、モミジなどを植樹

平成26年度 第12回「森林ボランティアの日」活動 in さえずりの森

(特非) 四季の会

鹿児島県始良市鍋倉

●事業概要

目的は、「森林ボランティアの日」(9月第3日曜日)の定着に向けて、県内の「鹿児島県森林ボランティア連絡会」(29団体)が共同で活動するものであり、主な活動は、県央の森林公園における下刈り、除間伐、竹林・遊歩道整備である。

●事業成果

- ・竹林・森林の除間伐作業などにより景観が良くなった。
- ・腐食していた遊歩道の階段も整備し、安心して通行できるようになった。
- ・参加者も、実践活動を通して、森林を守る大変さ、大切さを次世代に引き継ぐ責任を感じていた。

●自己評価

- ・雨模様のため、予定していた緑の少年団の参加は見送ったが、県職員、連絡会会員により作業を終えた。

●参加者の声

- ・植えたセンリョウ・マンリョウの実のなるのが楽しみだ。
- ・少しだが地球温暖化防止への貢献ができた。

実績とりまとめ表

作業内容							参加者数	
植付本数	植付本数	下刈面積	除伐面積	竹林整備	歩道新設	間伐木利用	県内	計
300本	50本	8ha	3ha	1ha	200m	20本	259人	259人
樹種：センリョウ、マンリョウ								
実施場所：鹿児島県始良市（さえずりの森）								



遊歩道を整備

荒廃竹林(森林)の整備

田舎の環境を守る会

鹿児島県薩摩川内市中村町

●事業概要

目的は、少子高齢化などによる森林の手入れ不足によって増え続ける荒廃竹林を整備するものであり、主な活動は、モウソウチクの伐採・搬出と、地元製紙工場への搬入などである。

●事業成果

- ・数十年にわたり放置されていた荒廃竹林の整備により、環境が大きく改善された。

●自己評価

- ・竹チップの活用は、今後の荒廃竹林整備の拡大につながる。
- ・当初の計画をほぼ達成できた。
- ・積極的な参加者が中々増えないため、環境維持のためにも、新しい協力者を確保する必要がある。

●参加者の声

- ・居住環境が改善され、非常に喜んでいる。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
間伐面積	113人	113人
0.3ha		
実施場所：鹿児島県薩摩川内市		



荒廃竹林(森林)の整備

児童の自然観察と森づくり

みどりの二季会

鹿児島市吉野町

●事業概要

目的は、小谷川沿いの森で、都市と山村の児童が交流しながら森づくりと自然観察を行うものであり、主な活動は、下刈り、自然観察、シイタケ駒打ち体験などである。

●事業成果

- ・市内の児童が主で、工具の使い方など初めての児童が多かった。
- ・皆んないきいき活動していた。

●自己評価

- ・達成度100%である。
- ・課題は、会員の高齢化と児童を増やす取り組みである。

●参加者の声

- ・「轟木の滝」は素晴らしい。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
下刈面積	県内
0.9ha	45人
実施場所：鹿児島県霧島市、大崎町、始良市、志布志市	



自然観察

魅力あふれるさとの山 パート1

蒲生郷「おかべ会」

鹿児島県始良郡蒲生町

●事業概要

目的は、荒廃している山(竹林・スギ林を含む)を整備することにより、森が自然の恵みの厳選であることなどを体験させるものである。

主な活動は、①各ゾーニング(スギ・広葉樹、きのこ、冒険の森など)に応じた整備、②森林ボランティア活動を通じて地域住民と都市部住民のふれあい、③園児のキノコ体験教室と小学生の森林環境教育、④間伐材の利用などである。

●事業成果

- ①グループ員、地区住民、他の森林ボランティアによるゾーン毎の森林整備などで里山のレイアウトができた。
- ②町内外からの多くの親子の参加で、クヌギの植樹、シイタケの種ゴマ打ちなどを行った。
- ③森林環境教育で小学生が森林について理解した。

●参加者の声

- ・初めて木登りやツリークライミングなどの体験をした。
- ・山のこと、木のことなどの知識を得たい。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.07ha	20本	1.65ha	0.28ha	236人	8人	244人
樹種：クヌギ、スギ						
実施場所：鹿児島県蒲生町						



子どもたちの森林体験

樹木の風・雪・地震等による倒壊危険度調査の研修事業

(特非) 日本樹木育成研究会

宇都宮市小幡

●事業概要

目的は、大型台風や集中豪雨、突風などの多発に伴う倒木、建造物の破壊、人的被害が相次いでいることから、未然防止のための森林整備と倒木のおそれのある樹木（危険木）を判定するための技術研修であり、主な活動は次のとおりである。

- ①スギ・ヒノキを主体とした人工林（2.5ha）の森林整備事業
- ②樹木の倒壊危険度調査の研修

●事業成果

長期間、手入れがされなかった暗い人工林が間伐や下刈りなどにより、地面まで日光が届く明るい森林に生まれ変わった。

また、危険度調査の研修においては、目視による簡易調査や腐朽状況判定装置を使用した詳細調査のほか、大径木の伐採などを体験し、理解を深めることができた。

●自己評価

2.5haの森林整備と3回の研修は計画通り実施できたが、事務局や講師の都合により、計画どおりの時期に実施できなかった。

参加者に対して講師やスタッフが足りず、説明などが行き届かなかったことなどから、今後は、屋内外の組み合わせも検討したい。

●参加者の声

- ・チェーンソー使用における癖について、適切なアドバイスがあった。
- ・チルホールを利用した伐倒方法を習得できた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	間伐面積	県内	計
2.5ha	2.5ha	70人	70人
実施場所：宇都宮市			



3回の研修を行った

防災林を奥利根地域で育てるボランティア活動事業

上州の防災・森づくりの会

東京都世田谷区赤堤

●事業概要

目的は、共同利用牧場跡地を、自然災害の安全・安心な水源地の森林として再生させることで、主な活動は次の通りである。

- ①サクラ・クリ・コナラ計100本の植栽。
- ②広葉樹林約0.2haの下刈り
- ③サクラ・クリ・コナラなどを除く雑木の除伐。

●事業成果

放置され荒れ果てた牧場跡地の一部の植栽だが、継続の必要性を目に見える形で示すことができた。

一旦、失われた森を元に戻すことが如何に大変か参加者に実感させることができた。

●自己評価

計画通り実施できた。

日曜日を活動日にしたことで20代～40代の企業人の参加も前回より多かった。

今後も若い参加者の増加に力を入れていきたい。

●参加者の声

- ・森林を伐採し、長い年月放置していた土地に森に戻すための植栽はきつかった。
- ・植え方のチェックを受け、やり直しをしてよかった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.02ha	100本	0.2ha	20人	40人	60人
樹種：サクラ、クリ、コナラなど					
実施場所：群馬県みなかみ町					



サクラ・クリ・コナラなどを植樹

森で活動する人のための安全研修 と森林整備

アクショングリーン

東京都豊島区西巣鴨

●事業概要

目的は、森林ボランティアに関わる人が増える中で、知識の欠如に起因する災害が増えていることから、安全かつ効率的な作業に必要な研修・セミナーを行うものである。

主な活動は、①千葉県内の山林での研修、②研修結果を伝える都内でのセミナーである。

●事業成果

①セミナーは、森林保全活動実施者、初心者、高校生などバラエティに富んだ顔ぶれとなった。

②全員が林地で過ごしたため、参加者同士の交流も生まれた。

③それぞれが抱える問題点を相談できたのがよかった。

④風倒箇所での練習の結果、風倒木処理ができた。

⑤かかり木の安全な処理で、ポータブルウィンチの有効性を体感してもらえた。

●自己評価

①集材まで行う予定だったが、チェーンソーの基本的な扱いから、伐倒、ロープワークなど、覚えるべきことが多くてできなかった。

②丁寧な研修を心掛けたので、参加者の満足度が高かった。

●参加者の声

・チェーンソーを使うことで、林業家の苦労やすごさを知り、貴重な機会となった。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
間伐面積	計
0.5ha	79人
実施場所：千葉県袖ヶ浦市、東京都渋谷区	



間伐研修

国民参加による 災害につよい森づくり事業

(特非) 里山クリーン新潟

新潟県阿賀野市村杉

●事業概要

目的は、荒廃している森林を整備することにより、災害に強い森林づくりに資するものであり、主な活動は、広葉樹の植樹、下刈り、除・間伐である。

●事業成果

・植樹、除・間伐により、災害に強い森づくりが進んだ。

・老齢木の森が植樹により森に息吹を感じるようになった。

・日が差し、小鳥がさえずる環境が再生された。

●自己評価

・子どもたちが森づくりを体験し、災害の防止など森林の役割を学んだ。

・荒れた森林が健全な状態に向かいつつあり、参加者が達成感を感じた。

●参加者の声

・今まで森に縁がなかったが、整備された森林空間を体感でき、感動と感謝の言葉で一杯だった。

・今後も地域の人々と森を守り続けたい。

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.5ha	300本	1.0ha	1.5ha	0.5ha	175人	9人	184人
実施場所：新潟県安田町							



子どもたちも参加して森林整備

人と自然がおりなす歴史ロマン 浜街道未来への森づくり

北潟の森協議会

福井県あわら市波松

●事業概要

目的は、自然災害やマツクイ虫などにより荒廃が続く森林を歴史ロマン街道の森として再生するものであり、主な活動は、①マツ林や広葉樹林における植林や下刈りなど、②遊歩道整備、③森林・林業体験プログラムである。

●事業成果

- ・多くの子どもたちや住民が参加したことにより、荒廃した森が整備され、未来への森として生まれ変わった。
- ・普段、森林との触れ合いが少なかった子どもたちや一般参加者も森林の大切さや海岸防災林の働きを学ぶことができた。

●自己評価

- ・ほぼ計画通りできたが、不慣れな作業ため、思ったほど進まなかった。
- ・今後は、指導者やボランティアの育成により安全対策などの体制整備に努める。

●参加者の声

- ・森の大切さや昔の人の竹の利用を学ぶことができた。(小学生)
- ・家族と植樹できてうれしかった。(70代 女性)

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	計
0,31ha	700本	0,31ha	3ha	3ha	315人	315人
樹種：マツ、グミ、トベラ						
実施場所：福井県あわら市						



マツ、グミなどを植樹

さばえの里山市民参加災害に強い 森づくり活動

越の里地球環境会議

福井県鯖江市中野町

●事業概要

目的は、かつて漆器などの伝統産業や生活文化の中心であった森林が、自然災害や林業の低迷で荒廃していることから、人と自然の共生や、災害に強い森に再生するものである。主な活動は、①広葉樹の植栽、下刈り、除間伐、②歩道の整備、③間伐材を活用した木工品作製、④森林環境教育である。

●事業成果

- ・多くの市民や県外の学生との連携により植樹などの作業を実施することができた。
- ・普段、森林と触れ合う機会が少なかった参加者が、森林の働きや生き物の生息地の働きを学んだ。

●自己評価

- ・計画通り植樹や、除伐、間伐などができた。
- ・ツルなどによるかかり木などが発生するので、作業前の草刈りやツル取り、歩道の整備などが必要である。
- ・今後は、除伐・間伐・搬出などのための体制整備が必要である。

●参加者の声

- ・指導を受けながら、色々な活動ができて良かった。(60代 男性)

実績とりまとめ表

作業内容						参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0,21ha	860本	300本	0,2ha	0,5ha	0,3ha	3060人	30人	3090人
樹種：クヌギ、コナラ、シラカシ、スギなど								
実施場所：福井県鯖江市								



クヌギ、コナラなどを植樹

引地の森と川を守る森づくり事業

(特非) 穂の国森林探偵事務所

愛知県新城市字北畑

●事業概要

目的は、手入れ不足の人工林や、台風など被害地において災害に強く、景観に配慮した森づくりを、地域主体で継続することである。

具体的には、①歩道・河川沿いの手入れ不足の人工林、②台風・大雪の際にがけ崩れ、倒木、間伐木流出が見られる区域、③植栽木が大きくなり、河岸保護の石垣の崩壊部分の整備を行った。

●事業成果

技術の向上、機材の活用を通じて、地域の森づくり活動が活発化している。

当団体を中心に河川沿いの森林所有者に働きかけ、森林整備を実施している。

●自己評価

森林所有者・住民主体の森づくり体制の確立によって、森林ボランティア活動は活発化したが、今後事業を継承するためには、次の世代の森林所有者の取り込みや、地域の森林経営への関わりなどのステップアップが求められる。

●参加者の声

- ・東海自然歩道沿いの森林が明るくなり、西沢川の石垣も見えるようになったと登山者から評価された。(60代男性)
- ・景観整備だけではなく、森林資源の販売などを通じた地区への貢献を検討したい。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
間伐面積 2.0ha	30人	30人
実施場所：愛知県新城市豊岡		



伐木講習会

森林の光環境と土壌環境を改善し森と海を元気にする事業

和歌山市加太観光協会

和歌山市加太

●事業概要

目的は、うっ蒼としたウバメガシ林となっている森林公園周辺の森林において、光環境や下層植生を改善するものであり、主な活動は、①被害木・不良木の伐採など、②丸太柵工などである。

●事業成果

- ・森林整備の必要性を広く住民にPRできた。
- ・大雨による土砂崩れの原因が2次林の放置であることを住民が認識するきっかけとなった。

●自己評価

・伐採作業は、各人のスケジュール管理と連携が不可欠である。

●参加者の声

- ・海をイメージする町でも森林整備が必要だと実感した。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	衛生伐面積	県内	県外	計
2ha	1050本	3ha	192人	7人	199人
樹種：ヤマザクラ、アジサイ					
実施場所：和歌山市加太					



道路脇にヤマザクラやアジサイなどを植樹

「木の駅プロジェクト」で、天災に まけず、人災をおこさない島根の 絆事業

島根県林業研究グループ連絡協議会

松江市殿町

●事業概要

目的は、森林整備と災害発生の関連に関する知識の普及啓発と、「木の駅プロジェクト」を通じた災害に強い森林づくりのための伐木造材技術の普及であり、次の①講演会と研修会、②森の健康診断、③安全な伐木造材・搬出研修、④モデル林整備を行った。

●事業成果

- ・講演会や研修会を通じ、災害発生のメカニズムや森林整備のポイントを学ぶことができた。
- ・災害対策への観点から間伐（伐倒木）の選木知識を得ることができた。
- ・健全なスギ林の土砂災害に対する有効性を知り、森林所有者の励みにもなった。
- ・森の健康診断によって、未間伐林の危険性、森林整備の必要性について関心が高まった。

●自己評価

災害を発生させる要因やメカニズムについて学べた。
今後は、林業関係者だけでなく、多くの県民に災害に強い森林づくりの重要性を認識してもらう研修会などを開催したい。

●参加者の声

- ・伐採木を誤ると災害につながるということが分かったので、選木に配慮したい。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
間伐面積		
0.9ha	205人	205人
樹種：スギ、ヒノキ		
実施場所：島根県津和野町、奥出雲町、飯南町、大田市		



大田市での現地研修

ちいさなことから一歩ずつ！ 草の根林業家の森林保全による 山地災害の防止

もとやま森援隊

高知県長岡郡本山町

●事業概要

目的は、山地災害防止のための森林整備、「壊れない作業道」の敷設、地域産材を用いた森林教育、普及啓発活動である。

主な活動は次の通りである。①約1haの森林整備、間伐作業、②411mの作業道敷設とそれを用いた作業効率の検証、③木工体験2回、カホンづくり3回、間伐体験2回である。

●事業成果

手入れ不足の森林に光が入り、また、地形に即した作業道の整備で効率的な作業が可能となった。

また、間伐体験や森林整備の必要性をPRした結果、潜在的な興味をもった方が多いと感じた。

●自己評価

8月の大雨被害による林道崩壊などで、現場が変更され、約1haの森林整備などしかなかったことから、余裕を持った作業計画、現場確保の必要性を痛感した。

安全面から、作業のヒヤリハットなどの情報共有をさらに徹底する必要性を感じた。

●参加者の声

- ・初めて木を切り、感動した。(30代)
- ・間伐で、山がよみがえった姿を肌で感じた。(50代)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	間伐面積	作業道	県内	県外	計
1.09ha	0.89ha	411m	259人	12人	271人
実施場所：高知県本山町、大川村					



間伐材の搬出

災害に強く多面的な機能を持つ 森林をつくる自伐型林業の実践 及び育成・普及活動

(特非) 土佐の森・救援隊

高知県吾川郡いの町

●事業概要

目的は、自立する自伐型林業（環境保全型林業）の実践で得た収入を元にして、災害に強い森林を育成する活動を全国に普及するものである。

主な活動は、①個人（家族）経営型、集落営林型、大規模山林分散型のタイプ別システムづくり、②間伐、作業道敷設、材の収集・出荷など自伐型林業の実践、③研修の定期的な実施、④自伐型林業の連携・ネットワーク化である。

●事業成果

- ・様々な型を持つ自伐型林業（施業）を確認し、誰もが参画できるスタイルの可能性を証明できた。
- ・専業ではなく副業からスタートできることや、自治体などのちょっとした後方支援によって、参加できることを証明できた。

●自己評価

- ・フォーラムの未実施や全国展開が若干不十分であったため、広報とネットワークづくりに不満が残る。

●参加者の声

- ・副業として森林整備ができることが分かり、次のステップに進める。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
間伐面積	作業道敷設	県内	県外	計
8.1ha	500m	340人	54人	394人
実施場所：高知県佐川町、いの町、日高村				



自伐型林業研修

間伐材の新しい利活用「防災薪製作と避難場所（諸中学校等）への設置」事業

おおづ森の守り人

熊本県菊池郡大津町

●事業概要

目的は、多くの町民が「森の守り人」として、森林健全化と森林資源の有効利用のために、協働することであり、主な活動は、①間伐と材のバイオマス利用など、②初心者向けの森仕事体験会、③避難箇所である小学校への間伐材防災薪の設置と子ども達への環境意識の啓発である。

●事業成果

- ①間伐材の集材は携帯ウインチなどを使用した簡易な方法で行い、2回搬出した。
- ②森仕事体験会は、多くの参加者に森林整備の基礎を習得してもらった。
- ③「森の木からみえること」の講演会で林業の現状、今後の見通しなどについて学んだ。

●自己評価

- ①間伐林地は、予定通り完了し、防災薪棚設置も3カ所に設置した。
- ②間伐材の集材に手間どり、一部が用材として出荷できなかったため、早い時期での出荷を計画する。
- ③多くの参加者を引き付けるような活動を検討する。

●参加者の声

- ・安全教育が良かった。今度は本格的な伐木に参加したい。（森仕事体験会参加者）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	間伐面積	県内	計
0.2ha	0.2ha	236人	236人
実施場所：熊本県大津町			



集材

「くにの松原」保全・再生活動

(特非) 森と木の研究所

鹿児島市桜ヶ丘

●事業概要

目的は、マツ林の富栄養化、マツカレハ及び強風による被害などにより、志布志湾に面した「くにの松原」と呼ばれる白砂青松の海岸林が広葉樹林化し、海岸前線のマント群落が欠如するなど、防災機能を喪失しつつあることから、町民、ボランティアが一体となって植栽、除伐などを行い貴重なマツ林の再生を図るものである。

●自己評価

除伐、植栽などは、ほぼ計画通り進められているが、植栽した苗木が乾燥の害や野兎の食害により当初想定した通りの生育状況にない。

このため、客土や食害に強いクロマツの苗のみの植栽とするなどの改善を図っている。

また、前年度より参加者が減少しているため、今後、参加者の増加に努めたい。

●参加者の声

- ・自分たちの町を守ってくれる防災林の整備に参加できてとてもうれしい。来年もぜひ計画して欲しい。
- ・親子で有意義な活動に参加できて楽しかった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	除伐面積	県内	計
0.1ha	810本	0.7ha	70人	70人
樹種：クロマツ				
実施場所：鹿児島県大崎町				



クロマツの植樹

緑化の推進

エコキャンプ2014

エコキャンプ2014実行委員会

岡山市北区柳町

●事業概要

目的は、親子を対象にした植樹会や体験などを通じて、地域の環境について考え、行動につなげるものであり、主な活動は、①ヤマザクラ・ヤマツツジの植栽、②自然観察教室、③木のおもちゃ作り、④森づくり体験などである。

●事業成果

- ・植樹会、木工教室、自然観察会などの活動を通じて、森を守り育てていく気運が高まった。
- ・植樹会では、森林インストラクターの指導によりヤマザクラ、ヤマツツジの苗木を丁寧に植え付けた。
- ・木のおもちゃ作りや自然観察会などによって、森林と触れ合う機会が少なかった人達が環境保護への関心を高めた。
- ・新聞などを通じ広くPRされたことから、県民の森林環境保全の意識拡大が期待される。

●自己評価

- ・計画通り植栽でき森林の大切さや環境保全の啓発につながった。
- ・今後、より良い森林環境教育ができるよう、新しいプログラムなどを検討したい。

●参加者の声

- ・木のことが一杯分かりました。
- ・木で色々な物が作れることが分かったので、木や森を大切にしたい。(小学生女)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.5ha	80本	122人	122人
樹種：ヤマザクラ、ヤマツツジ			
実施場所：岡山県真庭市蒜山			



親子でヤマザクラ、ヤマツツジの植樹

つたえよう美しき森

「つたえよう 美しき森」推進委員会

金沢市古府

●事業概要

目的は、森の現状について広く県民に伝え、森の活力を取り戻し、健康な森を次世代に引き継ぐものであり、主な活動は、音楽を通して森の大切さを伝える「森のふれあい音楽会」、植樹、トレッキングである。

●事業成果

- ・音楽会では、白山山麓から加賀平野の扇状地を背景にして、森に軽快な音楽を響かせた。
- ・森林で楽しい一日を過ごし、森林保全に対する理解を新たにしてもらった。

●自己評価など

- ・高原山頂のステージは、天候などのリスクはあったが、自然保護、森林保全を感じるには絶好の場所となった。
- ・しかし、山頂までのゴンドラの輸送量から、1時間近い搭乗待ちになった。

●参加者の声

- ・すごく眺めがよくて、楽しかった。
- ・高校生たちが一生懸命、演奏してくれたのが良かった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.1ha	15本	42人	0人	42人
樹種：コナラ				
実施場所：石川県白山市（獅子吼高原）				



コナラの植樹

全国活樹祭 こども間伐体験

環境NPOオフィス町内会

東京都港区芝浦

●事業概要

目的は、未来を担う子どもたちを対象に、楽しく学びながら理解できる「林業体験プログラム」を実施し、林業の大切さを伝えるものであり、岩手県葛巻町と長野県上伊那において間伐体験を行った。

●事業成果

- ・「木を切って使うことは、健康な森づくりに必要なこと」をキーワードに、活樹祭の三要素である「間伐材の活用」、「林業体験」、「木の可能性」を経験した。
- ・具体的には、国産材地域の見学、間伐・枝打ち、木の利用体験を行い、「活樹提案書」を作成した。
- ・子どもたちに「元気な森の維持には林業が必要」、「木を様々な活用」という意識付けができた。

●自己評価

- ・見学から「活樹提案書」の作成まで、活動の統一感をめざした。
- ・各地域の国産材活用法をプログラムに取り入れ、特色を出した。

●参加者の声

- ・森を健康にするには手間がかかることを知った。(葛巻会場)
- ・木を伐るのは疲れたけど、楽しかった。(上伊那会場)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
間伐面積	その他	県内	県外	計
1.2ha	2回	27人	19人	46人
実施場所：岩手県葛巻町、長野県上伊那地域				



間伐体験

親と子協働の森づくりと自然体験活動

(公社)北海道森と緑の会

札幌市中央区北4条

●事業概要

目的は、親と子の自然体験活動を通じて環境保全に貢献するとともに、緑化意識の高揚を図るものであり、主な活動は、植樹などの森林整備、自然体験活動である。

●事業成果

- ・市民ボランティアとの協働により、森の大切さなどを学んだ。
- ・傾斜地でササの根が残っていたため、汗をかきながら苦労して植樹に取り組んだ。
- ・自然体験活動では、樹木の高さの測り方を教えてもらった後、正確さを競ったり、苗木づくり体験で土に直接触れたりした。普段できない体験が子ども達に好評だった。

●自己評価

- ・協賛企業がなくなり、昨年に比べ参加者が減った。
- ・市内の児童会館へのチラシ配布や小学校向けの情報誌への広告掲載など新たな取り組みを行ったが、参加者は増加しなかったため、募集方法やイベント内容などを検討したい。

●参加者の声

- ・昨年から引き続き参加しており、また参加したい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	道外	計
0.10ha	200本	0.20ha	52人	0人	52人
樹種：アカエゾマツ					
実施場所：北海道旭川市神居古潭、札幌市清田区					



アカエゾマツの植樹

青少年による竹林ルネッサンス事業 ～21世紀のかぐや姫事業～

(特非) 日本青少年音楽芸能協会

東京都新宿区西新宿

●事業概要

目的は、荒れた竹林の整備を通して環境保全の大切さを学ぶとともに、タケを使った楽器作り体験などで竹林の理解や竹文化の再興に資することである。主な活動内容は、①タケの特性と有効活用の学習、②荒れた竹林の伐採、下刈りなど、③伐採したタケを素材とした手作り楽器の作製、④作製した楽器を用いた音楽専門家達との交流演奏である。

●事業成果

- ・親子で竹林の下刈りや伐採などの整備を行い、荒れていた竹林がきれいになった。整備を通して自然の大切さ、整備の必要性を周知することができた。
- ・タケの楽器やおもちゃ作りなどタケの有効利用も学ぶことができた。

●自己評価

- ・子どもから大人まで大勢の参加者が協力し合って整備した。
- ・タケの楽器を作ったりおもちゃ作りなどで、タケの有効利用を紹介できた。

●参加者の声

- ・はじめてノコギリをつかった。大きなタケを切ることができてうれしかった。(小学生)

作業内容			参加者数		
下刈および 間伐面積	竹の有効利用 交流コンサート	竹の有効利用 交流演奏会	県内	県外	計
			0.08ha		
実施場所：新潟県上越市					



竹林の整備

震災地域における さくら市立上松山小学校 教育環境向上のための緑化事業

(公社) とちぎ環境・みどり推進機構

宇都宮市本町

●事業概要

目的は、東日本大震災の影響で整備が滞っていた地域の小学校において、校内緑化による教育環境向上と緑化意識の高揚を図るものであり、主な活動は、芝張り、ツツジ植栽である。

●事業成果

- ・芝の張り替えにより安全に活動できるようになった。

●自己評価

- ・緑の少年団により、東日本大震災からの復興を祈念する植樹を行った結果、日々の活動意欲が醸成された。

●参加者の声

- ・植物を育てることで生命について考え、協力し合う大切さを学んだ。(緑の少年団児童)
- ・ボランティアの方々など多くの人に支えられていることを実感した。(緑の少年団児童)
- ・これからも元気いっぱい緑化活動を続ける。(緑の少年団児童)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付本数	コウライ芝張り	県内	県外	計
2本	173㎡	78人	3人	81人
樹種：アカヤシオ、シロヤシオ				
実施場所：栃木県さくら市立上松山小学校				



校舎前に記念植樹

「全国道の駅」と連携した 緑の募金活動推進事業 (7)

(特非) 人と道研究会

東京都千代田区三番町

●事業概要

目的は、「道の駅」を拠点に「森林の大切さ」、「緑の募金活動」をアピールすることであり、道の駅利用者の「緑の募金」への意識を把握するアンケート調査などを実施した。

●事業成果

- ①ルートプレスの紙面を活用したアンケート調査の結果、9割以上が「緑化」に関心があるものの、「募金」の認知度の低さなどが分かった。
- ②道の駅「上品の郷」で開催したミニ防災セミナー（3月14日）のルートプレス紙号外を仙台で開催された第3回国連防災世界会議の来場者などに配布した。
- ③「遠野風の丘」でミニ防災セミナーを開催した。
- ④「道の駅」の協力を得て、「緑の募金箱付き新聞ラック」を設置した。

●自己評価

ミニ防災セミナーは、東日本大震災時に避難者受入れなどで貢献した道の駅「上品の郷」、「遠野風の丘」で開催したことから、注目度や広報効果が高かった。

●参加者の声

- ・その土地に合わせた木々を、住民の人を交えて道の駅を中心に緑を植えたらいと思います。(男性・65歳)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
緑の募金の啓発活動（ルートプレス紙広報）	計 211万6440人
巡回写真展開催（宮城県道の駅「上品の郷」、岩手県道の駅「遠野風の丘」）	
国連防災世界会議「道の駅」シンポジウム普及活動及び募金ラック設置推進	
実施場所：新聞広報は全国、その他は宮城県、岩手県	



海岸林再生などに関する講演

安全な間伐推進モデル事業

森づくり安全技術・技能全国推進協議会

東京都千代田区六番町

●事業概要

目的は、過密な人工林の再生のため、安全かつ効率的な間伐を推進するものであり、主な活動は、安全な作業技術を学ぶ研修と実践活動である。

●事業成果

- ・参加者の技術・安全に対する意識が向上した。
- ・機械の点検・操作、作業手順などに係る研修によって、各々所での労働環境改善が図られた。

●自己評価

- ・参加者が高い満足度を示し、主催者としても研修会のノウハウを蓄積し、有益であった。
- ・さらに研修・間伐作業の質を高めるよう工夫を重ねるとともに、広く本事業についてPRしたい。

●参加者の声

- ・「怖いな」と思っていたことが、「楽しいな」に変わった。
- ・知らなかったこと、初めて使う道具がたくさんあり、良かった。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
間伐面積 2.9ha	46人	26人	72人
実施場所：福島県いわき市、広島県廿日市市、群馬県赤城山、東京都千代田区、東京都あきる野市			



安全で効率的な作業を進めたい

地域の暮らしに根づいた「フォークロアの森づくり」

(特非) 共存の森ネットワーク

東京都世田谷区宮坂

●事業概要

目的は、「聞き書き甲子園」に参加した学生を中心に、「森の名手・名人」たちの知恵や技を学び、地域の暮らしに根づいた森づくりネットワークを広げることである。

主な活動は、①全国6地区で里山や竹林の整備活動、②森の散策調査、③地域の暮らしについての聞き取りなどを行った。

また、地域の方と協働した持続的な活動へ繋げるため、協働作業への参加や報告会の実施などで交流、意見交換を図った。

●事業成果

- ・豊田市では、竹林だった場所に植樹を行い、里山林の景観に戻す段階へ進んだ。
- ・関東や関西の活動では、継続した聞き取り成果を元に、パンフレットなどにまとめる動きへつながり、地域の整備活動を見直すきっかけとなっている。

●自己評価

ネットワーク拡大のための地域住民との協働は、各地区で体制が整い始めているが、地域外の参加者の広がりが小さい。このため、継続活動に関わる新たな参加者を募っていくことが課題である。

●参加者の声

- ・ワークショップで地域の良いところや将来について、教えてもらい、有意義だった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
6本	7ha	2.5ha	90人	148人	238人
実施場所：新潟県村上市、千葉県市原市、愛知県豊田市、滋賀県大津市、奈良県川上村、福岡県八女市					



竹林整備

げんきの森づくりと森の学習活動

(特非) 森林遊びサポートセンター

札幌市南区藤野

●事業概要

目的は、学校林を活用した森づくりや木々の学習から、森や自然を大切にする心を育むものであり、主な活動として、①地ごしらえ、植樹体験、遊歩道整備、下刈り、②子ども樹木博士の認定、ツリークライミング、コースターづくりを行った。

●事業成果

- ①エゾヤマザクラなどの植樹体験から森とふれあい、子ども、小鳥、動物が喜ぶ森をつくった。
- ②博士認定は、全員好成績で、森への理解を深めた。
- ③ツリークライミングでは森との一体感を味わい、森と親しんだ。

●自己評価

- ①予定通り活動ができた。
- ②学校、子ども、保護者などで森を共有できた。
- ③これからも自然を大切にする心を育む活動に取り組む。

●参加者の声

- ・少し怖かったが木の上から森を眺めて気持ち良かった。(5年生)
- ・地ごしらえ、ササ刈が大変だったけれど、やった所をみて良かったと思った。(5年生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	道外	計
0.2ha	48本	1ha	202人	26人	228人
樹種：エゾヤマザクラ、ナナカマド、ズミ					
実施場所：札幌市					



地ごしらえ (5年生)

美幌町「げんきの森」体験事業

(一財) 美幌みどりの村振興公社

北海道網走郡美幌町

●事業概要

目的は、町内の児童や保護者を対象に、森林の役割などを理解してもらうものであり、主な活動は、植付、森林体験などである。

●事業成果

①普段森林に触れることのない親子などに樹木や動植物に関心を持ってもらえた。

②木材・木炭利用によって、森林資源の有効活用について学んだ。

●自己評価

①樹木解説板・パンフレットの作成などによって参加者が樹木への興味を持ち、有意義であった。

②気持ち良く植樹して貰えたが、急斜面のため、ベビーカーでの移動に不自由な点があった。

③毎回、プログラム・内容を変えているが、回数・実施日・工作素材集めに工夫が必要である。

●参加者の声

- ・毎年成長を確認しに来たい。(赤ちゃん記念植樹)
- ・実のなる木もあることを知ったので、来年は親子で散策したい。(森林散策)
- ・毎回、工作内容が変わり楽しみだ。(森の工作教室)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	道内
0.02ha	60本	326人
樹種：ミズナラ、アオダモ、イタヤカエデ		
実施場所：北海道美幌町		



赤ちゃん誕生記念植樹

津別「げんきの森」利用推進事業

津別「げんきの森」利用推進実行委員会

北海道網走郡津別町

●事業概要

目的は、森林に触れ、親しむ機会の少ない子どもたちが森林の役割などを学ぶものであり、主な活動は、植樹や木と人との関わりに関する学習などである。

●事業成果

・ツリーイングによって、普段体験しない高さから森林を観察する機会ができた。

・枝打ち体験で、参加者が作業の必要性を認識した。

・植樹体験やネイチャーゲームを通じ樹木への興味や関心を高めることができた。

●自己評価

・児童は、活動を通じて森林と人との関わりについて理解を深めた。

・林業体験学習は、学年によって理解度、体力に大きな差があるため、プログラムを再検討する。

●参加者の声

- ・枝打ち・植樹体験で作業に熱中する児童がいた。
- ・達成感から児童などから笑顔が見られた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付本数	枝打ち	道内
10本	0.03ha	31人
樹種：イタヤカエデ		
実施場所：北海道津別町		



林業体験

日豪環境ボランティアプログラム 「阿蘇の森林を磨き、恩恵を味わう」

日豪環境ボランティアプログラム実行委員会

熊本県阿蘇市一の宮町

●事業概要

目的は、地元の人たちの森林資源に対する価値の見直し、森林再生保全への意欲向上を図るための課題及び解決策の模索である。主な活動は、次のとおりである。

①阿蘇（火山）についての基礎学習、竹林保全、未利用材回収と出荷、②牧野学習、③階段作り、水源学習、生活文化体験、地域住民との交流。

●事業成果

地元の人々や団体が、外からの視点を得て、改めて自分の地域の魅力、活動の意義を再認識することができた。多様な参加者による多様な意見交換が行われ、当プログラムへの期待や信頼、多くの改良点を収集することができた。

●自己評価

おおむね計画通り実施できたが、雨天時にも対応できるようにするべきであった。また、実行委員会立上から実施日までの期間が短く、満足な準備ができない部分も多々あった。

●参加者の声

- ・地元の方と一緒に作業で、地域のことを直接聞いたことが最も印象的である。
- ・自然が豊かな土地だけでなく、古くからの人々の文化が残り、その自然を保全するための整備に感銘を受けた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
歩道新設	間伐木利用	県内	県外	計
160m	60本	68人	30人	98人
実施場所：熊本県小国町、阿蘇市、南阿蘇村				



歩道の整備

震災地域における学校教育環境向上のための緑化事業 (相馬市立大野小学校)

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会

福島市中町

●事業概要

目的は、東日本大震災の影響で活動が制限されている緑の少年団が、学校緑化活動を行うことにより、活気を取り戻すとともに学校教育環境を向上させるものであり、主な活動は、老齢化したメタセコイヤ、プラタナスの伐採、サザンカの植栽である。

●事業成果

- ・老齢木の伐採による児童の安全が確保された。
- ・景観の改善や、花を楽しめるようになり、子どもたちの憩いの場となった。

●自己評価

- ・少年団に一体感・達成感が生まれた。
- ・学校関係者や保護者も緑の大切さを実感していた。

●参加者の声

- ・大切に育て、小学校の歴史づくりをしていきたい。(緑の少年団員)

実績報告とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	除伐本数	県内	計
0.05ha	100本	3本	95人	95人
樹種：サザンカ				
実施場所：福島県相馬市				



サザンカなどを植樹

震災地域における室根東小学校 教育環境向上のための緑化事業

(公社) 岩手県緑化推進委員会

盛岡市中央通

●事業概要

目的は、東日本大震災に伴う原発事故の風評被害（シイタケなど）の影響を受ける地域において、自然愛護少年団などの緑化意識の高揚と学校教育環境の向上を図るものであり、主な活動は、シダレザクラの植栽や木材チップによる散策路整備である。

●事業成果

- ・少年団の活性化と、関係者による学校緑化が図られた。
- ・植栽木の管理を児童、教職員、少年団育成会など全体で行うことから、郷土愛が高まった。

●自己評価

- ・シダレザクラの成長調査や散策路は、子どもたちの緑化意識の高揚に繋がる。
- ・木材チップの舗装は、自然と調和し、子どもたちにも優しいものとなった。
- ・校庭内には、緑が多くなかったことから、学校の教育環境の改善に繋がった。

●参加者の声

- ・緑化活動を続け、後輩につなげたい。
- ・緑あふれる郷土づくりに取り組みたい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	散策路	看板	県内	県外	計
22本	93.8m	1基	28人	2人	30人
樹種：シダレザクラ、ナナカマド					
実施場所：岩手県一関市室根町 室根東小学校内					



シダレザクラの植樹

防災力向上市民協働植樹事業

(公社) 千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ヶ浦市長浦拓

●事業概要

目的は、東日本大震災で発生した液状化により、建物や公共施設などに甚大な被害を受けた地域において、地域の防災拠点として期待される「道の駅」の強化を図るものであり、敷地内へ広葉樹の植樹を行った。

●事業成果

- ・植樹によって施設の法面が強化され、防災拠点施設としての機能発揮が期待される。
- ・市内外からの参加者の中には初めて植栽した人もおり、法面緑化の重要性などを学んだ。

●自己評価

- ・植栽後の適切な管理により、施設の安全性を高めることが重要である。
- ・斜面が多かったが、注意喚起などにより無事故で終えた。

●参加者の声

- ・自分たちで植栽した木なので、花の時期に訪れたい。
- ・植栽前後の風景の違いに驚いた。「緑」はすごい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.33ha	262本	47	1	48
樹種：ナンキンハゼ、アジサイ、シャクナゲ				
実施場所：千葉県香取市				



ナンキンハゼ、シャクナゲなどを植樹

東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！ Project-D

(公財) 日本環境協会

東京都中央区日本橋馬喰町

●事業概要

目的は、震災からの早期復興であり、主な活動は、被災地で採取したどんぐりを全国の子どもたちが育てた後、再度被災地へ植え戻すことである。

これを通じて、被災地の子どもたちを元気づけるとともに、参加する子どもたちに復興支援を実感してもらうものである。

●事業成果

- ・福島森林管理署との協定による郡山市の「ふれあいの森」において植樹祭を開催した。
- ・静岡、千葉、東京からの参加者と、隣接する小野町の子どもたち約70人が参加した。
- ・宮城県東松島市の海岸防災林と、福島の防災緑地事業地に、県内で採種して育てた苗木を植栽し、生態系に配慮した緑の復興を進めた。

●自己評価

- ・福島県で植栽、育林ができるフィールドを確保し、本格的な活動を開始できた。
- ・他団体の協力を得て、大きく育った苗木を現地に植えるまで保管・管理する体制を整えた。

●参加者の声

- ・全国各地でどんぐりを一生懸命育てている方を思うと、気持ちが一つになった気がしてうれしい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.53ha	1080本	0.5ha	40人	52人	92人
樹種：クヌギ、コナラ					
実施場所：宮城県東松島市、福島県郡山市、相馬市					



クヌギ・コナラなどを植樹

震災地域の学校教育環境向上のための緑化事業

(公社) 茨城県緑化推進機構

水戸市三の丸

●事業概要

目的は、東日本大震災で住宅、ライフラインなどが甚大な被害を受けた地域の小学校において、校庭周辺の緑化など教育環境を向上させるものであり、ケヤキ、ヤマザクラ、ドウダンツツジなどを植栽した。

●事業成果

- ・校庭周辺が埋め立て地であり、土壌が悪いため、客土を行い植樹した。
- ・児童、PTA、地域住民などが参加した取り組みとなり、全員で緑化の必要性を感じた。
- ・活動は、市の広報やマスコミを通じてPRされた。

●自己評価

- ・関係機関の連絡調整がうまくいった。
- ・学校関係者、PTA、緑の少年団が植樹後の管理を共同で行うなど意識が高まった。

●参加者の声

- ・卒業の年にケヤキやサクラの木を植えることができて良かった。(6年女子)
- ・とても貴重な体験でした。(6年男子)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植栽本数	植付面積	計
14本	100㎡	530人
樹種：ケヤキ、ヤマザクラ、ツツジ		
実施場所：茨城県潮来市		



緑の少年団による植樹

震災地域の学校教育環境向上のための緑化事業 (流山市立東小学校)

千葉県流山市立東小学校

千葉県流山市名都借

●事業概要

目的は、東日本大震災で住宅被害などが発生した地域の小学校において、児童の安全確保など教育環境を向上させるものであり、敷地内の古木の剪定、ドウダンツツジの植樹などを行った。

●事業成果

- ・古木の大規模な剪定によって、景観改善や安全確保につながった。
- ・シイなどの記念植樹によって、樹木や植物を大切に育てる心が高まった。

●自己評価

- ・剪定、植樹などにより、児童の学習・生活環境が向上した。
- ・今後は、全校児童に自然を大切にすることをもち、地域の方々と一緒に緑化運動に取り組みたい。

●参加者の声

- ・木々がきれいになって、校庭が明るくなった (3年生男)
- ・みんなで育て、自然を大切にしていきたい (6年生男)
- ・子どもたちと一緒に植樹できて良かった (保護者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	剪定	移植	県内	県外	計
5本	8本	2本	360人	10人	370人
樹種：シイ、ブルーベリーなど					
実施場所：千葉県流山市 東小学校					



シイ、ブルーベリーなどを植樹

震災地域の緑を活用した潤いのある街づくり事業

(公社) 青森県緑化推進委員会

青森市松原一丁目

●事業概要

目的は、東日本大震災の被害が県内で最も大きかった地域において、住民が潤いと安らぎを感じる環境づくりを行うものであり、小公園に花木植栽などを行った。

●事業成果

- ・将来に向けた明るい街並みや景観を残すことができた。
- ・地元紙に活動内容が掲載され、緑の募金活用について広く県民に普及啓発できた。

●自己評価

- ・事故もなく終わることができた。
- ・場所が6ヶ所と多かったので、それぞれの要望に応えるのが難しかった。
- ・年齢の高い人が多かったので、若い人が多く参加するような活動にする必要がある。

●参加者の声

- ・自分で植えた木なので愛着が生まれる。(60歳代男性)
- ・近所の人と一緒に植えた事が良かった。(60歳代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.21ha	755本	0.3ha	135人	135人
樹種：ヤマボウシ、サルスベリ、イロハモミジ、ヤマザクラ、ナナカマドなど				
実施場所：青森県八戸市内、おいらせ町、階上町				



ヤマボウシ、サルスベリなどを植樹

藤浜地区集会所植樹事業

(公社)宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

目的は、東日本大震災による集団移転のために造成された木造集会所において、一日も早い復興を祈念するとともに、住民が緑とふれ合う場を設けるものであり、敷地内にマサキなどの広葉樹を植栽した

●事業成果

- ・新たに造成された団地に移り住む住民にとって、憩いの場となる。
- ・生活団地内の共同意識も高めることができた。
- ・植樹によって、緑豊かなふるさとの大切さを改めて心にとめることができた。

●自己評価

- ・地元住民が自ら植え、緑の重要性を実感していた。
- ・電柱・電線や集会所敷地の制約から植栽木の選定が遅れた。

●参加者の声

- ・「憩いの場」として一層の愛着を感じる。
- ・小さな団地だが、皆で大事に世話をしていきたい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付本数	標柱設置	県内	計
12本	1本	26人	26人
樹種：マサキ、ウメ、ドウダンツツジ			
実施場所：宮城県南三陸町			



ウメ、ドウダンツツジなどを植樹

登米市立横山小学校における記念植樹事業

(公社)宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

●事業概要

目的は、東日本大震災地域によって建物の倒壊や道路損壊などが発生した地域の小学校において、緑とのふれ合いなどができるよう教育環境を向上するものであり、ハナミズキの植樹や草刈などの整備を行った。

●事業成果

- ・整備した斜面は、これまであまり手入れされなかったが、明るく一変した。
- ・教職員・児童が修景斜面に感動し、生徒たちの心に良い記憶になった。

●自己評価

- ・横山小学校は、歴史と伝統のある学校で、みどりの少年団も比較的古くから活動しているので、適切に管理できる。
- ・今回の整備を契機として、周辺の修景作業などが継続されると期待する。

●参加者の声

- ・全国からの温かい支援に感謝する。
- ・木と共に未来に向け成長したい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付本数	環境整備	県内	県外	計
2本	2000㎡	61人	1人	62人
樹種：ハナミズキ				
実施場所：宮城県登米市津山町（横山小学校内）				



ハナミズキを植樹

東日本大震災復興祈念・葛巻町60周年記念事業「第16回葛巻町植樹祭」

(公社) 岩手県緑化推進委員会

盛岡市中央通

●事業概要

葛巻町は、緑豊かな森林や自然に恵まれているが、東日本大震災や原発事故による風評被害によって、住民の中に先行きの見えない不安感が増大している。

本事業では、町民一人一人が絆を深め合い、東日本大震災からの早期復興を祈念するとともに、次代を担う子どもたちに緑豊かな森林を引き継ぐため、「東日本大震災復興祈念」及び「葛巻町60周年」の植樹祭を実施した。

●事業成果

町内外からの約350人の参加により、緑化意識の高揚につながった。

また、平庭地区の町有林内への植樹により、①景観美化、②ツツジ開花期の入込増、③植樹したアオダモによる、野球バット材料の生産など、地域の活性化にも繋がると期待される。

●自己評価

植樹祭の成果を踏まえ、今後、より多くの町民などの参加を募り、緑化意識の高揚を図りたい。

●参加者の声

- ・自分が植えたツツジの花を早く見たい。(小学生)
- ・アオダモがバットになるのが楽しみだ。(参加者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
1 ha	800本	310人	40人	350人
樹種：アオダモ、ツツジ				
実施場所：岩手県葛巻町				



アオダモ、ツツジを植樹

第三次緑と木を通じた子供たちのふれあい事業

(公社) 青森県緑化推進委員会

青森市松原一丁目

●事業概要

目的は、東日本大震災の津波で漁業被害を受けた地域において、次代を担う子どもたちにやすらぎを感じてもらえるよう保育園などの敷地内に植樹などを行うものである。

主な活動は、花や実がなる緑化木の植樹(県産材使用プランターも含む)、県産材を使用した積木の寄贈である。

●事業成果

- ・地元のテレビ局・新聞社の取材を受け、テレビニュースの放送や、県内紙への掲載などによって、緑の募金事業を啓発できた。
- ・被災地の保育園・幼稚園のごく一部の実施だったので、継続して実施したい。

●参加者の声

- ・木を植える経験がなかったので園児にとって良い経験だ。
- ・積木でいっぱい遊びたい。
- ・木の積木なので香りが良い。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
70㎡	180本	200人	200人
樹種：タマドウダンツツジほか			
実施場所：青森県・八戸市4箇所、三沢市4箇所、おいらせ町2箇所			



県産材を使用したプランターへの植樹

道南地方の海岸林の整備と森林環境教育

21世紀の道南の森林づくり実行委員会

北海道函館市高丘町

●事業概要

目的は、北海道で最初の海岸林造成箇所である「砂坂海岸林」(クロマツ人工林)の健全性を維持するため、広葉樹を植栽し、混交林へ誘導するものであり、都市部住民などの参加により、①ミズナラ230本の植栽、②海岸林の役割に関する講演会、③函館市亀田川下流河畔に植栽したハマナス手入れを実施した。

また、森林ボランティアの日(9月21日)に地元ボランティアにより、当該箇所の草刈・ゴミ拾いを実施した。

●事業成果

- ・大切な働きをしている海岸林に地域住民がミズナラを植栽した。
- ・植樹や森林環境教育によって、森林と触れ合う機会の少なかった参加者も森林の重要性や海岸林の働きについて再認識した。

●自己評価

- ・ミズナラの植樹を当初の200本から230本に増やした。必要な資金も自己資金から捻出できた。

●参加者の声

- ・砂坂海岸林がえりもの海岸林より古いことを初めて知った。(男性)
- ・海岸のハマナスの見事さにびっくりした。(若い女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	道内	道外	計
0.04ha	230本	1000本	108人	1人	109人
樹種：ミズナラ、ハマナス					
実施場所：北海道江差町、函館市					



ミズナラの植樹

「木育」推進プロジェクト

(公社)北海道森と緑の会

札幌市中央区北4条

●事業概要

目的は、園児などに、森や木とふれあう機会を提供し、森や木との関わりを主体的に考えられる心を育むものであり、主な活動は、森林とのふれあい体験、園庭への植樹、木育広場での木とのふれ合いなどである。

●事業成果など

- ・木を植えるのが初めての人も多く、植樹の大切さを実感した。
- ・園内での日常会話の中でも、森の体験を話すことが多くなった。
- ・種を蒔くことが遊びとして浸透し、木の実を見つけるたびに土の中に植えている。

●自己評価など

- ・参加者の評判も良く、継続要望が多い。
- ・体験メニューを増やしたり、小学生がもっと参加できるように考えたい。

●参加者の声

- ・森林や木に関心を持つ良い機会になった。(子ども)
- ・森林の必要性などを理解できた。(親)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
森での植樹	シンボルツリー植樹	苗木づくり	道内	計
300本	17本	500ポット	1188人	1188人
樹種：ミズナラ				
実施場所：札幌市、函館市、長沼町、北広島市、恵庭市、登別市、室蘭市、浦河町、当別町				



森での植樹

子供たちが主役で広葉樹の森づくり

奥州万年の森をつくる会

岩手県奥州市前沢区

●事業概要

目的は、長年放置されてきた養蚕団地跡を市民の森として再生するものであり、主な活動は、①子どもたちによりドングリ採取、苗づくりなど、②市民による植樹祭、③下刈りなどである。

●事業成果

- ・個人だけでなく、企業、スポーツ少年団、学校での参加があった。
- ・子どもたちの参加が多くなり、市民による森づくりとして定着しつつある。
- ・小学校の授業の一環としての苗づくりなどが実現したのは大きな成果である。
- ・世代間の交流もでき盛り上がった。

●自己評価

- ・予定通りに実施でき、多くの市民や子どもたちの参加増は一定の評価ができる。
- ・しかし、植替作業、下刈りなどに参加できる人が少ないので、工夫が必要である。

●参加者の声

- ・子どもたちの多く参加していて良かった。
- ・植樹場所の土壌が硬く、石も多く大変だった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
1ha	3500本	3ha	241人	247人

実施場所：岩手県奥州市



200人が参加した植樹祭

森林の整備（森の回復事業）

森のなかま

宮城県黒川郡大和町

●事業概要

目的は、東日本大震災の被災地の石巻市網地島の荒廃森林を豊かな森に蘇らせ、海を生き返らせるものであり、主な活動は、マツ枯損木の伐倒、これまでの植栽木の下刈りである。

●事業成果

- ・植樹木が成長しており、山林が徐々に回復している。
- ・活動を通じて、島民との交流が深まってきている。

●自己評価

- ・震災から立ち上がりつつある島民に寄り添って活動できた。
- ・少しずつだが、着実に回復していると実感する。
- ・活動を通じて、島民との交流を深めることは、復興を考える上でも意義深い。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
下刈面積 1 ha	32人	32人

実施場所：宮城県石巻市網地島



刈払機による刈払い作業

泉ヶ岳芳の平森林再生整備計画事業

泉ヶ岳利活用推進市民会議

仙台市泉区泉中央

●事業概要

泉ヶ岳山麓に広がる芳の平は、観光りんご園として賑わっていたが、病気などの影響で昭和50年代後半には廃業となり、りんご園跡地は手が入らず“荒地”の状態となっていた。

本事業の目的は、多くの市民が訪れる泉ヶ岳の玄関にあたる芳の平の荒地を再生し、自然と触れ合うことができる“憩いの森”とすることである。主な事業は、①下刈り作業（2回／年）、②植樹会である。

●事業成果

- ・継続的な下刈り作業と植樹活動を通し、市民が触れ合えてふれあえる憩いの森づくりが進みつつあるほか、枯木の代わりにコナラ13本を補植し、植樹地全体の整備を行った。
- ・活動が周知され、民間企業の支援も増えて団体や世代を越えた交流が行われる活動となっている。

●自己評価

- ・旧りんご園に隣接する県道及び林道周辺の整備が進み、泉ヶ岳の玄関にあたる芳の平の景観を改善しつつある。
- ・荒地の植樹が一段落した反面、管理面積が拡大しているため、維持管理の観点から下刈りや補植活動などを強化する。また、植樹地全体の整備方針について、関係団体間で協議し魅力ある森づくりを進めていく。

●参加者の声

- ・自然の中での植樹作業は、とても楽しかった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.02ha	104本	12ha	222人	1人	223人
樹種：ブナ、コブシ、ミズナラ、ヤボウシなど					
実施場所：仙台市泉区					



植樹会

花いっぱい森プロジェクト

ふるさと山の会

山形県最上郡真室川町

●事業概要

目的は、ナラ枯れや手入れ不足で荒廃している里山において、花や紅葉を楽しめる木々を植林し、地域のコミュニティを創造するものである。

主な活動は、花咲く木々、豊かな自然を次の世代に残すべく、植樹、刈払いを行った。

●事業成果

- ・会員、地域住民などが参加し、伐採・刈払いなどを行った。
- ・植樹場所まで約150m、高低差約20mを苗木リレーした。
- ・作業開始前に、作業手順、注意事項を指導し、ヤマボウシやコブシ、モミジの苗木を植樹した。
- ・年々絆が深まっていると思う。

●自己評価

- ・準備に万全を期したので、参加者が満足し、自然に親しむ機会となった。
- ・多くの人々が継続的に参加し、里山を見守って欲しい。

●参加者の声

- ・植樹した後、清々しかった。(30代男性)
- ・苗木リレーは大変だったが、思い出深いものになった。これからも参加したい。(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.5ha	100本	1.0ha	105人	105人
樹種：ヤマボウシ、コブシ、モミジ				
実施場所：山形県真室川町				



ヤマボウシやコブシなどを植樹

川内村いのちの森づくり植樹祭

(特非) 川内村NPO協働センター

福島県双葉郡川内村

●事業概要

目的は、東日本大震災に伴う放射能汚染に苦しむ地域において、植樹祭の開催による森の再現と復興を誓うものであり、アカガシなど23種の植栽や既植樹地の保育を行った。

●事業成果

- ・地球の緑を育てる会（つくば市）、時ノ寿の森クラブ（掛川市）など村外の団体の参加があった。
- ・初めて植樹に参加した住民が、森づくりの意義を学んだ。
- ・村の広報やマスコミを通してPRされた。

●自己評価

- ・防災機能を持つ森林として整備できた。
- ・打ち合わせ不足による開催直前の植樹地変更などで若干混乱した。
- ・チェーンソー作業技術を学ぶなど、育樹のための体制整備を進めたい。

●参加者の声

- ・都会暮らしで土と触れ合うこともなかったので気持ちが晴れ晴れとした。（復興支援員）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.045ha	1200本	70人	30人	100人
樹種：アカガシ、ケヤキ				
実施場所：福島県川内村				



アカガシなどを植樹

筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり

(特非) つくば環境フォーラム

茨城県つくば市要

●事業概要

目的は、水源涵養林の大切さを啓発するとともに、生物多様性が増大するための森林整備、材の有効活用により、活動の持続性を図ることである。

内容は、筑波山麓において、都市住民の参加を得て次のような霞ヶ浦水源の森づくりを実施した。①拡大し荒廃している竹林の整備に伴う竹材を植樹地の支柱として活用、②雑木林の下刈り・クヌギなどの大径木の伐採、伐採して開けた空間への植樹などを実施（企業ボランティアも参加）、③薪ストーブ愛好家約20人で組織された「つくば薪クラブ」による森の下刈りなどの実施。

●事業成果

活動によって、荒れた里山が再生され、キンランやヤマユリなど、季節の花も林床に見られるようになった。また、森林整備で森が明るくなり、子どもたちが里山体験ができる場となってきた。

●自己評価

継続的な活動で里山再生の成果がでてきているが、植樹予定場所が、急な地権者の意向により、計画変更を余儀なくされたので、今後、地元の方々とともによい関係を構築していきたい。また、既存の作業道の一部がイノシシの掘り崩しで通行困難となっているので、作業道の維持管理も課題である。

●参加者の声

植樹活動に参加した若者たちに里山保全に関するレクチャーを行い、よい研修になったと感想をいただいた。

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.2ha	76本	100本	2.0ha	0.3ha	118人	5人	123人
樹種：クヌギ、コナラ、エノキ、ガマズミ、サンショウ、ヤマザクラ							
実施場所：茨城県つくば市							



クヌギ、コナラなどを植樹

未来の担い手による 里山再生プロジェクト ～いのちをつなぐ里山を未来へ～

NPO環～WA

茨城県東茨城郡茨城町

●事業概要

目的は、里山を再生させ、その整備と資源の利活用の手法を継承するものであり、主な活動は、下刈り、除・間伐である。

●事業成果

- ・放置林、雑木林での除・間伐、環境保全地域のタケ駆除をしたことで、環境や生態系が整ってきた。
- ・園児への森の教室、高校への森林整備体験など、未来の担い手を育成するプログラムを実施した。
- ・県内外より子どもからシニア層まで多くの方が里山保全の経験をした。

●自己評価

- ・計画通り実施できた。
- ・間伐材のベレット化など、整備－利用－苗づくりのサイクルが生まれた。
- ・放置された竹と葛に、山林での森づくりが今後の課題である。

●参加者の声

- ・学校の横の森が荒れていることを知らなかった。見る目が変わった。(高校生)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	間伐本数	県内	県外	計
1.5ha	0.7ha	0.5ha	88本	4474人	5037人	9511人
実施場所：茨城県（茨城町、水戸市）、東京都（渋谷区、世田谷区）、宮城県気仙沼大島						



間伐材の皮むきを体験

ドングリの木植樹会

(特非) 森の自然学校助川山保全くらぶ

茨城県日立市西成沢町

●事業概要

目的は、山火事跡地に開設され、ヤシャブシなどが繁茂する森林公園において、里山を復旧させ、自然環境教育などに活用するものであり、主な活動は、クヌギ・コナラの植樹、保育、間伐材の活用である。

●事業成果

- ・これまでの16年間の植林地で、クヌギ・コナラが順調に生育している。
- ・間伐材は、シイタケ原木や遊歩道資材として活用した。

●自己評価

- ・地元小学校の卒業記念植樹も行われ、参加者も安定的に確保できた。
- ・くらぶメンバーの確保と若返りが大きな課題である。

●参加者の声

- ・植えた木が大きくなるのが楽しみだ。(小学3年女子)
- ・学校行事として、6年生全員で参加できた。事前学習会もあり、大きな教育的成果を得られた。(小学校教員)

実績とりまとめ表

作業内容						参加者数	
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	計
0.1ha	300本	100本	3.5ha	0.5ha	0.6ha	720人	720人
樹種：クヌギ、コナラ、クリ							
実施場所：茨城県日立市（助川山市民の森公園）							



日立市立成沢小学校6年生全員 卒業記念植樹会

東日本大震災復興支援緑化木育苗

(特非) とんぼエコオフィス

千葉県船橋市本町

●事業概要

目的は、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた地域の早期復興に資する緑化木を育成するものであり、主な活動は、①被災地での種子、挿し穂、山取り苗の採取、②全国の幼稚園などで育てた幼苗の受入れ、③育苗管理、④被災地での植樹・指導などである。

●事業成果

- ・多くのボランティアの参加で、支援活動が被災地に伝わり、意義が認められてきた。
- ・八街市の中学生たちによる育苗ボランティア活動は3年以上続けられている。

●自己評価

- ・種子採取が5万粒ほど、山採り苗木が数百本、挿し木用穂木1万本ほど採取できた。
- ・全国の幼稚園、小中学校などから幼苗を受け入れたことで、外部からも大きな評価を得られた。
- ・今年から東松島市矢本海岸防災林再生活動に参加し、本格的な活動となってきた。

●参加者の声

- ・東北地方での苗木山採りや種子採取は大変勉強になる。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	計
0.2ha	1250本	6701人
樹種：広葉樹及び針葉樹（クロマツ）		
実施場所：千葉県山武市（山武育苗センター）他、被災地植樹地		



苗木の育成

名郷（上名栗）植樹プロジェクト

名栗さわらび隊

東京都大田区東矢口

●事業概要

目的は、放置されたヒノキ皆伐跡地を森林に再生するものであり、主な活動は、広葉樹の植樹と下刈りである。

●事業成果

- ・歩道作設や草刈りの成果が出て、村民たちの話題にあがるようになった。
- ・「くわんたい」（幼齢木保護カバー）への支柱追加の意見が出されるなど、地域の関心が高まった。

●自己評価

- ・整備から植樹までの計画にもっとより多くの時間をかけるべきであった。
- ・シカの食害対策として、周囲にネットを設置する計画だったが、より効果的な「くわんたい」（苗木1本ずつ保護）に変更した。

●参加者の声

- ・歩道整備は日射しが強く、大変だった。（60歳代男）
- ・防獣ネット設置後の景観は、「やったぞ」という充実感がある。（60歳代女）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	植付面積	植付本数	県内	県外	計
2ha	1ha	220本	28人	117人	145人
樹種：ケヤキ、コナラ、ヤマザクラ、イロハモミジなど					
実施場所：埼玉県飯能市					



ケヤキ、コナラなどの植樹

三宅島復興森林づくり交流事業

(特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

三宅島は、2000年の雄山噴火により緑の復興が遅れ、手付かずで枯れたままの場所などが多く見受けられるため、植樹や地ごしらえ、三宅小学校での森林環境教育のサポートを行った。

●事業成果

地元村民の緑の再生をして欲しいという要望に応え、多くの参加者、または初めて三宅島を訪れる人とともに植樹を行えた。また、三宅島復興プログラムを通して、地域との交流を深め地域貢献活動を行うことで日本全体のよりよい環境づくりをする一助となった。

●自己評価

復興途中であり、本格的な森林に戻すためには、多くの時間と本数が重要であることを痛感している。今後も島民との交流を深めながら三宅島の緑の復興に取り組むとともに、森林のよき理解者を市民のなかから育成していくことが課題である。今後は、若手の活動場所として、緑の教育の場とするとともに、地域密着活動を推進していく予定である。

●参加者の声

- ・植樹は初めての経験でしたが丁寧な指導で、分かりやすかったです。楽しんで作業できました。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	島外参加者	地元参加者	計
1.5ha	3000本	77人	35人	112人
樹種：タブノキ				
実施場所：東京都三宅村				



タブノキを植樹

水源を守ろう、川上と川下の連携で森林整備

(特非) 四十八瀬川自然村

神奈川県秦野市柳町

●事業概要

水源林としての里山の荒廃が進み、また、タケの侵入がひどく、鳥獣害の要因ともなっている地域において、再生復元のため、次の活動を行った。

①作業道の整備、②地ならし、整地、③間伐材の搬出活用(建築資材・テーブル作成など)、④川上・川下市民の連携啓発活動(植樹体験・シイタケ菌打ち体験・竹林整備など)。

●事業成果

何十年ぶりに山に手が入られる状況になり、また、機械の活用により、大径木の伐採や搬出と大掛かりな整備がはじめて実施できた。また、その成果が地域の方々にも評価された。

●自己評価

機械による効率的な整備が行えたが、民家に程近い山林でも昔の進入路の位置や、地権者もおぼつかないエリアもあり、整備に取りかかれなかったところがある。

●参加者の声

- ・市外からの参加者と地域住民との植樹体験や炭焼き、シイタケ栽培、田植え体験などで喜んでもらった。
- ・整備前の山の状況も見た人たちから、励ましの言葉があった。

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数	
植付面積	植付本数	除伐面積	間伐面積	椎茸菌打ち	県内	計
0.3ha	200本	0.5ha	0.5ha	100本	120人	120人
樹種：クヌギ、コナラ						
実施場所：神奈川県秦野市						



交流活動には子どもたちも参加

千年の森 —みんなでつくるふるさとの森— いのちの森再生八方台育樹・植樹

(特非) 新潟県山野草をたずねる会・植生研究会
新潟県長岡市下条町

●事業概要

目的は、地球温暖化と自然破壊が進む中で、持続可能な緑の環境づくりで進めるものであり、主な活動は、ブナ、ミズナラなどの植樹、下刈り、自然観察会などである。

●事業成果

- ・活動内容の広報活動を行った結果、森づくりの重要性と必要性が理解された。
- ・市民の協賛者が300余名となりふるさとの森づくりへの実践意欲が高まった。
- ・植樹の結果、裸地状態の八方台が緑豊かな森に回復しつつある。

●自己評価

- ・劣化した森林生態系と地域の自然環境の回復などに貢献できた。
- ・250年のいのちと心を植え、「未来を育む森」として期待される。

●参加者の声

- ・補植やススキ・雑草取りの作業で、たくさん汗をかけたけれど楽しかった。
- ・木々について何も知らなかったので、勉強になることが多かった。
- ・癒し、学びなどができる本物の森ができて嬉しい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付本数	下刈面積	県内	計
300本	1.8ha	305人	305人
実施場所：新潟県長岡市			



下刈り作業

次世代につなぐ里山づくり

(特非) 里豊夢わかさ

福井県三方上中郡若狭町

●事業概要

目的は、獣害や強風による枯死木・倒木によって荒れた林地を緑豊かな森に還元するものであり、主な活動は、植栽、不良木伐採、下刈り、自然観察などである。

●事業成果

- ・過去の植栽箇所がシカ害で半分近く枯れていたもので、植樹後にシカ対策のネットを設置した。
- ・自ら玉切りした丸太を薪割機で加工した。

●自己評価

- ・シカ害で枯れたままの植栽地に新たに植樹し、ネットを取り付けたので、成長が期待できる。
- ・幼児の参加が増えたので、ケガをしないよう気を配った。
- ・林業体験などのスタッフとなる人員の確保が課題である。

●参加者の声

- ・薪割機械での作業は、太い木も簡単に割れたので楽しかった。(3年女児)
- ・以前自分たちが植えた木が、シカに食べられ残念だったが、ネットで囲ったので成長してくれると思う。(中2女生徒)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
2.0ha	28本	4.1ha	0.3ha	677人	26人	703人
樹種：クリ、クヌギ、ヤマザクラ、イロハモミジ						
実施場所：福井県 若狭町						



第7回ミニ植樹祭

普通の人が当たり前のように 森づくりに関心が持てる社会を つくるための森林体験活動

(特非) 森のライフスタイル研究所

長野県伊那市荒井

●事業概要

目的は、森林ボランティアの裾野を広げるため、ごく普通の人たちに森づくりへの関心を持ってもらえる森づくりストーリーをつくり、地域住民と都市部ボランティアが協力して森づくりを行うものであり、主な内容は、次の通りである。

- ①長野県佐久市（どんぐりの森）では、手入れ不足の人工林を広葉樹林の森へ再生させるため、形質不良木の伐採と地拵え、植栽、下刈りを行った。
- ②長野県木島平村（ブナの森）では、未利用放牧地を元のブナの森に再生させるため、ブナ原生林の林縁部の実生ブナの掘り採りと移植を行った。
- ③森林学習会と成果報告会を行った。

●事業成果

- ①折損木・形質不良木の伐採とコナラ植栽によって、広葉樹林の再生が進んだ（佐久市）。
- ②ブナ植栽によって、再生を早めることができた（木島平村）。
- ③森林学習会と成果報告会によって、ボランティアの輪が広がった。

●自己評価

- ・雪により、大径木のヒノキの伐採と搬出が予定通りに進まず、0.6haの計画に対して0.3haの実行となった。
- ・かかり木が多く、初心者の作業が限られてしまった。

●参加者の声

- ・間伐材利用などに興味を持った。（50代・男性）

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.5ha	4500本	0.6ha	0.3ha	77人	362人	373人
樹種：ブナ、コナラ						
実施場所：長野県佐久市、木島平村						



森林整備

下街道活性化事業

多治見観光ボランティアガイド

岐阜県多治見市音羽町

●事業概要

目的は、下街道を活性化、多くの住民に知ってもらうための整備であり、主な活動は、シンボル樹の植樹、間伐材による案内板の設置などである。

●事業成果

- ・国道19号沿い植樹は、沿線の住民と企業から植樹スペースを提供してもらえた。
- ・植樹と下刈りには、ローソングループより参加した。
- ・灯籠の設置により、歴史ある下街道の街並み・風情を演出できた。
- ・間伐材の案内板は、古道を歩くウォーカーから、下街道が分りやすくなってきたと評価された。

●自己評価

- ・予定どおりに実行できた。
- ・今後の活動基盤を確立し、下街道活性化事業の継続をめざしている。

●参加者の声

- ・地域住民の協力を得られて実現した。
- ・植樹と案内板の設置など、風情ある下街道づくりに参加できて良かった。

実績とりまとめ表

作業内容						参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	案内板	灯籠	大型案内板	県内	県外	計
33a	16本	20a	5面	2台	1面	53人	2人	55人
樹種：キンモクセイ								
実施場所：愛知県春日井市、岐阜県多治見市・土岐市								



キンモクセイの植樹

災害に強い市民協働による「山から海までつながるいのちの森づくり」

(特非) 時ノ寿の森クラブ

静岡県掛川市倉真

●事業概要

目的は、東海・東南海地震の恐れがある都市の災害時の基幹施設である病院の敷地の植樹を通じて、市民協働の森づくりを啓発するものである。

●事業成果

- ・原野状態であった病院の入口付近が土地本来の森林に生まれ変わった。
- ・病院を訪れるたびに自ら植えた木の成長が見られ、参加者の意識向上が期待できる。
- ・地域基幹病院であるため、森林とふれあう機会の少ない市民にも啓発できた。

●自己評価

- ・元々の地山を削った場所で、地下水が集まる地形だったので、碎石などを使用して地下水を処理した。
- ・今後、行政と連携して市民参加による育樹活動を実施していく。

●参加者の声

- ・誰もが健康を願い、病院を利用するので、「いのちの森」ができたうれしい。(参加者)
- ・植樹を通じ市民の皆さんが病院を育ててくれていることに感謝する。(病院職員)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.033ha	1000本	120人	10人	130人
実施場所：静岡県掛川市				



広葉樹13種類を植樹

斎王竹の道「緑の森公園」づくり

(特非) ういの郷クラブ

三重県多気郡明和町明星

●事業概要

目的は、荒廃スギ林と竹藪化した雑木林の再生であり、主な活動は、①スギ林の立ち枯れ木と竹の除伐、②荒廃雑木林内への作業道敷設と孟宗竹・不良雑木の除伐、③雑木林内の不法投棄場の整備、④間伐材の利活用である。

●事業成果

- ①古道を「斎王竹の道」として、路肩に地元小学生がアジサイとしだれウメを植栽した。
- ②タケは、長竿として養殖漁の筏用材に、スギで薪を生産した。
- ③タケと不良雑木を除伐し、炭化・薪として再生した。
- ④古道が作業道として再生され、散策路になった。

●自己評価

- ①過去10年間の「歴史古道とその周辺の里山の再生保全」活動の集大成として整備が進んだ。
- ②将来にわたって管理と活用を図る必要がある。

●参加者の声

- ・スギの皮むき・間伐はとても楽しかった。(親子)

実績取りまとめ表

作業内容					参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	計
0.16ha	70本	1.4ha	0.5ha	0.4ha	1200人	1200人
樹種：アジサイ、サクラ						
実施場所：三重県明和町						



サクラやアジサイを植樹

命と絆の森づくり —防災と国際交流の植樹祭—

KODAMA —緑の守り人—

和歌山県西牟婁郡白浜町

●事業概要

目的は、山の斜面に造成した土地の崩落防止のための植樹を、トルコとの国際交流を通じて行うものである。

●事業成果

- ・多くの地域住民が参加し、防災意識や環境や景観に配慮した地域づくりの大切さを感じてもらえた。
- ・県外からの参加者との共同作業により、交流が始まった。

●自己評価

- ・計画通りの植樹が行えた。
- ・地元の足並みを揃えることが難しく、他のイベントとの重複や自治会との連携不足があった。
- ・少雨決行としたが、予想以上の豪雨になり作業を切り上げた。

●参加者の声

- ・今後は地域発信で、植樹活動を広げていきたい。(60代、男性)
- ・冷たいコンクリートの壁から優しい緑の壁になり、景観がすごく良くなった。これから森に変わっていくのが楽しみ。(70代、夫婦)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.03ha	1000本	70人	10人	80人
樹種：スタジイ、モチノキなど				
実施場所：和歌山県串本町				



スタジイ、モチノキなどを植樹

平成26年度斐伊川流域荒廃林等 再生整備住民交流会

斐伊川流域林業活性化センター

松江市東津田町

●事業概要

目的は、斐伊川流域の荒廃林地の水源地としての整備、植林活動を通じた交流であり、主な活動は、雑木林の伐採、作業道の整備、植栽、木工体験などである。

●事業成果

- ・多くの流域住民による植林活動で、荒廃林が次世代に引き継ぐ森林として蘇った。
- ・植林場所が地域の交流拠点としての役割を果たすようになった。
- ・下流住民が中山間地域の果たす役割について再認識した。
- ・上流・下流の住民が連携して森林を整備する必要性について認識が深まった。

●自己評価

- ・当日の進行も円滑であり、予定通り実施した。
- ・植林活動や木工体験に熱心に取り組んだ。

●参加者の声

- ・おじいさんやお父さん達と植林できて楽しかった。(小学生女)
- ・植林ができ、森林を次世代に繋ぐことができて良かった。(70代男)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.5ha	1000本	93人	93人
樹種：ヒノキ、サクラ、スギ			
実施場所：鳥根県飯南町			



サクラやヒノキなどを植樹

蒜山ブナ林整備事業と森林教室

蒜山にブナを植える会

岡山県真庭市蒜山下福田

●事業概要

目的は、ブナ林の整備によって、自然環境の保全、地域内の交流などに寄与するものであり、主な活動は、ブナの植栽、下刈り、森林教室である。

●事業成果

- ・草やツルは取り除いてもまたすぐ生えてくるが、継続することが重要である。
- ・会員、ボランティア、シルバーの方々の手助けで、ブナ苗が成長している。

●自己評価

- ・ブナを植える会の会員も高齢化しているが、ブナの樹高が2mを超えるまでは続けたい。
- ・雑草やツルとの根比べだが、可能な限り活動を続けたい。

●参加者の声

- ・森林教室は楽しいので、また来たい。
- ・雪の雑木林でキツネやウサギなどの足跡を探すのは面白い。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付本数	下刈面積	県内
80本	4ha	67人
樹種：ブナ、トチ		
実施場所：岡山県真庭市		



ブナやトチを植樹

沖縄伊是名村防風林植林

オイスカ三豊推進協議会

香川県三豊市豊中町

●事業概要

目的は、台風の常襲地帯である伊是名島において、地域住民の生活や、生活の糧であるサトウキビ栽培の環境を守る防風林づくりであり、主な活動は、テリハボク、フクギなどの植林と下刈りである。

●事業成果

- ・地域住民が参加して植林をしたことにより、防風林の必要性が理解され、将来サトウキビ・野菜栽培の経済活性につながることを期待される。
- ・参加者の子ども達が防災の必要について学んだ。

●自己評価

- ・計画通りに進んだが、現地看板の設置に工夫が必要だった。
- ・口頭での打ち合わせだと、意図がうまく伝わらなかったことがあった。

●参加者の声

- ・沖縄の台風災害はよく報道で見れていたが、地元の人から話を聞き、身近に被害の実態を感じた。(県外参加者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.5ha	500本	0.5ha	23人	116人	139人
樹種：テリハボク、フクギ					
実施場所：沖縄県伊是名村					



テリハボク、フクギなどを植樹

尾の瀬山・オイスカ憩いの森

(公財) オイスカ 四国支部

高松市番町

●事業概要

目的は、マツカイ虫と山火事で荒廃した公有林を憩いの森として再生するものであり、ヤマザクラを植栽した。

●事業成果

- ・これまでの植林の成果で、「サクラの森」の整備が推進された。
- ・参加者、地域住民に活動の意義を啓発できた。

●自己評価

- ・計画どおり達成でき、成長が楽しみである。
- ・継続することの大切さを参加者が実感した。

●参加者の声

- ・将来、ヤマザクラの森となるのが楽しみだ。
- ・親子で初めて参加したが、森林づくりの大切さと大変さを体験できた。また参加したい。
- ・多くの市民や企業、団体などとの協働は大変だと思うが、活動の裾野を広げるために意義がある。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.5ha	1500本	10人	190人	200人
樹種：ヤマザクラ				
実施場所：香川県まんのう町				



ヤマザクラを植樹

今治地域住民と次代を担う 青少年等による水源の森整備活動

今治地方水と緑の懇話会

愛媛県今治市玉川町

●事業概要

目的は、未立木地への植栽によって水源の森を造成し、次代を担う子どもたちに森林・林業について理解してもらうものである。

主な活動は、①森林教室、②木工・竹細工体験、③植栽、食害防止チューブ設置である。

●事業成果

- ・市職員から小学生に対して、森づくりの歴史、森林と土壌の働き、保水力と降雨の関係について実験も交えた説明が行われた。
- ・木工体験では、鋸などを使ってストラップなどを作成し、木と親しみ、木の良さを実感した。
- ・放置竹林拡大の問題などを学んだ。

●自己評価

- ・計画通り実行したが、水源林整備のために有効な植栽・保育方法を検討する必要がある。

●参加者の声

- ・ストラップは上手にできた。ヒノキのいい香りがしてぬくもりがある。森の大切さも良く分かった。(小学生)
- ・マサ土だと土砂災害になりやすいことがわかった。(小学生)
- ・森の歴史が、写真と説明でよくわかった。(小学生)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	植付本数	食害対策	県内	計
0.10ha	173本	80本	300本	86人	86人
樹種：ケヤキ、クヌギ					
実施場所：愛媛県今治市玉川町					



森林教室(実験)

源流の森復元事業

(特非) 森の里しちのへ

青森県上北郡七戸町

●事業概要

目的は、八幡岳の放置放牧場を昔の姿に戻そうと立ち上げた「源流の森復元プロジェクト」を実現するものであり、①ブナ主体の原生林の復元をめざしたブナ、ナラ計4200本の植樹、②スギ間伐材を使った楽器の演奏を通じた間伐材の有効利用についての理解を深める活動を行った。

●事業成果

毎年参加する方々も増加し、植樹活動、環境保全や水源林の重要性に対する意識の高揚につながった。

八幡岳山頂付近の放牧地の中で、森林保全の大切さを体感できた。

●自己評価

- ・放牧地の管理者がこの活動をきっかけとして、自力で植樹していく方針を定めた。
- ・継続的な植樹活動の目処がついたので、これまでのノウハウや人的資源を活用して、源流の森の一刻も早く復元したい。

●参加者の声

- ・植樹することの大切さを若い世代に伝えていきたい。(65才男性)
- ・この森でたくさんの動物が育ち暮らせるようになって欲しい。(小学校6年生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
4.2ha	4200本	220人	15人	235人
樹種：ブナ、ナラ				
実施場所：青森県七戸町				



ブナ、ナラの植樹

三宅島復興支援緑化再生プロジェクト

日本山岳会「高尾の森づくりの会」

埼玉県川口市青木

●事業概要

目的は、被災森林の緑化再生に取り組むことであり、08年の三宅村との「三宅島・雄山の緑化再生活動に関する協定」に沿って、村有林を対象に植樹・森林整備を実施した。

●事業成果

- ①七島展望台村有林は、雄山の中腹に位置し、火山ガスによる枯損で広大な区域が裸地化している。立ち枯れ状態となった区域の枯損木を伐倒した後、タブノキ、ヒサカキを植樹した。
- ②自然観察園地として整備している阿古地区甌村有林の刈払い、歩道整備などを行った。
- ③神着地区の民有地の伐倒、地ごしらえなどの整備を行った。

●自己評価

- ①これまでの植樹地での活着調査の結果は概ね良好であり、森林再生が着実に進んでいる。
- ②甌の穴の園地は、三宅村がベンチなどを設置し、散策コースとして来訪者に利用されている。
- ③森林組合との連携のほか、三宅村の若いボランティアの参加もあるので、今後も拡充に努めたい。
- ④これまでの活動に対し、帰島10周年に当たり、村から感謝状が交付された。

●参加者の声

- ・少しずつ緑が再生するのが目に見えて分かる。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	都内	都外	計
0.9ha	1200本	0.6ha	82人	34人	116人
樹種：タブノキ、ヒサカキ					
実施場所：東京都三宅村					



タブノキ、ヒサカキを植樹

いのちを守る海岸防災林づくり 復興支援

(特非) 森びとプロジェクト委員会

東京都北区東田端

●事業概要

目的は、東日本大震災復興を応援するものであり、①南相馬市の復興計画「津波に強い都市基盤計画」の応援、②東北森林管理局の仙台地区海岸防災林の再生に向けた活動(協定締結)を行った。

●事業成果

①南相馬市鎮魂復興市民植樹祭(2015年3月29日)に実施した。参加者2900人、16種2万本の植樹のうち、当委員会から約3900本を提供した。

②名取市台林地区海岸防災林づくりの植樹(2015年3月21日)に実施した。

●自己評価

市民植樹祭実行委員会の一員として参加し、市民サポーター養成講座4回には、昨年を上回る参加者、特に相馬農業高校生をはじめ若い参加者が多かった。

今後は、毎年増える苗木の管理と食害防止を考慮した苗床整備をしていく必要がある。

●参加者の声

- ・意義ある取り組みだ。
- ・森の防潮堤の完成まで長くかかるので、来年も参加したい。
- ・いのちの大切さを考える良い機会になった。南相馬に住む家族を思って参加した。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.06ha	900本	376人	465人	841人
樹種：タブノキ、カシワ、クリ、ヒサカキ、トベラ、ケヤキ、ヤマザクラ				
実施場所：福島県南相馬市、宮城県名取市、栃木県日光市、岩手県八幡平市				



タブノキ、カシワ、トベラなどを植樹

高尾山周辺森林の台風被害跡地の 風倒木処理および雪害曲がり木処理 技術研修

五反舎

東京都小金井市梶野町

●事業概要

目的は、台風、積雪による被害木・根倒木の処理技術、ロープワークを使った搬出技術(リギング技術)を学ぶためのものであり、そのための実践研修などを行った。

研修は、森林ボランティアを対象とし、理論に関する座学と、ワークショップ形式での実践研修を行い、根倒木及び雪害による曲がり木の処理に潜むリスクの確認・共有、処理方法、道具の利用法などについて学んだ。

研修後は、研修で得た技術に基づき作業を行った。

●事業成果

- ・沢への傾斜木を安全に処理、搬出できた。
- ・班ごとに、作業に潜むリスクの洗い出し、作業方法を考え、発表し、講師がアドバイスするワークショップでは、「自ら考えて作業を進める」ことの大切さを学んだ。

●自己評価

- ・この研修で学んだことを通常の活動でも実践することができた。
- ・安全作業のためには、作業に潜むリスクをメンバー全員で共有することが必要だと認識した。
- ・通常活動でも、リスク項目、作業(手順)を共有し、リスクを回避しながら進めている。

●参加者の声

- ・危険作業は、「やらない」という選択もある考え方に「なるほど」と思った。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
除伐面積	間伐面積	都内	都外	計
0.3ha	0.7ha	138人	20人	158人
実施場所：東京都八王子市				



ロープワークで伐採木の搬出

市民・企業・行政の協働による 広島県竹原市の被災森林回復の ための植林活動

(特非) 地球と未来の環境基金

東京都千代田区神田須田町

●事業概要

目的は、平成6年に発生した大規模な森林火災（約380ha森林消失）の被災地が、改植後においても復旧できず、山肌がむき出しになっている箇所も目立つことから、市民・企業・行政による森林の再生などを行うものである。

また、この活動を通じて環境保全・防災に対する意識啓発を図るものである。

●事業成果

一部急峻なエリアがあったため積苗工を施工し、作業の安全性と活着率を高める対策を行った。活動によりわずかではあるが、むき出しであった山肌に緑が戻る一歩を進めることができた。

●自己評価

当地での活動は、2004年の開始以来、ボランティアが立ち入れる植樹可能なエリア選定も含め、一区切りの段階を迎えた。

今後、ニーズに基づいた中長期での展開を協議・検討していきたい。

●参加者の声

- ・火災発生時のことは知らないが、山の再生に向けて参加できてよかった。
- ・植樹の作業が難しかったけれど、体験できて楽しかった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.4ha	680本	0.5ha	192人	29人	221人
樹種：スーパーマツ、オオシマザクラ、ウバメガシ、モチノキなど					
実施場所：広島県竹原市小梨町					



積苗工の段に植樹する地元高校生

海岸防災林植樹

いのちの森づくり友の会

神奈川県平塚市上吉沢

●事業概要

目的は、先人たちが築いた防災林が、経済事情や生活様式の変化により忘れられ、マツクイ被害も広がっていることから、災害から命を守るための森を再生するものである。

主な活動は、海岸沿いにおける植樹などである。

●事業成果

- ・掛川市、NPO時ノ寿の森クラブ、企業団体が市民協働で活動できた。
- ・津波などの防災のために木を植えるという意識が根付いた。
- ・市民の森づくりに対する意識が向上した。

●自己評価

・その土地本来の自然植生を考慮して樹種選定をしているため、予め、種類に応じた本数を用意しておく必要がある。

●参加者の声

・地元子ども達のために防災林を作ってあげたいのでこのからも続けたい。(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.3ha	1万500本	900人	200人	1100人
実施場所：静岡県掛川市				



植樹には1100人が参加

五頭「みんなの森づくり」と「崩落法面緑化」事業

(特非) ブナ友の会

新潟市中央区

●事業概要

目的は、放置されたスキー場を元の森林に復元し、地球温暖化防止と地域の発展に資するものであり、①カヤが繁茂したゲレンデの植林、②裸地化した法面の緑化と植栽木の保育、③登山道の修復、環境教育を行った。

●事業成果

表土が流出してしまった所の樹木の定着率、成長は良くないが少しずつ回復している。(15年間で5000本の植林)

植生マットが効果を発揮し、法面崩落が止まり緑の回復が著しい。(5年目)

赤茶けた地肌が半分以上緑になってきた。

●自己評価

土壌と強風により苗木の活着、成長が良くないので補植を繰り返したところ、回復しはじめた。

手つかずの法面が半分あり、大量のマンパワーが必要だが、今後の予定はないので大きな課題だ。

●参加者の声

- ・こういうボランティア活動は珍しいので、仲間にも声掛けする。
- ・自分の手伝ったものが成長するのを見るのは楽しい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
1.7ha	620本	1.5ha	302人	5人	307人
樹種：ブナ、ナラ、サクラ、ツツジ、トチ					
実施場所：新潟県阿賀野市					



ツツジの植樹

「蔵作の未来の森」づくりプロジェクト

蔵作をよくする会

福井市蔵作町

●事業概要

目的は、平成16年7月の福井豪雨の土石流の発生源となった蔵作川護岸付近において広葉樹植樹による森林の再生を図るものであり、①雑草、つる草の繁茂が著しい場所の地拵え、②木橋、歩道の設置、③地元、都会、子ども達などによる植樹である。

なお、植樹会終了後、「災害に強い地域づくり」の講演で森林の機能を学んだ。

●事業成果

一面荒れ放題だった所が、広葉樹の植樹により見違えるようになった。

スギ、ヒノキの人工林と広葉樹林との共生のあり方については、植樹時における指導者やお年寄りの話から少しは理解できた。

●自己評価

- ・夏の蒸し暑い日であったため、計画より参加者が少なかった。
- ・岩石地などが計画よりも多く、植樹スペースが少なかった。
- ・植樹後、会員が交代で水やりを行った結果、殆ど枯れなかった。

●参加者の声

- ・大きく成長して自然災害や環境に貢献してくれたらうれしい。(主婦)

実績取りまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	地拵え	県内	計
0.4ha	490本	0.4ha	72人	72人
実施場所：福井市蔵作				



広葉樹を植樹

揖保川源流の森（14号地植樹）

兵庫ドングリ千年の森をつくる会

兵庫県明石市材木町

●事業概要

目的は、揖保川の自然風土を後世に引き継ぐ活動を通して、地域住民の森林に対する意識高揚と、地域での交流、森づくりを推進することである。

●事業成果

2～3年生の苗木の植樹は、シカの被害からうまく成長していないことから、今後は、大きな苗木の植樹を検討している。苗木を数多く植えるよりも、1人1本立派な苗木を大切に植樹し、成長を見守っていききたい。

●自己評価

参加した多くの会員が皆笑顔だった。
傾斜地での子どもたちや年配者の植樹作業は心配だったが、ケガもなく、楽しく緑と触れあってもらえた。

●参加者の声

- ・雨だったが、子ども達も穴を掘ったり、木を植えたり、普段体験できないことができて良かった。(男性)
- ・自然が減っている中で、少しずつドングリの木が育っていくのが楽しみだ。(女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
2ha	1700本	2ha	504人	504人
樹種：クヌギ				
実施場所：兵庫県宍粟市、姫路市				



クヌギを植樹

徳島県那賀町木沢森林整備事業

(特非) 烏雲の森沙漠植林ボランティア協会

徳島市佐古五番町

●事業概要

目的は、那賀川上流域の台風被害地のスギ・ヒノキ人工林を、ケヤキ・ブナ・ヤマザクラなどの広葉樹林に代え、自然災害に強い森林を整備するものである。

植林地域は、近年ニホンジカが多く繁殖しているため、これまでの防除ネットではなく、苗木に支柱を立てネットで巻く方式に変更した。

シカが食べないミツマタを試験的に植林しシカとの共存も模索している。

●事業成果

植林した広葉樹は良好に生育し、近い将来、必ず目的が達成できると確信している。

今回の植林作業に初めて徳島山の会の会員が参加し交流を深める事ができた。

●自己評価

少しずつ森林が活性化してきており、自然災害に強い森林づくりが進んでいる。

●参加者の声

- ・知人で参加している。
- ・豊かな自然が早く回復するようお願いしている。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.5ha	200本	15人	15人
樹種：ケヤキほか			
実施場所：徳島県那賀町小畑			



ケヤキを植樹

「地球に緑を 桜島を緑に」 どんぐり照葉樹の森づくり 第14回桜島どんぐりころころ植樹祭

桜島どんぐりころころ植樹祭実行委員会

鹿児島市下竜尾町

●事業概要

目的は、鹿児島のシンボル桜島への植栽を通じて、緑・自然への関心・意識を高めるものであり、主な活動は、緑の少年団が育てたどんぐりの苗の植樹と下刈りである。

●事業成果

- ・溶岩採石場跡地で雑草が繁殖していた箇所が海岸防災林として生まれ変わった。
- ・下刈り・追肥により、森林は手入れが不可欠であることを学んだ。

●自己評価

計画通り植栽できたが、今後は近隣の漁協との連携により一層充実した活動を進める必要がある。

●参加者の声

- ・自分たちが3年間育てたどんぐりを丁寧に植えた。早く成長してどんぐりの実をつけて欲しい。(中学3年女子)
- ・初参加だが、「緑の少年団員」が3年間育苗した苗と知り感動した。(地元男性60歳)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.28ha	1022本	3.37ha	762人	6人	768人
樹種：ウバメガシ、アラカシ、マテバシイ					
実施場所：鹿児島市桜島					



ウバメガシ、アラカシなどを植樹

松前桜の森維持・造成事業

松前桜の森維持・造成実行委員会

北海道松前郡松前町

●事業概要

目的は、枯死した品種の復元や新たな品種によるサクラの森の維持・造成を通じて、貴重な遺伝子資源を継承するとともに、維持管理などを通じて木育の推進に取り組むことである。

主な活動は次のとおりである。①さくらセミナーin松前の開催、②枯死サクラの復元及び新規品種の導入、③サクラ品種標識の設置である。

●事業成果

セミナーにより、維持管理技術などが図られ、サクラを通じた森林の重要性などを学んだ。

また、植樹により、重要な遺伝子資源の保全、継承のきっかけづくりができた。

新聞報道などを通じて、森林に対する住民の自発的な取り組みにつながることを期待する。

●自己評価

- ①4回のセミナーを開催したが、参加者数は予定を下回った。
- ②55本植栽したが、新規導入品種の適性・管理が課題である。
- ③サクラの物語及び英語表記も加えて、サクラの標識を設置した。

●参加者の声

- ・サクラの歴史の深さに感動した。このようなセミナーをたくさんやってほしい。(50代・男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	道内	道外	計
0.5ha	55本	221人	10人	231人
樹種：サクラ				
実施場所：北海道松前町				



サクラの植樹

十勝牧場白樺並木再生事業

音更町十勝川温泉観光協会

北海道河東郡音更町

●事業概要

目的は、景勝地である十勝牧場シラカバ並木を再生し、後世に引き継ぐことであり、主な活動は、①既存シラカバの伐木・伐根、②シラカバ苗木の植樹である。

●事業成果

- ①地域住民の代表、十勝牧場、音更町、音更町十勝川温泉の関係者が参加した活動により、町を代表する観光資源であるシラカバ並木を次世代へ継承することができた。
- ②活動がマスコミを通じてPRされたことから、町民に対して広く啓発することができた。

●自己評価

- ・事業主体である音更町十勝川温泉観光協会と十勝牧場の連携もスムーズにできた。
- ・今後は、6月上旬に植樹できるよう、伐木・伐根作業を早期に実施する必要がある。

●参加者の声

- ・シラカバ並木を後世に残す出発点の年となった。町の財産としてこれからも大切にしていきたい。(地域住民)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付本数	間伐面積	道内	計
12本	0.1ha	11人	11人
樹種：シラカバ			
実施場所：北海道音更町			



シラカバの植樹

三陸復興国立公園階上岳ヤマツツジ移植事業

階上町緑化推進委員会

青森県三戸郡階上町

●事業概要

目的は、階上岳8合目付近に広がる町のシンボル・ヤマツツジが密生し、成長が阻害されているため、一部を移植し、樹勢回復を図るものである。

●事業成果

- ・移植した結果、生息空間を確保したことで健全な成長が可能となった。
- ・三陸復興国立公園の名所として、観光客の増が期待できる。

●自己評価

- ・計画では20本程度であったが、ヤマセなどの影響などを考慮し、15本の移植とした。
- ・国立公園内の移植申請手続きに時間を労した。
- ・周辺ヤマツツジも間隔が狭くなっていることから、移植など実施していきたい。

●参加者の声

- ・町の貴重な宝なので、今後とも環境保全活動に協力していきたい。(50代男性)
- ・群生地をか広げるためにも効果がある。(40代の男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	掘取本数	支柱設置	県内	計
15本	15本	1本	20人	20人
樹種：ヤマツツジ				
実施場所：青森県階上町				



ヤマツツジ支柱設置作業

土淵町大洞のヤマザクラ樹勢回復事業

山口自治会

岩手県遠野市土淵町

●事業概要

目的は、樹幹部の腐朽が著しく進行し、枯損の恐れがある樹齢約370年のヤマザクラ古木の樹勢を回復させ、後世に引き継いでいくことである。

本事業では、土壌処理、樹幹腐朽治療、樹姿回復のための整枝・剪定を実施した。

●事業成果

地域住民の参加により、地域の宝であることを再認識するとともに、ヤマザクラを後世に引き継ぐことができた。

●自己評価

地元住民の協力を得て予定通り実施できたが、説明板が設置できなかった。

今後の経過観察及び継続管理が重要である。

●参加者の声

- ・孫子の代まで美しい花を咲かせてもらいたい。(地元住民)
- ・地域のシンボル・ツリーであることを感じた(地元住民)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
樹勢回復	下刈面積	計
1本	0.1ha	15人
樹種：オオヤマザクラ		
実施場所：岩手県遠野市		



地域のシンボル ヤマザクラ

いこいの森再生事業

(株)花葉館・植栽グループ

秋田県仙北市角館町

●事業概要

目的は、廃止後放置されていた国道46号線沿いの旧スキー場用地を「いこいの森」として再生するものであり、各種団体、市民グループ、一般参加者などが植樹を行った。

●事業成果

・温泉宿泊施設・グランドゴルフ場などが隣接しており、通年県内外から多くの方々が訪れることが、期待される。

●自己評価

・諸団体からの支援もあり順調に整備してきている。植栽後の保育を適切に行い、良好な森林再生する必要がある。

●参加者の声

・事業を継続し、子ども達へサクラを残していきたい。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.4ha	30本	1.0ha	52人	52人
樹種：オオヤマザクラ				
実施場所：秋田県仙北市角館町				



サクラの植樹

ふるさとの森林再生事業

村山市林業クラブ

山形県村山市楯岡五日町

●事業概要

目的は、アカマツ（市の木）の景勝地であった河島山が、病虫害により荒廃しているため、アカマツの再生、保全に努めるものである。

主な活動内容は、①植栽、②幼齢林の下刈り、③マツ枯れ防止樹幹注入剤の注入である。

●事業成果

枯損木の伐採、植栽により、景観も改善され地元住民も感謝している。

過去4年間に植栽した苗は、順調に生育している。

樹幹注入剤により、33本の保全が可能となり、景勝地への復活が期待される。

●自己評価

- ・計画通り300本のアカマツの植栽ができたが、ボランティア参加者が少なかった。
- ・下刈りは、計画通り2回実施でき、樹幹注入剤は計画より若干多く実施することができた。
- ・今後は、ボランティア参加者を増やすことが課題である。

●参加者の声

- ・いい汗をかいたので、順調に生育して欲しい。(70代男)
- ・早く元の山に戻るよう祈っている。(60代男)

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数	
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	刈払面積	県内	計
0.1ha	300本	33本	0.8ha	0.1ha	51人	51人
樹種：アカマツ						
実施場所：山形県村山市						



マツ枯れ防止剤を注入

宇都宮市陽光地区青少年育成会 植林事業

宇都宮市陽光地区青少年育成会

宇都宮市緑

●事業概要

目的は、足尾銅山の煙害で荒廃した山の緑化活動を通じて、地域の歴史や緑の大切を学ぶものである。

●事業成果

小学生、保護者、地域住民が多数参加し、荒廃の状況を学び、植林したことにより、環境学習の実践ができた。地元小学校などの参加により、今後の小学校の環境教育にも役立つと考える。

また、地域の広報誌や学校のお知らせでの報告で地域住民、保護者にPRされ、今後の拡大につながる事が期待される。

●自己評価

予定通り100本植えることができたが、急峻な地形のため低学年や高齢者の安全対策の強化が必要である。

●参加者の声

- ・また植林して、はげ山に緑を増やすことができたらしい。(小学校6年女子)
- ・公害の原点といわれる場所で植林し、有意義な体験ができた。(小学生保護者男性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
2.0ha	100本	3.0ha	56人	56人
樹種：コナラ、ヤマボウシ、ヤマザクラ、イロハモミジ				
実施場所：栃木県日光市足尾町				



コナラ、ヤマボウシ、ヤマザクラなどを植樹

ふるさとのツツジ並木救助活動

群馬県樹木診断協会

前橋市苗ヶ島町

●事業概要

目的は、「赤城神社」のヤマツツジがシンクイムシで衰弱していることから、害虫防除・樹勢回復により、健全な並木に復元することである。

花芽を食害するシンクイムシの繁殖・食害時期に合わせて、7月から9月にかけて5回の薬剤散布を行った。

●事業成果

飛び立つ蛾の数が少なくなったように感じられた。

食害された花芽は少ないが、健全な花芽が残っている事が確認され、来春の花付きが期待される。

●自己評価

①計画どおり実行した。

②総延長3kmに対して実績が100mと低い割合となった。

③5回繰り返し散布したので、来春の着花状況にどのような結果が出るか期待したい。

④今後も保護対策ができるように、地元関係者と協力・工夫していきたい。

●参加者の声

・来春、花がいっぱい咲くことが効果の現れなので期待したい。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
1万5000㎡	58人	58人
実施場所：前橋市柏倉町		



薬剤散布

睦沢町ひと・もり・さと再生事業

妙楽寺林業振興会

千葉県長生郡睦沢町

●事業概要

目的は、地元住民以外の利用が少ない妙楽寺ダム周辺において、サクラを植樹することにより、町のシンボリックな里山を再生するものである。

●事業成果

・これまでダム周辺には何度かサクラを植栽したが、根が伸びず枯れてしまうことがあった。

・今回の土壌改良でサクラが育つ環境を改善することができたと考える。

●自己評価

・予想以上に土の状態が悪く、大がかりな土壌改良が必要だった。

・土壌改良は行ったが、今後も引き続き適切に管理していきたい。

●参加者の声

・土が固く水はけも悪かったので土壌改良をして良かった。

・掘ってみて土の状態が悪いのが分かった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.40ha	120本	51人	51人
樹種：サクラ			
実施場所：千葉県睦沢町			



サクラの植樹

宇津貫緑地（八王子市）の森の再生、希少植物の保全、植樹祭準備

宇津貫みどりの会

東京都八王子市兵衛

●事業の概要

目的は、みなみ野シティの開発で唯一残された宇津貫緑地の森の再生であり、主な活動は、①ヤマツツジの苗の育成、②散策路の整備、③保護柵と表示板の設置、④里山保全などの講演会、⑤ロウバイ50本の植樹、⑥ヤマツツジ観賞会である。

●事業成果

- ①ヤマツツジ苗70本の育成、里親希望者40人への苗木配布などを行った。
- ②希少植物の保護柵や表示板を設置して、参加者に緑地の大切さを訴えた。
- ③講演会で計画的な里山整備、伐採技術を学んだ。
- ④植樹祭や観賞会への参加者に対して、緑地の大切さなどをアピールできた。

●自己評価

- ①今後、苗づくりのほか、下刈り作業も継続する。
- ②講演会への一般参加が少なかった。
- ③イベントを多く開催し、緑地の大切さと保全活動をアピールする。

●参加者の声

- ・緑地の自然の豊かさに感動した。
- ・このような自然があるのを初めて知った。

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐本数	都内	計
0.025ha	50本	1.615ha	0.09ha	50本	515人	515人
樹種：ロウバイ						
実施場所：東京都八王子市						



ロウバイの植樹

丹沢（二ノ塔）森林再生事業

神奈川県山岳連盟

横浜市港北区大曾根

●事業概要

目的は、丹沢山塊の二ノ塔山腹にある崩壊斜面を森林に再生するものであり、会員と一般市民の参加が森林再生のためのセミナー、ケヤマハンノキの植栽を行った。

また、シカ対策のため、幼樹木ネットGSを設置するとともに、これまでの植栽木のモニタリングや保育を行った。

●事業成果

- ・植栽地は、対象地全体から見れば僅かであるが、年々、確実に広がってきた。
- ・勢い良く育った植栽木を見ながらの作業だったことから、森林再生に対する参加者の意欲を一層発奮させた。

●自己評価

- ・過去に失敗はあったが、年々本数を増やし、活着率も高まってきた。
- ・山岳地での植栽は難しく、シカ対策もカギとなることを実感している。
- ・獣害・虫害・風衝・凍上・雪・雨など平地と違った複雑な条件を乗り越えなければならない。

●参加者の声

- ・急な山道の苗木運びは大変だが、良い汗を流し爽快。(女性40歳)
- ・素晴らしい眺めで、植樹も楽しい。(男性70歳)
- ・シカの被害が深刻であると実感した。(女性60歳)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	県内	県外	計
0.14ha	200本	30本	107人	5人	112人
樹種：ケヤマハンノキ					
実施場所：神奈川県秦野市丹沢					



シカ食害対策としてネットを設置

高麗山公園、桜を中心とした森再生活動

湘南の森

神奈川県平塚市代官町

●事業概要

目的は、湘南平から高麗山にかけての森林約5haの保全整備を通じて、持続可能な豊かな森を実現することである。

主な活動は、①テング巣病にかかったサクラの除伐と枝の廃棄、②除伐した後のヤマザクラ、ヤマボウシなどを植林、③下刈り、枝打ち、択伐による自然保全と通行者の安全確保、④チェーンソー講習を行った。

●事業成果

- ・テング巣病にかかったサクラの伐採と、病枝の焼却によって伝染を防いだほか、枯れ枝の伐り落としで、台風などによる落下が減った。
- ・伐採、枝打ちなどで明るくなった場所にヤマザクラなど35本を植林し、円滑な世代交代をめざした。

●自己評価

- ・テング巣病のサクラは平塚市と計画通りの本数を伐採したが、イノシシの掘り返し被害への適切な対策がとれていない。
- ・一部でバードウォッチャーの踏み荒らしが出た。

●参加者の声

- ・サクラの伐採で日当たりが良くなりツリガネニンジンやワラビが出てきた。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐本数	県内	県外	計
0.8ha	35本	9.6ha	26本	192人	26人	218人
樹種：ヤマボウシ、ヤマザクラ、ガマズミなど						
実施場所：神奈川県平塚市						



テング巣病の枝の処理

ブナの森はみどりのダム植樹祭

(特非) 湯沢みどりの会

新潟県南魚沼郡湯沢町

●事業の概要

目的は、ブナ原生林の皆伐などにより河川流量が減っていることから、植樹により、淡水魚の生息、地域住民の生活用水、海の生物の生息に必要な水を供給できるようにすることである。

●事業成果

植樹した1000本のブナの幼木が力強く成長し、皆んなの心の絆となることを期待している。

●自己評価

- ①大人と小学生が助け合って、計画通り植樹ができた。
- ②ボランティア活動への若手役員の育成が課題である。

●参加者の声

- ・この活動を楽しみにしている。
- ・植えた木の成長を見るのが楽しみだ。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.45ha	1000本	1.6ha	0.12ha	777人	23人	800人
樹種：ブナ						
実施場所：新潟県湯沢町						



小学生による植樹

ササユリの咲く森再生プロジェクト

(特非) 森林総合支援センター

富山市婦中町鶯谷

●事業概要

目的は、ササユリなどの下層植生が繁茂する森を作り、多様な生き物が生息でき、訪れる人々に癒しを与える空間とすることである。

主な活動は、①成長不良や二股のヒノキ・スギの間伐、②間伐木で木橋を架けた作業路を開設、③ギャップがある場所への広葉樹のを植栽などを行った。

●事業成果

- ・間伐によって見通しの良い明るい林となった。
- ・ササユリの自然発生が多くなり、ササユリの群落ができてきた。
- ・間伐材による木橋を架け、散策路を開設した。

●自己評価

- ・プロジェクトは一定の成果を得たので、引き続き枯損木の整理などをしていく。
- ・今後の維持管理のためには、安全講習が必要である。

●参加者の声

- ・森の中は歩きやすく、涼しくて気持ちがいい(子ども)
- ・自然教室などで、いろんな植物について教えて欲しい(大人)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	植付球数	下刈面積	県内	県外	計
1ha	53本	20球	2ha	78人	12人	90人
樹種：コナラ、ヤマグリ						
実施場所：富山市婦中町						



森林整備

「ふるさと絆の森」再生事業

石川フォレストサポーター会

金沢市古府町

●事業の概要

目的は、輪島市の運動公園に隣接する人工林が、高齢化により手入れ不足となっていることから、健全な森に再生することである。

主な活動は、①クロマツ幼齢林の下刈り、②枯損木の除去及び抵抗性クロマツ苗の補植、③カシワの植栽、④木道の修理などである。

●事業成果

- ①成長するにつれて、能登半島地震のメモリアルパーク、憩いの場となりつつある。
- ②カシワの植樹により、将来、利用者に木陰を提供できる。

●自己評価

- ①海も近く塩害もみられることから、下刈り、補植などが必要である。
- ②景観だけでなく、運動公園でのイベントに潤いを与えられると期待される。

●参加者の声

- ・TV撮影地に近い現地であり、観光にも貢献できる。(50歳女性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	補植	県内	県外	計
0.1ha	30本	0.54ha	14本	118人	0人	118人
樹種：カシワ、抵抗性クロマツ						
実施場所：石川県輪島市						



カシワの植樹

国立青少年交流の家 「富士のさと」森づくり事業

(特非) 土に還る木森づくりの会

静岡県御殿場市新橋

●事業概要

目的は、富士山麓に相応しい森づくりによって、希少生物が生息する環境づくり、教育・交流の場としての森づくりを実践することであり、主な活動は、広葉樹の植栽、間伐、枝打ちなどである。

●事業成果

- ・ほぼ計画通りの植栽ができた。
- ・施設内の常緑樹の枝打ち、間伐により景観が改善された。
- ・広葉樹(クヌギ、イロハモミジなど)の植栽による樹種転換を行った。
- ・遊歩道の整備により、自然観察コースが充実した。

●自己評価

- ・高所作業の業者委託なども含めて、計画は達成できた。
- ・今後は、地元関係団体の協力・連携が必要である。

●参加者の声

- ・計画通り達成できたので、今後も協力して欲しい。(国立中央青少年交流の家所長)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	間伐面積	県内	県外	計
3ha	180本	2ha	15人	63人	78人
樹種：イロハモミジ、クヌギ					
実施場所：静岡県御殿場市(国立青少年交流の家)					



ドングリの森植樹

「スギを活かして里山を取り戻そう」活動

鳳来峡の森を明るくする会

愛知県新城市能登瀬

●事業概要

目的は、集落周囲の小規模なスギ・ヒノキ林が、整備後短期間で暗くなり、景観も悪化するため、スギ・ヒノキ林の皆伐後、コナラなどの落葉広葉樹へ植え替え、里山景観を取り戻すことである。

活動に当たっては、社員ボランティアグループとの関係を活かし、都市市民が継続的に活動できる拠点施設を整備し、年間を通じて活動できるようにした。

●事業成果

5回のイベントのほか、スギ・ヒノキ林のコナラへの植え替え0.1ha(ポット苗300本)、除伐・下刈りなどを行ったことにより、里山再生ボランティア活動の拠点として期待できる。

●参加者の声

- ・山に囲まれた場所で、施設の中庭などで森林が活動できるのは魅力である。(東三河山(ぼ)会)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	除伐面積	県内	計
0.2ha	300本	0.1ha	220人	220人
樹種：コナラ				
実施場所：愛知県新城市(ほか)				



社員ボランティアによる薪割り薪づくり体験

地域の歴史を残す森林整備事業

鈴木金七郎の業績を見直す会

愛知県新城市富永

●事業概要

目的は、鈴木金七郎のエピソードの舞台となった雁峰山を気軽にアクセスできる場とし、地域の山として次世代に引き継いでいくことであり、間伐による眺望の確保、テーブル、ベンチの設置、緑花木などの植栽を行った。

●事業成果

- ・のろし場探索路、見晴台ができた。
- ・雑木が密生して眺望が悪かったが、親しめる環境に変わった。
- ・きつい作業をする中、チームの連帯感が生まれた。

●自己評価

- ・植栽した緑花木のシカ、イノシシ対策が必要である。
- ・地域の小中学校が、探索路を使ったウォーキングを実施した。

●参加者の声

- ・人の手が入らないと自然は守れないのだと実感した。(50代女性)
- ・すぐ登れそうな山でも大変で、この道を走った昔の人は、凄い体力だと感心した。(小学生 男)

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	環境整備	県内	計
0.2ha	20本	0.35ha	0.35ha	0.35ha	38人	38人
樹種：ツツジ、アジサイ						
実施場所：愛知県新城市						



森林を整備して、地域の歴史を見つめ直す

小面積皆伐による里山再生モデル事業

四日市自然保護推進委員会

三重県四日市市沖ノ島町

●事業概要

目的は、里山において小面積皆伐の後、萌芽更新を促して里山を若返らせ、「ふるさとの里山モデル」を作ることにより、生物多様性の保全や、自然観察、環境学習の場を提供することである。

●事業成果

コナラを中心とする里山の再生が進み、伐採後の管理についてもある程度方向が見えてきた。

コナラの萌芽更新は3割程度であるが、実生による再生も進み、また、ササユリやコウヤボウキなども復活しつつある。

●自己評価

ほぼ予定どおりの実施で、再生プロセスがある程度見え、活動の目的も理解されやすくなったが、大径木伐採は他に頼ることが多い。

今後、親子で参加できるプログラムの開発、伐採後の管理、伐採木の利活用について検討する必要がある。

●参加者の声

- ・自分たちが行っている里山管理の参考になった。(60代男性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	皆伐・搬出	県内	計
0.07ha	40本	0.2ha	0.15ha	351人	351人
樹種：コナラ					
実施場所：三重県四日市市					



伐採跡地で振り返り

辻区里山整備活動

辻里山活性ネイチャー倶楽部

滋賀県高島市マキノ町

●事業概要

目的は、高齢化による荒廃が進む集落周囲の森林において、枯死木、倒木の除去、巨木の伐採後にヤマザクラ・モミジ・クリを植栽して、春の花、秋の紅葉を楽しみ、動物と共生ができるよう再生することである。

●事業成果

地区住民が山林に関心を持ってくれるようになり、また、里山活性に取り組んでいる近隣のグループの訪問や援助を受けることができた。

将来、ヤマザクラが咲く里山を見て、山への関心を高めてもらえると確信している。

●自己評価

予定どおり達成できたが、除伐したナラ材などの集材力が小さく全量活用できなかった。

今後は、多面的な活動やシカの食害を防ぐための見回りや網の補修を継続する。

●参加者の声

学生は、「日常生活では、体験できないことができた。農村の生活には、色々な苦勞があることが分かった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	除伐面積	県内	県外	計
1ha	150本	1ha	48人	18人	66人
樹種：ヤマザクラ、モミジ、クリ					
実施場所：滋賀県高島市マキノ町					



除伐

地域本来の自然植生を生かした持続的なふるさとの森づくり

里まる

京都府南丹市日吉町

●事業概要

目的は、高齢化が進む山村の荒廃森林を、再び里山として活用・再生するものであり、主な活動は、①作業道・観察道の整備、②整備に必要な樹木調査、③老齢木の伐採、コナラ、クルミ、サクラなどの植樹・下刈り、④シカ除けネット設置、⑤都市住民との交流、⑥炭や薪としての伐採木の活用である。

●事業成果

①老齢木・倒木の伐採、作業道・観察道の整備によって、地域住民が山に戻ってきた。

②作業を通じてベテランの技術を習得できた。

●自己評価

・伐採木の一部は搬出できず、斜面に放置したままになっている。

・事業期間途中から、活用できる範囲内での伐採に変更した。

・観察道を尾根まで人力で付けることができた。

●参加者の声

・木を伐り、炭・薪にし、植樹するという一連での作業で、里山の循環に貢献できたと感じる。(50代男)

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	府内	府外	計
0.2ha	50本	0.2ha	0.3ha	0.3ha	125人	16人	141人
樹種：コナラ、クヌギ、クルミ、サクラ、モミジ							
実施場所：京都府南丹市日吉町							



シカ食害防止ネットの設置

能勢町における「三草山ゼフィルス の森」再生事業

能勢みどりすとクラブ

大阪府豊能郡能勢町

●事業概要

目的は、森林性のシジミ蝶であるゼフィルス類の生息環境として、三草山の里山整備を着実に進めるものであり、主な内容は、①ナラガシワが混交するコナラ・クヌギ林の萌芽更新、②ネザサの刈り取りによる林床整備、③ナラガシワの実生苗の植栽と防シカ柵の設置、④伐採木の薪やシイタケ櫓木への利用、⑤貴重種の採取防止の巡視や観察会など普及啓発活動である。

●事業成果

「能勢みどりすとクラブ」の立ち上げ・役割分担により、活動が活性化した。

地元参加のクラブ員の指導の下、ササ刈り、ナラガシワ植栽、防シカ柵の設置、アクセス路の復旧、薪や櫓木の生産、観察会を実施できた。

●自己評価

- ・これまで、生息環境保全のための管理による大径木の残存により、ナラ枯れの発生へと繋がった。
- ・今後、主林木の伐採更新を進めて行くことから、専門家の指導、専門業者との役割分担、ボランティア活動範囲の拡大などの活動を続ける必要がある。

●参加者の声

- ・森林（林床）が荒れてきた。（40代女性）
- ・沢山の中学生在が登山道を直すことに感謝する。（60代男女）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	府内	府外	計
0.05ha	30本	1.5ha	270人	17人	287人
樹種：ナラガシワ					
実施場所：大阪府能勢町					



防シカ柵設置

ふるさとの貴重な森林保全事業

春日台公園里山クラブ

神戸市西区春日台

●事業概要

目的は、居住地域内に残された緑地森林を整備して、地域の宝として保全するものであり、主な活動は、①危険木除伐や下刈り（安全講習を含む。）、②森林環境体験学習などである。

●事業成果

- ・危険木を除去し、学童たちに安全に体験させることができた。
- ・保護者にも活動を知ってもらった。
- ・動力機械を安全に使用し、効率的に作業できた。

●自己評価

- ・天候や部材購入の遅れにより、スケジュールどおりとできなかったが、ほぼ達成できた。
- ・今後も巣箱を設置し、野鳥を増やしたい。

●参加者の声

- ・安全作業の意味が分かった。
- ・マニュアルが役に立った。
- ・ビオトープがトンボの産卵などにも役に立つはずだ。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	計
0.05ha	0.1ha	0.1ha	40人	40人
実施場所：神戸市西区				

頂上展望台の景観と荒廃した森林地域を再生する

(特非) 森づくり奈良クラブ

奈良市高畑町

●事業概要

目的は、竹、ササ、雑木によって成長が妨げられているスギ、ヒノキ人工林を健全な状態へ戻すものであり、主な活動は、下刈り、除伐、竹林整備である。

●事業成果

除伐によって、展望台からの眺望が可能となり、生駒山や市街地が望めるようになった。

展望台周囲の下刈り、竹林整備などによって利用者に大いに喜んでもらった。

●自己評価

- ・予定通り実施できた。
- ・研修生の体験研修の受け入れやいこま里山クラブとの共同作業などによって活動の幅が広がった。
- ・今後は、自然公園の一般利用者の参加を進めたい。

●参加者の声

- ・眺望を阻害している大きな樹木を所定の方向に倒せたことに感動した。
- ・タケを伐採して周辺の景観が良くなったので伐採の必要性を感じた。(研修生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐本数	竹林整備	県内	県外	計
1.05ha	33本	0.35ha	267人	41人	308人
実施場所：奈良県大和郡山形市矢田町（県立矢田自然公園）					



竹林整備

観光地紅葉林整備事業

湯梨浜町観光協会

鳥取県東伯郡湯梨浜町

●事業概要

目的は、観光名所である今滝周辺にモミジなどを植林することにより、滝と広葉樹林の織り成す景観美を整備するものである。

モミジなどの広葉樹は、落ち葉が腐葉土となり、植物プランクトンの生育に必要な鉄分を運び、森・里・海のつながりを確保するものである。

●事業成果

今滝周辺は、針葉樹が多く四季の変化に乏しかったが、モミジの植樹により、遊歩道の景色が変わり、魅力的になった。

観光客・町民には、憩いの場、くつろぎの場として楽しんでもらえることを期待している。

●自己評価

予定通り植樹できが、地面が予想以上に固かったため、機械を使用して穴掘りをした。

今後は、順調に生育できるよう、適切な管理を行い、町の紅葉スポットの一つになるよう努力したい。

●参加者の声

- ・力仕事はできなかったが、後片付けなどの軽作業で貢献できてうれしい。(50代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.11ha	20本	0.11ha	32人	32人
樹種：イロハモミジ				
実施場所：鳥取県湯梨浜町				



イロハモミジの植樹

目田森林公園～神話の国を見晴らす、美しい山頂復活事業

(特非) もりふれ倶楽部

松江市島根町野波

●事業概要

目的は、大径木の枯れ木や雑木、竹に囲まれ、見晴しも悪く、登山者の安全確保ができない森林公園において、大径木などの伐採処理や植樹地(コハウチワカエデ)の下刈り作業を行うことにより、市民の憩いの場として再生することである。

主な作業は、①植栽地下刈り作業、②枯損木・不要木伐倒作業、③伐倒木処理作業である。

●事業成果

- ①2回の下刈りにより、苗木の成長を確保した。
- ②枯損木などの危険木・支障木の伐倒を行い、登山者の安全確保と、一部区域の見晴らしを取り戻した。

●自己評価

下刈りには、もっと多くの市民ボランティアに参加して欲しかった。

危険木の伐倒を伴う、大径木の伐倒などは、熟練者を配置し、安全に行った。

今後は、森と人とを結びつけるイベントなどを開催できる場所にするよう、ボランティアの確保を図りたい。

●参加者の声

- ・木を植えるイベントの後、毎年下刈りが必要なことがよく分かった。(40代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	伐倒・処理	県内	計
1.0ha	0.5ha	31人	31人
実施場所：島根県出雲市			



下刈り作業後

長船刀剣の森づくり

長船刀剣森づくり実行委員会

岡山県瀬戸内市長船町

●事業概要

目的は、日本刀製作やマツ炭の生産に使われる「県木」のアカマツ林を再生するものであり、主な活動は、植林と健全な林を造成するための間伐である。

●事業成果

- ・実行委員会と一般ボランティアの協働によって健全なアカマツ林の造成につながった。
- ・普段、森林と触れ合う機会が少なかった参加者もアカマツ炭が日本刀製作用として有効活用されていることを学んだ。

●自己評価

- ・大勢の方に取り組みを知っていただき、もう一度参加したといわれるような活動にしていきたい。
- ・山林整備や炭焼きに興味をもってもらうための「きっかけづくり」の場としていきたい。
- ・伝統技術を継承していくため、人材育成にも力を入れていきたい。

●参加者の声

- ・刀に最適な炭にするまでに長い年月と多くの手間がかかることが分かった(50代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.5ha	0.5ha	26人	21人	47人
実施場所：岡山県吉備中央町、美咲町				



下刈り作業

集まれ光井っ子！ 里山整備プロジェクト

光井地区連合自治会

山口県光市光井

●事業概要

目的は、荒廃した光井小学校裏山の竹林伐採などを行い、子どもたちが楽しく快適に過ごし、地域住民が憩うことができる「里山づくり」を進めるものである。

主な活動は、タケなどの伐採、遊歩道の整備、自然体験学習などである。

●事業成果

- ・約1000本のタケの伐採によって、学校周辺が明るくなった。
- ・毎年小学校プールに笹の葉が落ち掃除が大変だったのが解消された。
- ・竹林整備で、きれいになり、子どもや地域住民を巻き込んだイベントもできるようになった。

●自己評価

- ・初年度の取り組みとしては満足である。
- ・月2回の実施だが、参加者が満足するような対応ができなかった。
- ・ボランティアがどこまで続くか難しい。
- ・今後は皆の心を一つにできるイベントの開催など、新たな取り組みが必要である。

●参加者の声

- ・里山周辺が明るくなり、散歩できるようになればうれしい。
- ・プロジェクトに参加することで、地域の役に立っている気がする。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
除伐面積	タケの伐採	県内	計
6ha	約1000本	666人	666人
実施場所：山口県光市			



竹林整備

羽床富士の里山 景観再生プロジェクト

堤山景観保全プロジェクト委員会

香川県綾歌郡綾川町

●事業概要

目的は、手入れ不足、タケの侵入・拡大により、里山の景観が失われつつある羽床富士において、地域住民とボランティアが協働した竹林伐採、広葉樹植林により、里山の景観を再生するものであり、主な活動は、①ヤマザクラの植林、②卒業記念植樹、③下刈りである。

●事業成果

自治会、ボランティアなど地域住民が参加した植樹などにより、森林再生・保全の意識が高まった。

また、地元の小学校の植樹体験は、森林環境教育につながった。

●自己評価

竹林伐採跡地の全域に、ほぼ計画通り植樹と、下刈りを行った。しかし、想定以上のタケ伐採・集積により、植栽面積・本数が確保できなかったり、再生したタケの除去作業が危険なため、森林組合に委託せざるを得なかった事態が生じた。

●参加者の声

- ・タケの根がたくさんあり、植穴を掘るのに苦勞した。
- ・下刈りは大変だったが、ヤマザクラが順調に育ってうれしい。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.53ha	550本	0.60ha	87人	87人
樹種：ヤマザクラ				
実施場所：香川県綾川町				



ヤマザクラの植樹

自然ふれあいの森づくり

(特非) どんぐりネットワーク

高松市川島東町

●事業概要

目的は、長年手入れがされず、放置されていた高松市有林・自然ふれあいの森を「ふるさとの誇れる森林」となるよう整備するものである。

活動は、市民参加の森づくりとして推進したものである。

●事業成果

- ・多くの地域住民が参加し、自然観察会、チェーンソー・刈払機講習会、植樹などを通して、地元で愛される森づくりを行った。
- ・普段森との関わりが少ない参加者には、森とふれあうきっかけになった。
- ・作業中、地域住民に「きれいになったね」という声かけがあった。

●自己評価

- ・計画通りの作業が行われ、多くの参加者があった。
- ・住宅地の森の手入れで、多くの目に触れ、普及効果があった。
- ・今回の協定を踏まえ、これからも市との協働が図られるようになった。

●参加者の声

- ・森が初めての人には、とてもいい企画だった。(40代・女性)
- ・立木の伐採ができてとても良かった。(30代・女性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	計
0.06ha	25本	1ha	0.25ha	109人	109人
実施場所：高松市勅使町					



「市民に愛される森」をめざして整備

山と里の豊かな森林再生事業

こうち森林救援隊

高知県土佐市高岡

●事業概要

目的は、手入れの遅れたスギやヒノキの人工林において、都市住民の生活に密着した里山に再生するものであり、①人工林の除間伐と利活用、②都市部周辺の里山の再生のための整備を行った。

●事業成果

- ・人工林の除間伐や竹林を含む里山の下刈り、除伐などを行った。
- ・人工林では間伐材5 m³を搬出、材は活用した。
- ・里山の景観を甦らせる、生物の多様性豊かな森へ変えた。

●自己評価

- ・人工林では、急傾斜の厳しい現場にもかかわらず、除間伐と材の利活用において初期の目的を達成できた。
- ・里山では、荒廃竹林をセラピー森林として甦らせることができた。
- ・今後は、整備した里山が再び放置されることとならないよう、地域住民の管理が課題である。

●参加者の声

- ・初めて木を倒した時の達成感があった。間伐後の明るい林内を見ると、新しい感動が芽生えてた。(20代女性・会社員)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.2ha	90本	0.5ha	0.8ha	400人	50人	450人
樹種：モミジ、ツツジ、クスギ、サクラなど						
実施場所：高知県鏡吉原 同市春野町						



間伐作業

ダイヤランド入居30周年記念 ふるさと記念の森林づくり事業

ダイヤランド第2自治会

長崎市ダイヤランド

●事業概要

目的は、野バラ、カヤ、かん木が繁茂する市道法面において、次世代に引き継ぐ「ふるさとの森」や住民の交流の場を住民の協働で整備するものであり、植付、下刈りなどを行った。

●事業成果

- ・少しずつ参加者も増え、斜面がきれいに整備された。
- ・植樹後も記念樹の管理に多くの住民が参加し、「ふるさと記念の森林」となりつつある。

●自己評価

- ・12種類120本のサクラを植栽することができた。
- ・間伐材利用の管理用階段も11カ所設置し、安全に維持管理できるようになった。
- ・今後、植栽地の下刈りなどの保育作業への協働体制を確立することが必要である。

●参加者の声

- ・子どもの誕生祝に植えた。子どもの成長とサクラの花が咲くのが楽しみだ。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.7ha	120本	0.7ha	270人	270人
樹種：サクラ				
実施場所：長崎市ダイヤランド				



サクラの植樹

黒石区の棕の木再生事業

黒石自治会

熊本県合志市須屋

●事業概要

目的は、樹齢約390年と推定されるムクノキが腐朽空洞化し、雨水の浸入などがあることから、再生させるものである。

主な作業は、①根元腐敗部の除去と薬剤塗布、②上部の切断、強剪定除去、③土壌改良である。

●事業成果

ムクノキ周辺はボランティアによる清掃などを行ってきたが、今回の措置によって樹勢が回復し、引き続き地域のシンボルとして、住民に元気を与えてくれると期待している。

●自己評価

- ・住民のコミュニケーションにも役立っている。
- ・剪定によって樹形が小さくなったが、将来に期待したい。

●参加者の声

- ・先端の腐敗部分は切り落とした後、町内有志がシイタケ原木にしたので、撤去作業が効率的だった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
樹勢回復	除草清掃	計
1本	10回	30人
実施場所：熊本県合志市須屋		



クレーンによる剪定作業

南九州市立川辺小学校 大ケヤキ修復再生事業

日本樹木医会鹿児島県支部

鹿児島市吉野町

●事業概要

目的は、鹿児島県内に現存する植栽木最大級（胸高周囲520cm）の大ケヤキが樹幹部の腐朽と枝の枯れ下がりが進行したため、樹勢回復を図るものであり、樹冠部の整形修復、樹幹空洞部の修復保全、土壌改良を実施した。

また、子どもたちに一連の作業を身近に見聞させ、土壌改良工の一部を体験させることで、理解と関心を深めさせた。

●事業成果

- ・生育南限で、県内最大級の大ケヤキに新たな息吹を吹き込むことができた。
- ・新聞報道などを通じて学校関係者、地元住民の間で大ケヤキを守り育てる機運が高まってきた。

●自己評価

- ・高所作業を伴う危険な作業であったが、無事所期の目的を達成できた。
- ・施工途中、不定根の発生が確認されたため誘導措置を追加した。
- ・空洞部の状況について、定期的な経過観察が必要である。

●参加者の声

- ・県内最大級のケヤキの木だとは知らなかった。
- ・学校創立以来、見守ってくれた大ケヤキを大切に後輩に引き継ぎたい。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
樹勢回復 1本	136人	136人
樹種：ケヤキ		
実施場所：鹿児島県南九州市川辺町		



ケヤキの樹勢回復作業

国 際 協 力

日本ーラオス友好の森展示林造成事業

日本山岳会「高尾の森づくりの会」

埼玉県川口市青木

●事業概要

目的は、森林の減少・劣化が危惧されるラオスにおいて、森林の管理手法を検証するためのモデル林を造成するものであり、主な活動は、友好の森の造成・展示、植樹など、間伐展示林の造成である。

●事業成果

- ・農業技術サービスセンター（ATC）所管の森林を対象に、展示林の造成を行った。
- ・植樹祭と、中高校生を対象に森林講座を行うなど交流を深めた。
- ・間伐の標準地内でデモンストレーションを行った。

●自己評価

- ・計画どおり植樹、間伐を実施することができた。
- ・間伐は、ラオスで初めての試みであり、ラオス大学林学部の学生の実習も兼ねて実施した。
- ・今後、大学と共同で間伐の効果を検証し、熱帯地域の森林管理の参考データを得ることが期待される。

●参加者の声

- ・郷土の樹種をたくさん植えたので、将来が楽しみだ。（植樹祭参加者）
- ・間伐内容をもっと拡充して欲しい。（学生）

実績とりまとめ表

作業内容					参加者数		
植付面積	本数	地拵面積	下刈面積	間伐面積	日本	ラオス	計
2.5ha	2777本	2.5ha	17.5ha	2.0ha	112人	878人	990人
樹種：メンガ、シタン、アビトン、チーク、マホガニーほか							
実施場所：ラオス・ビエンチャン県							



メンガ、シタンなどを植樹

ヒマラヤ山岳村落周辺自然林再生活動

(特非)ヒマラヤン・グリーン・クラブ

大津市北大路

●事業概要

目的は、寒冷で乾燥した山岳地帯の集落周辺において、燃料用として伐採、破壊された森林を再生するものであり、主な活動は、①河川敷の植林事業の支援（井戸掘りなど）と緑化樹、果樹などの植林、②奥地村民による緑化樹育苗と自主植林、③後継者育成のための高等教育校でのグリーンクラブ結成である。

●事業成果

- ①左岸森林事務所直轄地では、2基目の井戸揚水が稼働して林地が緑に覆われていた。
- ②ブラルド川流域奥の植林地では、育苗圃の挿し木苗が成長し、来年から近隣各村への苗木配布ができる。
- ③スカルド市内の高等教育校8校でグリーンクラブが結成され活動を始めた。

●自己評価

- ・共有地の育成管理は良くないが、個人所有地での生育は極めて良好である。
- ・これまで、水管理不備により多くの若木を失ってきたが、自主植林が定着してきたので、自主管理できる組織・個人の植樹を支援していく。

●参加者の声

- ・学生が植林に関心を持ち、緑化を進めるよう望んでいる。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	パキスタン	計
0.83ha	6180本	3人	120人	123人
樹種：ポプラ、オリーブ、アカシア、マツ				
実施場所：パキスタン・ギルギット、バルチスタン行政区、スカルド市内と周辺とブラルド川流域など9カ所				



ポプラ、オリーブなどを植樹

長江上流域植林協力事業

(特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

支坪鎮は、長江本流の南岸部に位置し、住民の92%が農業に従事している。2010年からは、長江及び主要支流を緑化で守るために、重慶市が推進する国家プロジェクト「緑化長江・重慶行動計画」に沿って、地球緑化センター及び協力企業、地元政府が連携し、植林活動を進めている。今年度は、日本からの植林ボランティア、植林協力企業の現地従業員、大学生と住民の参加する植林活動を実施した。

●事業成果

今年度は5haにユーカリ、青脆李（スモモの一種）、クスノキの植林と作業道の整備をした。日本からのボランティアと共に、協力企業の従業員や住民が植林活動をすることで、環境意識を高める機会となっている。重慶市江津区農業総合開発弁公室が、植林後も管理を行っているため、苗木の生育状況も良好である。

●自己評価

参加者たちは、植林作業の他にも、これまでの植林の成果として、たわわに実ったミカン畑を見学し、収穫したミカンを試食したが、保安と収入の両方を兼ね備えた樹種を植林することが、住民の理解と協力を得やすいと考える。今後も、活動を実施することで、環境緑化の推進と、日中の市民一人ひとりの環境意識の向上につなげていきたい。

●参加者の声

- ・日頃知ることのなかった農村の様子を見、そこで作業したことで、この土地を守りたいという気持ちになった。
(中国・協力企業社員)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	作業道整備	現地	ツアー参加者	計
5ha	5000本	2000m	100人	26人	126人
樹種：ユーカリ、青脆李、クスノキ					
実施場所：中国・重慶市江津区					



ユーカリ、クスノキなどを植樹

地球温暖化防止と 日中友好の森づくり事業

(特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

目的は、中国の砂漠化地域において、協力企業の社員や地域住民ボランティアが参加する植林活動を行い、地域の緑化と地球温暖化の防止に資するものである。

主な活動は、協力企業植林ツアー参加者と、現地林業局による障子松の植林作業である。

●事業成果

- ・土の付いた大苗の植林で活着率を高めた。
- ・第2期7年目となるが、1年目に植林した苗木は、人の背丈ほどになっている。

●自己評価

- ・緊急の課題である地球温暖化対策について、中国の砂漠化地域の植林活動を継続することができた。
- ・日中交流、相互理解をより一層深め、日中友好の森づくりをさらに発展させていくことができた。

●参加者の声

- ・植林や、バケツリレーでの水やりは想像以上に重労働だった。国境を越え、汗を流し協力しあえたので楽しかった。
- ・20年前は全くの砂地だった所が、かなり緑に覆われていて驚いた。植えた苗木も大きく育って欲しい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
0.7ha	500本	19人	120人	139人
樹種：障子松				
実施場所：中国・内モンゴルエジンホ口旗				



マツを植樹

地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業 (マリ共和国)

(特非) サヘルの森

東京都町田市原町田

●事業概要

目的は、荒廃・衰退しているサヘル地域の「里山」において、有用な生活資源である樹木・樹林の再生、回復であり、小規模に生産を行っている「地域苗畑」を支援しながら、購入した様々な樹林を育成した。具体的な活動は、①村の住民への苗木配布、②荒廃地の植生回復のために、アリ塚植林試験、③家畜から苗木を守る強固な生垣モデルの育成、④地域苗畑主の技術向上のための研修、⑤有用樹の試験植栽である。

●事業成果

多くの村人が苗木を育てる機会を得て、しっかり育てることにより、自給自足の助けになる。また、荒廃地試験植林地、生垣のモデル、有用樹の植栽などは、今後の研修時に見本林として役立てることができる。

●自己評価

10か所ほどの小さな地域苗畑の苗木生産状況を事前に把握できたので、比較的速やかに苗木の入手ができ、苗木配布も進んだ。学校植林では要望に応じて苗木を提供したが、植栽するまでの調整に時間がかかった (マッサコ小学校)。地域苗畑主同士の研修は、技術交流が実施でき、効果も期待できるので今後も進めていきたい。

●参加者の声

・植えたユーカリが活着した。もっとたくさんの苗木が欲しい。(カッソーマ村・男性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
植付本数	マリ
2万1282本	7000人
樹種：ユーカリ、バオバブ	
実施場所：マリ・クリコロ州	



70村に2万1000本の苗木を配布、植樹

タイ国南部津波被災地におけるマングローブ植林活動(フェーズ2)

(特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

スマトラ島沖地震に伴う津波により、人的被害のみならず自然環境も大きな被害を受けたタイ国南部バンガ県トゥンラック村において、地域住民グループと協働で植林活動を実施した。主な活動は以下の通りである。

- ①地域住民グループと協働した植林活動及び植林地の観察・パトロールの実施
- ②マングローブ・ラーニング・センターにおける学習用展示資料の改善
- ③小学生を対象とした環境保全ワークショップ開催

●事業成果

地域住民グループと協働で事業対象地 (5ha) において、マングローブ林の保全をめざした植林活動を実施した。また、グループメンバーによるマングローブ林のパトロール活動や、メンバーが運営するマングローブ・ラーニング・センターに学習用展示資料を整備した。また、地元小学校においてワークショップに参加した小学生は、海へのゴミの投棄が環境に与える影響について気付いた。

●自己評価

センター修繕が屋根や壁を含む大規模なものとなり、本事業年度内に完了しなかったため、完了まではリーダー宅で展示資料を管理することとした。修繕完了後にフォローアップすることとする。

●参加者の声

・マングローブ林の保全地域を増やしたい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	タイ	計
5ha	(種子)1万9500個	1人	21人	22人
樹種：ニッパヤシ、ヒルギ科植物				
実施場所：タイ・バンガ県				



汽水域でのニッパヤシ (種子) の植樹

フィリピン国レイテ島北西部の 台風被災地における地域復興を 目指した植林事業

(特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

本事業は2013年の巨大台風で壊滅的な被害を受けた同地域の中でも、被害後の復興支援が十分に行き届いていない島北西部において、植林を通して今後の災害に対する耐性を強化するため、現地大学及び住民・農家と協働で植林活動を行い、現地住民の森林保全に対する意識を高めつつ、地域の復興への寄与をめざした。主な活動は次の通りである。

①森林保全に係るワークショップの開催、②植林活動の実施（果樹を含めた現地固有樹）、③森林保全の重要性に係るパンフレットの作成・配布。

●事業成果

活動には、多くの現地住民・学生らが意欲的に参加し、アンケート調査の結果からも環境問題や緑化活動の必要性に対して高い理解を示した。本活動を通し、多くの現地住民の環境・森林保全に関する意識を高められたと評価できる。

●自己評価

台風により大被害を受けたココヤシを植林する予定であったが、ココヤシの苗木を調達することができなかったため、一部を変更して、現地固有樹種を植林した。今後は、現地住民による自立した植林地管理が期待される。

●参加者の声

- ・植林活動のような環境保全活動を行って頂きありがたい。（現地住民・農家）

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	フィリピン	計
6.4ha	9280本	4人	47人	51人
樹種：シクンシ科、ヤカール、トーチ、ダオ				
実施場所：フィリピン・レイテ州ヴィラバ町カグノコット村				



現地住民や学生との現地固有樹種の植樹

平成26年度緑の国際ボランティア 研修（フィリピン国）

(特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

国際緑化活動に対する重要性と緑の羽根募金の役割への理解を深めることをめざし、フィリピン国レイテ島及びボホール島において「緑の国際ボランティア研修」を実施した。主な活動は以下の通りである。

①広報活動、②研修準備、③研修の実施（研修員10名は現地の大学生と共に10日間にわたり、植林地の視察や植林活動を行い、国際会議で発表した。）

●事業成果

研修員は、緑の募金事業による植林地や現地大学が住民との協働で植林しているレインフォレストेशन事業地の訪問、植林活動、現地大学教授による現地の森林環境の実態やハイエン台風による被害に関する講義、育苗施設における研究地の視察などによって得た知見を国際会議で発表した。また、研修員は、現地における森林伐採や農村環境の実態、国際環境協力活動の必要性、緑の募金の役割に関して理解を深めた。

●自己評価

セブ、レイテ、ボホール島間のポートでの移動で日程や時間調整が難しかったので、今後は研修員の体調にも余裕ができるスケジュールを組んでいく必要がある。

●参加者の声

- ・環境保全に関わる仕事につきたいという気持ちが強まった。
- ・緑の募金が何に使われているのかを知った。教員として子どもたちに伝えたい。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
植付本数	日本	フィリピン	計
84本	26人	34人	60人
樹種：Dipterocarpaceae（フタバガキ科）、Molaveほか			
実施場所：フィリピン・レイテ州、ボホール州			



現地大学生といっしょに植樹

インドネシア 森林と水保全のための 学校地域連携プロジェクト

(公財) オイスカ

東京都杉並区和泉

●事業概要

目的は、乾季の水不足や雨季の大洪水といった深刻な問題を抱える地域において、住民の水環境保全に関する知識や技術を高め、持続的に行動できる体制を構築することであり、主な活動は、学校での植林活動、環境教育、啓発活動である。

●事業成果

- ・児童生徒、地域住民の協力により、校庭と地域に植林した。
- ・環境教育の一環で、有機農業や堆肥作り、マングローブの植林を行った。
- ・小学校では、雨水貯水設備を設置し、育林だけでなく生活用水としても重宝されている。
- ・3月は、「国際森林デー」と「世界水の日」の記念行事としてエコキャンプを開催した。

●自己評価

- ・植林目標は達成したが、深刻な乾燥期が長く続き、生存率は7割程度にとどまった。
- ・貯水タンクを設置した学校では、乾季でも散水でき、殆どどの苗木が枯れずに生育している。

●参加者の声

- ・学校環境が良くなり、生徒達にも自然と環境を愛する意識が育まれてきている。(中学校校長)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	樹勢回復	インドネシア	計
0.51ha	1503本	1000本	616人	616人
樹種：マホガニーほか				
実施場所：インドネシア・東ジャワ州マドゥラ島スメネブ県、バマカサン県				



郷土樹種や果樹を中心に植樹

ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃林地の造林事業

(特非) むさしの・多摩・ハバロフスク協会

東京都武蔵野市吉祥寺東町

●事業概要

目的は、過去の大規模な伐採や雷・人災による山火事や洪水などにより危機を迎えている地域において、地球温暖化防止のために、チョウセンゴヨウの植林、環境教育を行ったものである。

- ・主な活動は、①ナナイ地区、クトーゾフカ地区での植栽。
- ②ロシア太平洋国立大学と共催の環境セミナー、③同大学学生とともにハバロフスク市内での記念植樹である。

●事業成果

- ・馬の放牧による除草、馬糞の肥料化などユニークな試みも行われている。
- ・環境セミナーに合わせて、植樹も行ったことは学生から評価された。

●自己評価

- ・ナナイ地区では、降雪・積雪の中での植林となり、大変だった。
- ・クトーゾフカ地区では40人近くの子どもたちが、手伝ってくれた。
- ・ハバロフスク市内の植樹では、大学生15人が参加してくれ、無事に終了した。

●参加者の声

- ・ハバロフスクでも環境汚染が問題であり、世界各国で協力する必要がある。

3. 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	ロシア	計
2.16ha	4550本	45人	150人	195人
樹種：チョウセンゴヨウ、ダウリアカラマツ				
実施場所：ロシア・ハバロフスク地方				



ハバロフスク市内で記念植樹

モンゴル森林火災被災地再生事業

(特非) GNC Japan

東京都港区南青山

●事業概要

目的は、モンゴルの森林火災被災地において、両国のボランティア共同による植林で豊かな生態系を持つ森林を復元するものである。

主な活動は、①植林と家畜被害防護フェンスの設置、②保育管理、③森林火災防止パトロールなどである。

●事業成果

- ・両国のボランティアによる植林により両国の友好を確認できた。
- ・土壌は砂壤土で腐食が比較的少なく、イネ・キク科の下層植生が優先しているため、早期の植生回復が期待される。
- ・モニタリング調査結果から、樹高は、アカマツ樹齢5年で52cm、10年で266cmにも成長することが明らかになった。

●自己評価

- ・山引き苗による大苗植林に切り替え順調に生育している。
- ・当面の新規植林地は、家畜の食害が心配される場所ではなく、直近の森林火災跡地を重点的に実施する。
- ・樹齢10年以内の間伐が必要と考えている。

●参加者の声

- ・木がない場所が、森のようになっている。
- ・日本の人々がモンゴルのために活動していることに感謝している。(モンゴル・大学生・女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	モンゴル	計
4ha	1万100本	7人	23人	30人
樹種：ヨーロッパアカマツ				
実施場所：モンゴル・セレンゲ県アルタンボラグ村				



ヨーロッパアカマツの植樹

チャウカン・コミュニティ・フォレスト造成事業

(公財) 国際緑化推進センター

東京都文京区後楽

●事業概要

目的は、熱帯林を中心とした森林の減少・劣化が進む中で、半乾燥地域において、森林の造成を図るものであり、主な活動は、ユーカリなどの植栽である。

●事業成果

- ・厳しい気候条件、過放牧や伐採などによる森林減少・劣化が深刻な地域の緑化を支援できた。
- ・復旧が必要な面積は30万ha程度ある中で、本事業でカバーできる面積ではないが、住民への啓発になった。

●自己評価

- ・ほぼ計画通り実施し、苗木も順調に育っている。

●参加者の声

- ・乾燥地での植林の難しさを実感するとともに、緑化の意義を理解した。
- ・持続的に林産物を得られるように管理を徹底したい。(参加者)

実績とりまとめ表

作業内容(見込)		参加者数	
植付面積	植付本数	ミャンマー	計
15ha	1万250本	33人	33人
樹種：ユーカリ、ビルマチークなど			
実施場所：ミャンマー・マンダレー管区チャウカン村			



ユーカリ、アカシア類などを植樹

中国内モンゴルにおける子ども植林 及び環境教育普及事業2014

(特非) 子ども文化ステーション

さいたま市北区日進町

●事業概要

目的は、中国内モンゴル自治区呼和浩特市における子ども植林・環境教育を通じて、環境保全意識の醸成、砂漠化に歯止めをかける契機とするものである。

内容は、①子ども植林は、思徳幼稚園の親子などの参加で自分たちの手で苗木を植えた。②子ども環境教育は、思徳幼稚園会場に、子どもたちが地球環境と植林の話聞いて、植林・環境保全をテーマに絵や感想文を書いた。

●事業成果

多くの参加者による植林で、砂漠化防止に貢献し、発生する黄砂の下で子どもたちなどが、地球環境について考え交流・植林できたことは大きな成果となった。

●自己評価

予定より多い425人の参加で計画通り植林ができ、約300人の子どもたちに対する環境教育では、多くの絵や感想文が集まった。

●参加者の声

- ・緑いっぱい環境をつくりたい。
- ・早く育って世界の緑が多くなるといい。
- ・黄砂をなくすように木を植えた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
0.33ha	400本	5人	420人	425人
樹種：雲杉				
実施場所：中国・内モンゴル自治区呼和浩特市				



雲杉の植樹

育林思想普及のための学校林植林 と環境セミナー開催 (第2次)

(特非) 観照ボランティア協会

千葉県我孫子市湖北台

●事業概要

目的は、学童を対象に、環境保全意識の向上と植林技術の移転を図るものであり、主な活動は次のとおりである。

- ①環境教育セミナーの開催：自然環境の適切な管理による資源枯渇防止について実習指導した。
- ②植林ワークショップの開催：カラマンシー、ニームを植えるとともに、参加者にニーム苗木を贈り、自宅周辺に植えるよう指導した。

●事業成果

- ・学童、教師、父母、住民の参加により、実り多いセミナーとなった。
- ・ニーム、カラマンシーの有用樹を学校周辺の裸地に植栽し、植えた苗木は継続的に学童が育成している。
- ・学童や教師は、本格的な環境教育が初めての経験であり、皆、目を輝かせていた。

●自己評価

- ・児童は植えた苗木を大切に育てると喜んでいて。
- ・この試みは、粘り強い実施が重要である。

●参加者の声

- ・協会が作成したタガログ語教材は貴重なもので、学校教材として使いたい。(教師)
- ・自宅周辺に植えて、大事に育てる。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	フィリピン	計
0.3ha	350本	0.3ha	200人	200人
樹種：ニーム、カラマンシー				
実施場所：フィリピン・ケソン州、SPA小学校敷地				



環境セミナー、植林ワークショップ

中国・内モンゴル・飛沙、 沙漠化防止緑化活動

(特非) 黄河流域に植林の会

千葉県大網白里市季美の森南

●事業概要

目的は、砂漠化が進む地域において、黄砂発生源の緑化、流動砂丘からの居住・農地の保護などのため、植樹活動を行うものである。

主な活動は、①沙漠流砂防止の植林活動、②換金作物の作付、③協働植林を通じた環境・産業学習である。

●事業成果

- ・植林開始3～4で年一帯が緑化され飛沙が極端に減少している。
- ・作付3年目で本来の目的であった寄生キノコを宿すまできになり、今後の成長が楽しみになった。
- ・数年後には加工工場への出荷も見込まれる。

●自己評価

- ・植林開始1～2年目は、費用の不足から灌水作業が思うようにできず活着率が60%程度だったが、3年目以降は灌水により95%にまでなった。
- ・植林地の井戸が認可制となり、手続きに数ヶ月かかるため、井戸水の確保が今後の課題となるかもしれない。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
15ha	3200本	97人	72人	169人
樹種：ポプラ				
実施場所：中国・内モンゴル自治区				



ポプラの植樹

フィリピン国ケソン州ラモン湾の 養殖放棄池に対するマングローブ 植林

フォスター・フォレスト・クラブ

東京都国分寺市東元町

●事業概要

目的は、古くから魚類の養殖が行われ、マングローブ林の伐採、養殖池の放棄が発生している地域において、マングローブの植林により、豊かな漁業資源の復活と、防災機能の確保を図るものである。本事業では、現地のNGO、CMPAと共同でマングローブの植林を実施した。

●事業成果

台風や高潮からの集落保全、魚類の産卵や稚魚の生育場所の確保の観点から、オオバヒルギの造林地を造成した。

●自己評価

- ・集落が台風や高潮から守られる防災機能が高まることが期待される。
- ・今回の住民参加により、残された養殖池放棄地での住民自身の植林活動が期待される。

●参加者の声

- ・養殖池は放棄されてからしばらく経つが、植林されて良かった。(地元住民)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	フィリピン	計
5ha	2万2500本	1人	15人	16人
樹種：オオバヒルギ				
実施場所：フィリピン・ケソン州ラモン湾バランガイ・カバルハン地区				



ラモン湾でのマングローブ植林地

乾燥・火山灰土壌におけるクラゲチップ及び生分解プラスチックポットの活用による水源涵養林の整備

(特非) アジア植林友好協会

東京都西東京市田無町

●事業概要

目的は、165年前に火山爆発で失われた森林に、隣接する湖において、水位が2mも低下したことから、水源涵養林の機能回復を図ることである。

現場は、火山灰と火山礫、溶岩の混じった厳しい環境であることから植穴の掘削・客土及び有機堆肥の投入をしながら植林している。

●事業成果

植林が極めて困難な条件下における継続的活動によって、地元民が植林の大切さを理解してきた。

クラゲチップによる乾燥対策にも強い関心が示され、この成果に対して、中央政府からも視察にきている。

●自己評価

- ・2007年以降の累計植林本数合計は7万1500本となった。
- ・クラゲチップの効果に対するフォローが不十分だったが、現地調査の結果、初期に比べて2年目以降は費用対効果が低く実用性に乏しいことが分かった。バイオポット(澱粉を主原料としたポット)は、活着率の向上に役立ちごみを出さず極めて有効性である。

●参加者の声

- ・溶岩と火山灰の荒廃地に樹木が育つ姿を見て、植林活動の大切さを実感した。
- ・参加者が自主的に行動し、大変協力的になっている。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	インドネシア
13ha	8200本	905人
樹種：アンプブ、メリナ、スアル、プリンギ、ソノクリン		
実施場所：インドネシア・バンリ県ペネロカン村		



荒廃地での植樹

カンボジア世界遺産プレアビヒア寺院周辺地区での森林教育と植林活動

(特非) アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

東京都杉並区成田東

●事業概要

目的は、遺跡の価値を支える森林の回復・保全であり、住民が自主的に植林などの活動を行える基盤を作るものである。

主な活動は、小学生・中学生を含む地域住民が自宅周辺に植林できるよう「花の咲く木」、「実のなる木」を配布などを行った。

●事業成果

- ・パイロット公園として開発している「エコパーク」は、花々が咲き乱れ、この地域では異彩を放つ公園となった。
- ・植林活動を契機に、地元住民に配布した苗木が自宅周辺に植林され、将来花や実をつけることが期待される。

●自己評価

- ・着実に「花の咲く木」「実のなる木」が増えている。
- ・地域住民も高い関心を示し、配布用の苗木を多く持ち帰るようになった。
- ・しかし、活着率は未だ十分ではないことから、持ち帰った苗木の管理が課題である。

●参加者の声

- ・エコパークに立寄るのが楽しみだ。
- ・協会が植林した木を育てるのを手伝いたい。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	日本	カンボジア	計
3.5ha	2550本	550本	3.5ha	68人	490人	558人
実施場所：カンボジア						



エコパークの整備

フィリピン国ボホールにおける持続可能な発展を目指した植林活動の推進（フェーズ3）

（特非）環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

●事業概要

目的は、フィリピン国ボホール州南西部の住民が中心となった植林活動を推進し、荒廃地や傾斜畑などにおける土壌侵食の緩和をめざすものである。本年度では、次の活動を実施した。

①植林活動の実施、②環境保全ワークショップの開催、③アンケート調査の実施、④植林実施地のモニタリング

●事業成果

ボホール州ルーン町は2013年8月に大地震の被害を受け、依然として多くの傷跡が残っている。植林活動は、ティウイ村の地震により地割れが発生した丘陵地で実施し、土砂災害対策をめざした。また、バスダク村の土壌侵食の著しい傾斜地においても植林を実施し、元々の生態系の豊かな森林に再生させることをめざした。活動には、現地の多くの住民及び学生が積極的に参加し、参加者の緑化活動や環境保全の重要性に関する理解を深めることができた。

●自己評価

植林のほか、ワークショップ、パンフレットの配布、アンケートによる調査、モニタリングを実施した。今後は、地震の影響で表層地盤が脆弱になっている地域において、継続的な植林活動を行っていく必要がある。

●参加者の声

・植林などの環境保全活動はとても素晴らしい（現地学生）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	フィリピン	計
8.00 ha	9600本	0.4 ha	20人	80人	100人
樹種：メリナ、モラベ、カカオ、ホルトノキ科、クスノキ科など					
実施場所：フィリピン・ボホール州					



現地住民や学生と地震被害地での植樹

霊武市日中友好防風固砂モデル林

（一社）国際善隣協会

東京都港区新橋

●事業概要

目的は、周囲の山地に住む貧困層の移住先となる地域において、ヒツジ飼育に必要なクワの植栽などを行い、砂漠の緑化と住民生活の確立に資することである。

事業内容は、クワなどの植林のほか、付近の移住者へのクワ苗の配布、普及・指導である。

●事業成果

クワ苗の配布や、植林指導のほか、井戸4ヶ所の増設によって、100haの土地に灌水可能となった。有機肥料（羊糞）の施肥も実施した。

●自己評価

・クワ苗も予定どおりに入手し、順調に植林した。
・5年で林を形成し、将来に希望を持てることとなった。

●参加者の声

行政機関からもその成果が重視され、多くの関係者の視察があった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	中国
10ha	22万7400本	30人
樹種：クワ、ニレ、ニセアカシアなど		
実施場所：中国・寧夏回族自治区霊武市		



クワ、ニレ、ニセアカシアなどを植樹

モンゴル国中央県植林事業

(特非) GNC Japan

東京都港区南青山

●事業概要

目的は、用材・薪材採取、放牧による森林荒廃が顕著な地域において、森林を再生することであり、行政、住民、遊牧民が協力して在来アカマツ小苗などの植林と家畜食害防止柵の設置を行った。

●事業成果

- ①森林の天然更新が主な阻害要因である林内放牧を防止するため、遊牧民と調整を図った。
- ②遊牧民に植林してもらい、環境意識を高めることができた。
- ③柵の設置によって、家畜が進入せず、良好な生長が期待される。
- ④参加者の植林気運が高まり、別の場所でも植林を望む声が上がった。

●自己評価

- ・林縁部は、切り株が残存し機械が入れないため、殆んど手作業となったが手作業による工夫も生まれた。
- ・募集の際、子どもが参加する家族を優先的にすべきだった。また、村役場の掲示版への張り出しや小中学校と直接話し合いが必要だった。

●参加者の声

- ・いい経験ができて大変うれしい。植えた苗が大きく育てほしい。(40代主婦)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	モンゴル	計
1.38ha	3108本	45人	45人
樹種：ヨーロッパアカマツ、ムレスズメ、ノニレ			
実施場所：モンゴル・中央県ジャルガント村			



家畜食害防止柵をつくり植樹

中国・河北省豊寧県砂漠植林「緑のダムづくり」

(特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

●事業概要

目的は、北京の水源地帯のひとつであり、北京への風砂(風と砂)の通り道となっている地域において、首都圏の水源地を守り、黄砂の発生を抑えることである。

現地林業局が進める「緑のダムづくり計画」(全体計画300ha)に沿って、現地林業局と連携し、植林を実施した。

●事業成果

10月には、日本からの植林ボランティア、中国の大学生による植林団が、現地住民と共に植林作業を実施した。

現地側との連携継続によって、植林後の維持管理を確実に行うことができ、苗木の生育状況は良好である。

●自己評価

- ・現地林業局との連携により、着実に事業を進めた。
- ・参加者たちは、植林作業のほか、植林の成果を見学したり、砂漠化の現状や緑化の意義、現地の緑化事業について学んだ。
- ・今後も、緑化の推進とともに、日中市民の環境意識の向上にもつなげたい。

●参加者の声

- ・想像よりもはるかに緑が多く驚いた。
- ・継続的な努力が実を結んでいることが分かった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	歩道整備	日本	中国	計
4ha	3400本	1280m	30人	120人	150人
樹種：油松					
実施場所：中国・河北省豊寧県					



油マツの植樹

徳勝城地域における沙丘からの流沙防止のための植林3

(特非) 日本沙漠緑化実践協会

東京都千代田区外神田

●事業概要

目的は、現地住民の耕作地（馬鈴薯）への沙丘からの流沙防止保護林の造成である。

内容は、①4月上旬に苗木手配、②植付け用の穴掘り及び苗木の運搬（植林3年目の今年は、植林地がかなり道路より奥になるため、車が入れず人の背での苗木運び）、③4月中旬～下旬にポプラ、灌木（寧条）植付け、④5月初旬にポプラの補植300本及び灌水作業を行った。

●事業成果

3年連続で植林してきた結果、あと2年もすれば、耕作地西側は防風、流沙防止の保護林として、十分にその役割を果たしてくれる。その結果耕作地の面積減少を防ぎ、さらには拡大へとつながっていく。

●自己評価

沙漠緑化の一環として、耕作地への流動沙丘の防止にある程度貢献できたと自負している。

しかしながら、現地の過疎地の若者は都会へと去り、老人家族だけの農業に従事している傾向にある。農業従事者がこの先減少していけば、せっかく拡大した農地も放置され、また元の沙漠に戻ってしまう恐れがある。今後の課題として、非常に難しい問題である。

●参加者の声

耕作地への砂の流入が減り、作業効率が良くなり収穫も増えた。住民の多くは、植林の継続を望んでいる。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	日本	中国	計
6ha	1万4400本	300本	5人	13人	18人
樹種：ポプラ・寧条					
実施場所：中国・内モンゴル自治区クブチ沙漠徳勝城村地域					



ポプラなどを植樹

ブルキナファソ国コングシ郡におけるバム湖周辺地に対する生活改善のための植林プロジェクト

(特非) 緑のサヘル

東京都千代田区神田紺屋町

●事業概要

目的は、植生の劣化が著しい地域における生活環境を改善することであり、コンディビト村、クルペレ村、バディノゴ村のうち、バム湖岸沿いの土地にユーカリとマンゴアの植栽、コンディビト村に貯水槽1基の建設を行った。

●事業成果

各村の希望者がユーカリ6000本、マンゴー300本の植栽・管理には、家族や友人も参加しており、多数の住民を巻き込んだ取り組みになっている。

●自己評価

計画通りに実施されたが、2015年の極端な降雨の遅れにより、サイトによっては水やりが困難になり、成育率が低迷した。

コンディビト村の貯水槽は、使用を開始して数か月後には側面に亀裂が生じたことから、補修・移築を検討する必要がある。

●参加者の声

3村の植林希望者のモチベーションは高く、熱心に取り組んでいる。

しかし、2015年の降雨の遅れにより穀物栽培との兼ね合いで、例年と比べ農作業に気を取られがちであった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	ブルキナファソ
9.3ha	6300本	349人
樹種：ユーカリ、マンゴー		
実施場所：ブルキナファソ・バム県		



ユーカリ、マンゴーを植樹

インド国ビタカニカ湿地の沿岸環境再生にむけた住民参加型植林と持続可能な開発のための環境教育の推進

ラムサールセンター

東京都大田区南久が原

●事業概要

目的は、人口圧などによってマングローブ林の縮小や生物多様性が失われている地域において、植林によって沿岸環境を再生するものである。

主な活動は、①地元の学校内に設置した環境教育センター（CEAE）10カ所を拠点にした住民参加によるマングローブ植林、②CEAE設置校の生徒による校域での植林、③CEAEを通じた普及啓発活動・研修である。

●事業成果

- ・学校と寺院の42か所に計3万本、河口域に土壌侵食防止のための2万5000本のマングローブの植林を行った。
- ・生徒に対する育苗研修、ワークショップを開催した。
- ・ニュースレターの発行、イベントにおける普及啓発を行った。
- ・拠点学校の生徒が森林の役割について学んだ。

●自己評価

- ・当初計画を概ね実施した。
- ・今後、カウンターパートナーの現地NGOとともに、生育状況、住民参加の取り組みをモニタリングしていく。

●参加者の声

- ・熱波から人々や家畜を守る唯一の方法は、村に森を創ることだ。（生徒）
- ・木は私たちにきれいな空気と水を与えてくれる。（農家）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	インド
19.6ha	5万5000本	19.6ha	875人
実施場所：インド・オリッサ州ケンドラパラ県			



児童が植えた樹木

セレゲレン苗木生産センターの設立

(特非) エコアライアンス21

東京都世田谷区上祖師谷

●事業概要

目的は、過放牧による砂漠化などが進む地域において、住民の自主的な行動を促すための苗木の供給体制を作るものである。

主な活動は、①苗木生産センターの外周に家畜害防止のための柵設置、②用地外周にポプラの植樹、③耕起作業による苗床の整備、④低灌木苗の採取、ニレ・モミ幼木の移植である。

●事業成果

- ・苗木生産センター整備により、日本国内ボランティアの意識が大きく変化した。
- ・モンゴル側（モンゴル農業開発協会）も苗木栽培の意味などを理解してきた。

●自己評価

- ・苗木生産センターは80%程度の完成度となり、次年度以降、本格的な苗木生産活動が可能となった。
- ・用地内に井戸を掘削したが、冬と春に配水パイプの撤去・再整備をする形態のため、非効率となるおそれもある。

●参加者の声

- ・活動のベースができ、継続的な活動がやりやすい。（60才代女性）

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	モンゴル	計
1.3ha	590本	1.4ha	11人	11人	22人
樹種：ポプラ、ニレ、モミ					
実施場所：モンゴル・中央省セレゲレン市					



ポプラの植樹

タイ北部チェンライ県森林再生プロジェクト

(公財) オイスカ

東京都杉並区和泉

●事業概要

目的は、無計画な焼畑などによって森林の減少が著しく、土砂崩れや洪水を引き起こす原因となっているタイ北部において、緑化のみならず、地域環境の保全、災害防止、生物多様性の維持などのモデル地域作りを行うものである。

主な活動は、植付、下刈り、セミナーなどによる普及啓発である。

●事業成果

- ・はげ山となっていた地域に植林を行い、順調に生育している。
- ・現時点の生存率は80～90%である。
- ・2013年に山火事が発生した地域なので、防火帯（幅8m）の設置や、山火事対策講習を行い、山火事を防いでいる。
- ・地域住民が、森への誇りを持ち始めている。

●自己評価

- ・木々の成長が順調である。
- ・住民意識が変わりつつあり、また、子どもたちに対する啓発も実施できているなど成果が出ている。

●参加者の声

- ・森の再生によってタケノコや山菜など、たくさんの恵みを得られるようになった。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	タイ
7ha	9000本	7ha	865人
樹種：チーク、マホガニーほか			
実施場所：タイ・チェンライ県チェンコン郡			



チーク、マホガニーなどを植樹

モバ小学校に学校林の造成

(特非) カラ=西アフリカ農村自立協力会

東京都武蔵野市吉祥寺東町

●事業概要

目的は、滅びゆく自然を回復し、環境の悪化から引き起こされる健康への悪影響を防ぎ、感染症、気管支炎やその他の呼吸器疾患を減少させることである。

本事業では、専門家による環境学習、モバ小学校の1ha学校林の造成などを行い、将来個人的に居住地に植栽を行い、自然を大事にする意識が備わるようにする。

●事業成果

事業開始が雨期の7月のため、その後育てた苗は9月の植栽には間に合わなかったり、学校が夏季休暇中で農繁期のため、住人は農作業で多忙だった。

できるだけ学童を集め実施したが、全校生徒への学習は不可能となり、他の村から参加した植栽に興味を持つ中学生や成人が小学生と共に育苗、植栽を学んだ。

学校側から非常に感謝され、小学生は、自然環境の役割や重要性を知ることができた。

●自己評価

9月に植栽したが、井戸設置が遅れ、乾期の水やりが不十分だったことから、苗木の半分以上が枯れたことから、6月に補植した。

苗木生産学習によって、今後に期待できる。

●参加者の声

子ども達の健康や学校経費が得られる果樹などの選択が喜ばれ、モバ小学校から感謝された。

近郊の村からの要請が出ているほか、本事業を真似て育苗をする村人がみられた。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	樹勢回復	マリ
2ha	836本	360本	231人
植栽樹種：カリテ、ニエレ、カイセドラ、ユーカリ、ほか			
実施場所：マリ			



カリテ、ユーカリなどを植樹

モンゴルゴビ植生樹林再生・砂漠緑化実験プロジェクト

東アジア環境協働行動よこはま

神奈川県横須賀市秋谷

●事業概要

目的は、砂漠化が最も進行している地域において、元々あった自生樹林を再生するため、村・地域をあげた取り組みを行うものである。

●事業成果

- ・牧草、野菜、果樹の栽培から利益を出し、育林経費を賄う自立経営化(助成卒業)では、さらに大きな育林成果を示した。
- ・自立に向けて取り組み中の地域でも、育林地の拡充が図られた。
- ・塩害で遅れていた地域でも、先行地の見学などが行われた。

●自己評価

- ・自立経営化へ向けて取り組みが進んでいる。
- ・合同会議の確認文書、年次計画書が翻訳されていないなどモンゴル国内側の問題がある。
- ・木の育ち具合などの調査は村内に人を得ないとできない。

●参加者の声

- ・プロジェクトは村当局からも感謝されている。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
新育林地造成	植付面積	植付本数	育苗	モンゴル	計
0.5ha	1.9ha	1331本	2000本	330人	330人
樹種：ニレ、ジグド、チャツアラガン、ウフリーヌほか					
実施場所：モンゴル					



各育林地の生育状況のチェック

ダグマ山系ラムダラグ村生態系保全のための森林農業推進事業(2年目)

(特非) ビラーンの医療と自立を支える会

横浜市青葉区鴨志田町

●事業概要

目的は、熱帯林の修復、耕地化が進む山腹斜面の土壌流出防止、下流域の氾濫防止などである。

在来種約3000本のほか、チボリ民族30世帯の各1haに、ゴム、コーヒーを植栽するとともに、環境保全の意義、持続可能な森林農業技術に関する研修などを実施した。

●事業成果

植栽後半年のゴムは成長し、終盤に実施のタラヒク村の事例見学効果もあって、近い将来の収入向上への期待が確信に変わり、近隣住民を含めて、焼畑などの熱帯林破壊に手を染める事例は聞かなくなった。

●自己評価

予定通り終了したが、干ばつの影響で植栽間もないゴム苗に枯死寸前のもを見受けられることから、品不足気味の苗の注文、購入時期を一層早める必要がある。

在来種は、急斜面、水路両岸など植栽地が細切れ的で、植栽状況の把握が不十分だったので、今後確認する。

●参加者の声

- ・受益者共通の声は、子どものカレッジ進学資金への期待である。
- ・町の環境担当は、熱帯林修復、保全への手ごたえを感じたとコメントした。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	フィリピン
35ha	1万2700本	99人
樹種：コーヒー、ナラ、ラワン、ナブル、ゴム		
実施場所：フィリピン・サウスコタバト州レイクセブ町		



ゴムの植樹

フィリピン ベンゲット州トゥブライにおける森林再生と森林栽培モデル事業

(公財) キープ協会
山梨県北杜市高根町

●事業概要

目的は、土砂災害と山火事による森林破壊が進み、深刻な水不足が問題となっている地域において、水源林と土壌流出を防ぐ森林を再生するものであり、主な活動は、植樹である。

●事業成果

①土砂崩落エリアと共有地(道路沿いなど)にタケなどを植樹、②コーヒーと日陰樹に適した樹種を植樹、③集落内に苗木場を整備しコーヒーなどを種子から育成、④講習会や技術・教育面でのワークショップなどを開催。

●自己評価

- ・地盤沈下・土壌侵食が危機的な状況にあるマムヨッド集落では、住民などの事業への関心が非常に高かった。また、地元の行政サイドのサポートを初めて得られた。
- ・マムヨッドの78世帯の全てが植樹を要する荒廃地を所有しており、植樹地が分散した。
- ・今後の維持管理はそれぞれで行うことになった。

●参加者の声

- ・地盤沈下の危険区域として、行政から集落全体での移住を求められているが、先祖代々受け継いできた土地への想いは強く、植樹地をさらに拡張したい。

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
植付本数：2万7280本	180人
樹種：タケ、ナラ、カリエンドラ、コーヒーなど	
実施場所：フィリピン・ベンゲット州	



住民自ら苗木を育成・管理できるように指導

中国・内モンゴル沙漠化防止及び循環型経済林造成

内モンゴル緑化の会
愛知県丹羽郡大口町

●事業概要

本事業では、①循環型沙漠化防止モデル形成に向けた苗基地の造成、②沙漠植林地の散水用井戸掘り・動物など進入防止柵の設置、③牧民の環境保護と樹木管理に対する指導、牧民と日本人参加者の植林協働作業、④モンゴル語の教材作成・中学校へ出前環境教育などを行った。

●事業成果

苗(サジー)の実は、4年目位から高く売ることができ、経済支援の効果があるため、作業には自発的に参加してくれた。

実の販売方法に対する質問や、他の土地にも植えようなどと、これまでに無い意欲がうかがえた。

●自己評価

植林地及び苗基地造成は計画通りに実施できた。しかし苗基地がコガネムシ被害に遭い急遽、害虫駆除に関する住民への指導が急務となった。

●参加者の声

- ・環境を保護し、守る事を日本人から学んだ。我々も見習わなくてはいけない(中3男)
- ・日本人が木の植え方を教えてくれた。とても良かった(牧民妻)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
10ha	3000本	21人	65人	86人
樹種：サジー				
実施場所：中国・内モンゴル自治区				



沙漠での植樹

岐阜県と江西省との友好を未来へつなぐ森林づくり事業

岐阜日中協会

岐阜県関市中

●事業概要

目的は、急速な都市化の進行により、緑が失われつつある地域において、両県省の市民が協働で憩いの場となる森林公園を整備するものであり、サクラ、クスノキ、ツツジを植樹した。

●事業成果

- ・市民、日本語を学ぶ学生が協働で植樹活動を行い、友好の森を造成した。
- ・当公園の周辺には、多くの文教施設や住宅があることから、多くの学生、市民の憩いの場として期待される。

●自己評価

- ・一部が赤土混じりの貧弱な土壌であったため、客土をしてから苗木を植樹した。生育状況については、江西省からの情報を踏まえ、必要に応じてアドバイスをを行うこととしている。

●参加者の声

- ・国同士が難しい状況にあるときこそ、市民レベルでの交流が必要だ。(60代女性)
- ・両国、両県省の友好を深めるためにも、もっと日本人と交流し、日本語を学びたい。(20代女性)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	日本	中国	計
植付本数	18人	50人	68人
樹種：サクラ、クスノキ、ツツジ			
実施場所：中国・江西省南昌市「瑶湖郊野森林公園」			



サクラ、クスノキなどを植樹

中国新疆昌吉市における生態園の植樹事業

(特非) 西域生態系保全フォーラム

静岡市葵区足久保口組

●事業概要

目的は、一般市民を対象にした緑化公園の建設計画に対して、生態園としての形が整うまで市当局と協同で植樹を行うものである。

●事業成果

新疆の若者は、植樹が環境保全につながり、自らが緑化事業を企画・実践しなければならないと考えてきている。

●自己評価

ウイグル族に関する報道の中で、「一緒に行ってほしい」と誘うことが難しかった。

今後も、現地学生の応援や日本人学生に参加を呼びかけ、ともに汗を流し、環境問題について話し合う場を設けたい。

●参加者の声

新疆農業大学の女子学生から「日本からなぜこの遠い新疆にまで植林に来られるのか？」との関心が示された。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
7.7ha	200本	1人	25人	26人
樹種：リンゴ、アンズ、ザクロ、シラカバほか				
実施場所：中国・新疆昌吉回族自治州昌吉市				



果樹などを植樹

タジキスタン国における森林および 草地生態系保全のための植林

(特非) 中央アジア森林草地保全研究所

静岡市駿河区大谷

●事業概要

目的は、植生の回復が困難な森林・草地の生態系保全のため、地域住民とボランティア団体の協働で植林、天然更新の促進、獣害対策などを行ったものである。

●事業成果

- ・事業地区では柵を設置し、放牧羊などの家畜による食害を防止した。
 - ・植栽木は、住民から要望の高い早生果樹、建築材として需要の高いポプラ、放牧地の燃材として利用度の高いビャクシンなどを植栽した。
 - ・草地では、家畜の侵入を計画的に制限することにより、冬季の備蓄用として干し草の確保が期待できる。
 - ・3地区のうち2地区では受け入れ体制も十分に今後とも植林が継続できるが、1地区では住民の意思が統一されていない。
 - ・NPO現地マネージャーが中心となって、苗木の手配・運搬、環境整備(地拵え)を行い、植林は地域住民とともに実施した。
- ## ●参加者の声
- ・植林はありがたい。今後も継続して欲しい。

実績報告とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	タジキスタン
20ha	2000本	20ha	80人
樹種：アプリコット、マツ、ブドウ、ビャクシン、リンゴほか			
実施場所：タジキスタン・マツョ地区、クマルク地区、ドウバ地区			



ポプラ防風林の設置

西ネグロス州における少数民族の 組織化による「水源の森」再生活動 (第1年次)

(特非) イカオ・アコ

愛知県東海市大田町川南新田

●事業概要

目的は、長年の焼き畑、サトウキビ作付により、荒廃した山地を緑化するため、先住民族を組織化し、学校へのナーサリー(苗床)の設置、環境教育、住民との植林活動を行うものである。

●事業成果

- ・毎月定例ミーティングを行い、住民に森林保全の大切さやアグロフォレストリーの手法などを伝えた。
 - ・最初、懐疑的な意見が多かったが、1年経過し、住民の植林への意欲が確実に高まってきた。
- ## ●自己評価
- ・植林には、日本人のボランティア及び地元の小・中学生が参加した。
 - ・乾季が早く来たため、12月に植えたら、枯死率が高かったため、次年度は、11月に完了させたい。
- ## ●参加者の声
- ・30度を超える中でも、地元の人や子どもたちのサポートで、無事植林できた。(40代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	フィリピン	計
20ha	1万本	425人	425人
樹種：マンゴー、ランブータン、マンゴスティンほか			
実施場所：フィリピン・西ネグロス州シライ市			



日本人ボランティアと現地の子どもが共に植林

アラル海湖底の砂と塩分移動防止のための植林活動

(特非) 市民環境研究所

京都市左京区田中里ノ前町

●事業概要

目的は、カザフスタン共和国の西部地域のアラル海が流入水量の激減によって干上がり、旧湖底砂漠が地平線まで続くことから、地表面には塩が析出し、頻繁に発生する砂・塩嵐が旧沿岸地帯の住民の健康を蝕んでいる。そこで、砂と塩の移動を防ぐためにサクサウルを植林するものである。

●事業成果

旧湖底砂漠に溝を掘り、サクサウルの自然林で収集した実生苗や育苗苗木を植える方法と種子を播種する方法を開発した。

本年は播種方法を①種子のみ、②複数の種子を粘土で固めたもの、③種子と1年生雑草を混ぜたものを播き、活着率を高める試みを始めた。

●自己評価

塩水湖が干上がった跡地への植林に挑戦して10年近くになるが、失敗の連続である。

しかし、数百本のサクサウルが生育した地区もあることから、今後も住民の生活環境を守る活動を続けたい。

●参加者の声

植林の習慣がなかった砂漠民の中に、植林の面白さが広がり、敷地内でトウモロコシなどを栽培するなど、村の様子が変わってきた。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	播種	カザフスタン
3ha	3500本	50kg	23人
樹種：サクサウル			
実施場所：カザフスタン・クジルオルダ州			



生育したサクサウル

マダガスカルの高原地帯における土砂崩れの自然災害を防ぐための植樹による整備事業

(特非) アイユーゴー

大阪府泉南郡熊取町

●事業概要

目的は、草原地帯と化した丘陵地帯において、自生種、果樹などの植樹や、草原の整備を行い、森林の保全・再生と、土砂災害防止に資することである。

●事業成果

住民たちは、緑の増加に気づき始め、植林の意味を実感しつつある。

また、「植林は土を守る」、「皆んなで参加するのが大切」など、村全体の取り組みとしてまとまりつつある。

●自己評価

住民たちは、村全体での取り組みが大切だとして、共同で植林に取り組んでいる。

しかし、サイクロンの影響で少々遅れて植林を行ったことや、植林後の草刈りなどの管理のあり方を検討する必要がある。

●参加者の声

- ・活着率99%で緑が多くなった。みんなの力で頑張っている。(63才)
- ・植林は大事だと思っているし、楽しかった。(20才)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	作業道路	日本	マダガスカル	計
5ha	6200本	280m	4人	880人	884人
樹種：ライチ、コーヒー、アカシア、オレンジ、インシヤ					
実施場所：マダガスカル・アナラマンガ地方フィハオナナ村					



ライチ、コーヒー、アカシアなどを植樹

ネパール ノールパラシ郡の小農村における アグロフォレストの果樹植林による拡大及び 土砂流出防止のための植林と植林教育

(公社) アジア協会アジア友の会

大阪市西区江戸堀

●事業概要

目的は、農民の暮らしに必要な果樹木を植え、将来の収入につなげるための森林造成である。また、川岸の護岸植林や森林教育の継続により住民の意識向上を図るものである。本事業では、①カキなどの植樹、②植林教育、③護岸エリアの植林、④ギョウリュウバイの苗床作りの指導を行った。

●事業成果

- ・現地の学校が環境や植林に関する学習を行い、広い年齢層に重要性が伝わった。
- ・植林地の拡大だけでなく、将来の経済効果などを考えた植樹事業となった。
- ・数年後には河岸が護岸林として生まれ変わると期待できる。

●自己評価

- ・計画通り、森林拡大と護岸植林ができた。
- ・護岸が必要な河岸をシートで覆い護岸植林をした。

●参加者の声

- ・世代を超えた植林・地域づくりが展開できれば良い。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	ネパール
2.5ha	2300本	232人
樹種：カキ、ロブシー、アムラ、ラタン		
実施場所：ネパール・ルンビニ県ピトゥリ村		



カキ、ロブシーなどを植樹

黄土高原における森林再生事業 (中国山西省大同市大同県聚楽郷)

(認定特非) 緑の地球ネットワーク

大阪市港区市岡

●事業概要

目的は、砂漠化と水不足が深刻な地域において、多くの樹種を様々な方法による森林再生を図るものであり、マツとマメ科の植林を行った。

●事業成果

- ・実験林場「カササギの森」で、初期に植えたマツには5mを超えてきた。
- ・ナラ、シラカンバなど試験的に植えた広葉樹も育ってきた。
- ・プロジェクトが呼び水になって、隣接地に国家プロジェクトができた。

●自己評価

- ・日中関係の悪化、旅費の高騰などでボランティアの派遣も困難になっている。
- ・強い反日感情を予想して現地に行くが、歓迎に出会って認識を改めることになるので、これからも継続したい。

●参加者の声

- ・石炭産地で薄汚かった街がこんなに変わっている。故郷も石炭の街だが、こんなふうが変わってほしい。(中国女性、28歳)
- ・広大なカササギの森を緑化したのだから、すごい。(日本学生、22歳)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	日本	中国	計
植付本数			
2万4800本	76人	922人	998人
樹種：マツ、マメ科の灌木			
実施場所：中国・山西省大同市 実験林場「カササギの森」			



マツほかを植樹

ブラジル国パラ州トメアス郡におけるアグロフォレストリーを活用した水源涵養植林事業

(特非) 野生生物を調査研究する会
神戸市北区

●事業概要

目的は、アグロフォレストリーによって小農家の生計を向上させながら植林地域を拡大させることであり、これまで、小農家の組織化、苗畑整備と苗づくりなどの指導を行ってきた。

●事業成果

- ・12か所の小農家生産者協会ができ、アグロフォレストリー農法・植林が普及されつつある。
- ・河畔が森林で被覆されていない地域において、育成した苗を活用した水源涵養植林を実施した。
- ・植栽時の肥料・石灰の投入について、資金不足や効果に対する疑問から実施していなかったが、今回、その違いが鮮明となり、小農家の意識改革につながった。

●自己評価

- ・生産者は肥料・石灰の効果を実感しており、アグロフォレストリーの普及が進むことが期待される。

●参加者の声

- ・苗木の配布だけではなく、肥料・石灰により効果が早く現れるので、ありがたい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	ブラジル
12ha	6000本	27人
樹種：マホガニー、アンジローバ、カカオほか		
実施場所：ブラジル・パラ州トメアス郡		



アグロフォレストリー植林

ケニアの乾燥地におけるムカウ (MELIA VOLKENSII) の普及による緑化推進と生活向上事業

(特非) アフリカ児童教育基金の会 ACEF
奈良県天理市西長柄町

●事業概要

乾燥地域の14の高校にエコクラブが発足し、そのメンバーや近隣住民が当会研修センターで、乾燥地でも育つムカウ種(元来、発芽・育苗が難しい5年ほどで家具材になる換金率の良い樹種。JIFPRO(国際緑化推進センター)とKEFRI(ケニア森林局)の連携で開発)の発芽技術を受講した。また、各校の教職員と生徒に苗木を配布し植樹した後、当会が巡回指導し、各校と共同作業で「学校の森」「地域の森」を造成し育てている。

●事業成果

高校生、地域住民へもムカウの有効性を説き、約3600本のムカウ種の植林を行い、学校の森、地域の森とした。

ムカウ種の発芽促進技術の習得は学生よりその親たち地域住民に好評で、技術を習得した者がリーダーとなり、拡散の準備を進めている。

●自己評価

当初20校で実施予定だったが、学校側の都合などで14校になった。着床率は平均6割だが、4割程度しかできなかった学校もあり、今後は水の確保、休み期間中の水やりが問題となる。今後は、地域に井戸掘削すべきか検討している。

●参加者の声

- ・水やりも家畜に食べられないようにも工夫し、育苗した。(16歳高校生)

実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
植付本数	ケニア
3608本	2848人
樹種：ムカウ種、竹	
実施場所：ケニア・エンブ郡南ベレー地区内	



学校の森

北京北部地域水源地植林事業

(公社) 島根県緑化推進委員会

松江市母衣町

●事業概要

目的は、頻繁な干ばつ被害のある水源地域の植林支援を行うことにより、県民が地球規模の環境問題に関心を持つことである。

本事業では、①H26年度10haの水源涵養林整備を支援、②県民(緑の少年団員を含む)交流団の派遣、③活着率など、成果の検証を行った。

●事業成果

- ・当初計画どおり10haの植林が終了し、1～2年目と合わせて30haの水源涵養林を整備した。
- ・県民交流団員を公募し、17人で現地での植林や関係者との交流を行った。(2小学校、5人の緑の少年団員を含む。)
- ・セラピーや森林を活用した地方の活性化策などの情報交換を行った。
- ・前年、前々年に植栽したものが概ね順調に生育している。

●自己評価

- ①政治的状況やPM25問題などは、全く問題とならず、相互に大きな成果を得た。
- ②支援終了後の着実な管理が課題である。

●参加者の声

- ・深植えやポット苗の底面だけ取り除いて植えるなど、現地に対応した技術があり、日本と違いを感じた。
- ・政治的な問題を心配したが、杞憂に終わり交流促進を実感した。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	中国	計
10ha	1万6500本	10ha	17人	350人	367人
樹種：油松、山杏					
実施場所：中国・河北省張家口市					



地元住民による植樹

ケニア国エランガタウアス生態系管理プロジェクト

(一社) 水辺のユニオン

岡山県倉敷市阿知

●事業概要

目的は、ケニア国の大部分を占める半乾燥地で従来不可能とされてきた植林を、マサイ族の住民の協力を得て持続的に実施することである。主な活動は、①スタディツアーへの支援、②Elangata Wuas Ecosystem Management Programme (EWEMP) 苗畑の整備(年間5000本程度生産)、③耐乾性樹種のパイロット植林である。

●事業成果

スタディツアー中に実施した環境教育活動を受けた小学生、引率の先生及びホームステイ先のマサイ族家庭が、半乾燥地での植林及び付随する定期的な水遣りの意味を理解するようになった。また、ホストファミリーのマサイ族は、親戚などにも植林の重要性を普及し始めた。EWEMPでの苗木生産が可能となり、地域の苗木の需要に応えられるようになった。また、パイロット植林地は、耐乾性樹種の植林の可否についての比較検討や、展示林としての機能が期待される。

●自己評価

事業は、予定通り達成できたが、多くの住民を巻き込んだ植林活動はまだ不十分であり、また、苗畑での安定的で多種類の樹種の苗木生産やパイロット植林地の運営管理が軌道に乗るには技術的な課題も多い。

●参加者の声

- ・将来エランガタウアスの地で大きく育った木々が森林となり、ケニアを豊かにしてもらいたい。(三重大学生)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	ケニア	計
1ha	670本	65人	1657人	1722人
樹種：メリア、ニーム、ジャトロファ				
実施場所：ケニア・リフトバレー州カジアド県				



メリア、ニームなどを植樹

中国四川省彭山県水土流失防止林緑化事業

広島県日中親善協会

広島市中区基町

●事業概要

目的は、長年の多量伐採や農地開発などにより水土流失が著しく土壌砂漠化が深刻になっている地域において、「長寿郷」といわれる豊かな自然環境や水土保持機能の回復を図るため、植林を行ったものである。

●事業成果

- ・住民の意識が向上し、自発的に植林に参加するようになった。
- ・特に、小中学生などの青少年が積極的にボランティアで植林に参加した。

●自己評価

- ・計画通りの植え付けに、地元の人たちが積極的に参加した。
- ・参加者は、苗木が生き生き伸びる喜びを思いながら、早魘防止、灌水作業など作業を行った。

●参加者の声

- ・植樹に参加し、地元の環境改善に関われたことは大変有意義でした。
- ・日本緑の募金事業に感謝している。
- ・当地域の住民生活が向上できると信じている。
(中国・女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	中国	計
10ha	1万6500本	480人	480人
樹種：クスノキ、チャンチン			
実施場所：中国・四川省眉山市			



クスノキ、チャンチンを植樹

徳島烏雲の森植林事業

(特非) 烏雲の森沙漠植林ボランティア協会

徳島市佐古五番町

●事業概要

目的は、中国・内モンゴル自治区の過剰な開墾や無計画な放牧などにより沙漠化した地域に植林を行って、草原にすることである。

ポプラを中心に植林し、獣害防止のため、周辺に金網を張り、ウシ・ヤギ・ヒツジの放牧を禁止している。

●事業成果

現在は、沙漠・半沙漠が混在しているが、植林により草原が回復しつつ有り、環境の保全にも貢献している。

植林による土壌改善、作物収穫量の増、家畜の取引金額の増が、彼らの生活向上に役立っている。

●自己評価

3、4年前に植林したポプラも順調に生育していることを確認した。

植林地周辺の小・中学生に地球環境問題の認識を持つ新たな戦力となるよ期待しているが、実現していない。

●参加者の声

- ・沙漠地にポプラを植林して育つか不安だったが、数年前の植林地を見て感激した。
- ・今回植林した場所を再度訪問したい。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
50ha	6万本	11人	80人	91人
樹種：ポプラ				
実施場所：中国・内モンゴル自治区・阿古拉鎮				



ポプラの植樹

ミャンマー連邦共和国シャン州 (南部) 山岳少数民族地域における学校林造成 及び環境教育事業

(特非) 地球市民の会

佐賀市高木町

●事業概要

目的は、山岳地帯に住む子どもたちに、植林の大切さと環境保護について理解させるものであり、主な活動は、学校林へのモリंगाなどの植林、育苗施設の整備、環境教育などである。

●事業成果

- ・換金性があり、地域に適した樹種を植林したため、活着率も高く有効だった。
- ・子どもと保護者に環境問題や植林の必要性を理解させることができた。
- ・地域住民主体の委員会が組織され、今後、環境教育や植林活動を継続する体制が整った。

●自己評価

- ・計画通りに実施できた。
- ・図などを多用した教材や屋外実習により、身近なものとして学習できた。
- ・子どもたちが興味を持ち、質問も多かったので、効果があった
- ・委員会の組織化により、植林技術・知識の移転もでき、持続性が期待できる。

●参加者の声

- ・生物多様性について理解できた。絵を見たり学習をしたりして分かりやすかった。(小学生)
- ・子どもたちが楽しそうに研修を受けていた。(先生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	ミャンマー	計
5.0ha	7098本	5.15ha	26人	26人
実施場所：ミャンマー・シャン州インレー湖地域				



子どもたちによる植樹

タンザニア国、首都ドドマ市近郊 における村落林業

(特非) 地球緑化の会

熊本市東区健軍

●事業概要

目的は、首都近郊において、植林活動を通じて自然環境の改善を図るものであり、主な活動は、育苗、植付である。

●事業成果

- ・育苗、植林の巡回指導、ベテラン農家と新たに取り組む農家との研修会を開催し、技術の移転やグループ・集落間の連携が構築できた。
- ・普段、活動の意義を確認できなかったが、各々の事業地を相互に巡回することで、主体的な展開が期待できる。

●自己評価

- ・計画より多く育苗できた。
- ・各農家の敷地内や農地周辺に植林されており、土壌流出の軽減や防風林としての効果が認められる。
- ・間引きした木や枝は村人の燃料、建築物・育苗場の柱などに使用されている。

●参加者の声

- ・集落内の環境が良くなり、活動が楽しい。(50代男)
- ・子どもと一緒に水やりなどは、しつけや環境教育の側面がある。(40代女)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	樹勢回復	タンザニア
30ha	14万6689本	13万325本	2000人
樹種：インドセンダン、アカシア、ルキナなど			
実施場所：タンザニア・ドドマ市近郊の4村			



アカシア、ルキナなどを植樹

セネガル・アフリカンマホガニー 再生事業 フェイズ2

(特非) DANKADANKA

鹿児島市鴨池新町

●事業概要

目的は、砂漠化が進むセネガルで、次世代を担う子どもたちの木への関心を育て、緑化の担い手へと育成することであり、主な活動は、①学校苗圃の設置、②育苗指導や環境教育、木工教室、森への遠足などである。

●事業成果

- ・村と学校の苗圃にポンプ(計4台)と貯水タンク1基を設置した。
- ・乾季には水量が減少するため学校苗圃の規模を縮小し、苗木を育てている。
- ・記念式典を人目につく通りで開催したため、事業を周知できた。
- ・森遠足や木工教室は、子ども達に新たな知識と感動を与え、木の大切さを学ぶ機会となった。

●自己評価

- ・子ども達が積極的に参加し、“次世代育成”という点で評価できる。
- ・水不足の市における学校苗圃の維持は大変な負担だと実感した。
- ・地域住民の参加をどう推進するか課題である。

●参加者の声

- ・診療所に子ども達が木を植えた。
- ・来年の雨季が過ぎれば、枝が広がり、木陰ができれば、ありがたい。(クルイサ村住民)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
苗木育成	ポット育苗	植付本数	計
629本	800本	12本	870人
樹種：アフリカンマホガニー、コルディア、ミリオネル、メリナほか			
実施場所：セネガル・ティエス市			



アフリカンマホガニーほかを植樹

平成 26 年度緑の募金事業報告集 索引

(事業実施団体別)

	交 付 先	所在地	交付決定番号	事 業 名	事業地	交付決定額 (千円)	掲載頁
あ	(特非)アイユゴー	大阪	26K-26	マダガスカルの高原地帯における土砂崩れの自然災害を防ぐための植樹による整備事業	マダガスカル	1,990	134
	(公社)青森県緑化推進委員会	青森	26震災RC-07	震災地域の緑を活用した潤いのある街づくり事業	青森	2,500	75
	(公社)青森県緑化推進委員会	青森	26震災RC-11	第三次緑と木を通じた子供たちのふれあい事業	青森	2,500	77
	アクショングリーン	東京	26災S-03	森で活動する人のための安全研修と森林整備	千葉	700	59
	(公社)アジア協会アジア友の会	大阪	26K-27	ネパール ノールバラシ郡の小農村におけるアグロフォレストの果樹植林による拡大及び土砂流出防止のための植林と植林教育	ネパール	2,100	135
	(特非)アジア植林友好協会	東京	26K-05	乾燥・火山灰土壌におけるクラゲチップ及び生分解プラスチックポットの活用による水源涵養林の整備	インドネシア	1,100	124
	(特非)アジアの誇り・ブレアビヒア日本協会	東京	26K-06	カンボジア世界遺産プレアピヒア寺院周辺地区での森林教育と植林活動(第4年目)	カンボジア	1,980	124
	(特非)足柄丹沢の郷ネットワーク	神奈川	26S-26	森林ボランティア養成プログラムと都市住民との協働による森林づくり事業	神奈川	1,730	45
	(特非)アフリカ児童教育基金の会	奈良	26K-30	ケニアの乾燥地におけるムカウ(MELIA VOLKENSII)の普及による緑化推進と生活向上事業	ケニア	1,720	136
	あまぎ緑の応援団委員会	福岡	26SC-05	小石原川水源の森づくり事業	福岡	2,502	14
い	(特非)イカオ・アコ	愛知	26K-24	西ネグロス州における少数民族の組織化による「水源の森」再生活動(第1年次)	フィリピン	1,510	133
	(特非)いきいきみはら会	高知	26S-51	下ノ加江川水系の森里川海のつながり再生プロジェクト	高知	1,890	54
	(公社)石川の森づくり推進協会	石川	26S-30	2014企業人学びの森整備事業	石川	1,270	47
	石川フォレストサポーター会	石川	26ふR-15	「ふるさと絆の森」再生事業	石川	500	103
	泉ヶ岳活用推進市民会議	宮城	26R-05	泉ヶ岳芳の平森林再生整備計画事業	宮城	790	80
	いずみの森の会	大阪	26SC-02	アドプト フォレスト 仏並エネオスの森づくり活動	大阪	510	12
	いずみの森連絡協議会	大阪	26SC-18	緑のボランティアの森記念造成事業「いずみの森21」	大阪	300	20
	田舎の環境を守る会	鹿児島	26S-57	荒廃竹林(森林)の整備	鹿児島	500	56
	いのちの森づくり友の会	神奈川	26災R-06	海岸防災林植樹	静岡	1,780	93
	(公社)茨城県緑化推進機構	茨城	26震災SC-02	平成26年度東日本大震災復興事業(鹿島灘海岸防災林造成事業)	茨城	3,000	29
	(公社)茨城県緑化推進機構	茨城	26震災RC-05	震災地域の学校教育環境向上のための緑化事業等	茨城	950	74
	いばらき森林クラブ	東京	26S-17	茨城県民の森「スギ採種圃の跡地」の森林整備及び森づくり活動	茨城	450	41
	今治地方水と緑の懇話会	愛媛	26R-26	今治地域住民と次代を担う青少年等による水源の森整備活動	愛媛	620	90
	岩木山桜会議	青森	26S-04	オオヤマザクラ等の保育活動を通じた地域を結ぶ森づくり	青森	340	35
	(特非)いわきの森に親しむ会	福島	26S-07	プロ野球の森整備事業	福島	540	36
	(公社)岩手県緑化推進委員会	岩手	26震災RC-02	震災地域における室根東小学校教育環境向上のための緑化事業	岩手	730	73
	(公社)岩手県緑化推進委員会	岩手	26震災RC-10	東日本大震災復興祈念・葛巻町60周年記念事業『第16回葛巻町植樹祭』	岩手	1,995	77

	交 付 先	所在地	交付決定番号	事 業 名	事業地	交付決定額 (千円)	掲載頁
う	うきは市森林セラピー実行委員会	福岡	26SC-10	「積水化学の森・うきは」生物多様性保全の森づくり	福岡	1,276	16
	内モンゴル緑化の会	愛知	26K-20	中国・内モンゴル沙漠化防止及び循環型経済林造成	中国	1,860	131
	宇津貫みどりの会	東京	26ふR-10	宇津貫緑地（八王子市）の森の再生、希少植物の保全、植樹祭準備	東京	500	101
	宇都宮市陽光地区青少年育成会	栃木	26ふR-07	宇都宮市陽光地区青少年育成会植林事業	栃木	500	99
	(特非)うにの郷クラブ	三重	26R-20	斎王竹の道「緑の森公園」づくり	三重	1,330	87
	(特非)鳥雲の森沙漠植林ボランティア協会	徳島	26災R-10	徳島県 那賀町 木沢 森林整備事業	徳島	770	95
	(特非)鳥雲の森沙漠植林ボランティア協会	徳島	26K-34	徳島鳥雲の森植林事業	中国	2,420	138
	(特非)ウヨロ環境トラスト	北海道	26S-03	NPOや事業者の連携による間伐推進と間伐材活用モデル構築事業	北海道	2,080	34
え	(特非)エコアライアンス21	東京	26K-14	セレゲレン苗木生産センターの設立	モンゴル	1,300	128
	エコキャンプ2014実行委員会	岡山	26RC-01	エコキャンプ2014	岡山	1,300	66
	(特非)NPO埼玉ネット	埼玉	26S-11	地域の子供たちを森へ誘う事業	埼玉	1,350	38
	NPO環〜WA	茨城	26R-09	未来の担い手による里山再生プロジェクト〜いのちをつなぐ里山を未来へ〜	茨城	1,250	82
お	(公財)オイスカ	東京	26KC-09	インドネシア 森林と水保全のための学校地域連携プロジェクト	インドネシア	2,500	120
	(公財)オイスカ	東京	26K-15	タイ北部チェンライ県森林再生プロジェクト	タイ	1,840	129
	(公財)オイスカ四国支部	香川	26R-25	尾の瀬山・オイスカ憩いの森	香川	760	90
	オイスカ三豊推進協議会	香川	26R-24	沖縄伊是名村防風林植林	沖縄	480	89
	奥州万年の森をつくる会	岩手	26R-03	子供たちが主役で広葉樹の森づくり	岩手	1,000	79
	おおづ森の守り人	熊本	26災S-12	間伐材の新しい利活用「防災薪製作と避難場所(諸中学校等)への設置事業	熊本	1,550	63
	大呑グリーンツーリズム推進協議会	石川	26S-32	大呑ふれあいの里山づくりプロジェクト	石川	1,090	48
	長船刀剣森づくり実行委員会	岡山	26ふR-27	長船刀剣の森づくり	岡山	500	109
	音更町十勝川温泉観光協会	北海道	26ふR-02	十勝牧場白樺並木再生事業	北海道	500	97
か	春日台公園里山クラブ	兵庫	26ふR-23	ふるさとの貴重な森林保全事業	兵庫	500	107
	上総自然学校	千葉	26S-13	人が楽しめる森と里山作り事業	千葉	600	39
	神奈川県山岳連盟	神奈川	26ふR-11	丹沢(ニノ塔)の森再生事業	神奈川	500	101
	(特非)かながわ森林インストラクターの会	神奈川	26S-28	水源林の整備と癒しのフィールドづくり(第二ステップ)	神奈川	350	46
	(公財)かながわトラストみどり財団	神奈川	26SC-17	湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業	神奈川	1,800	20
	蒲生郷「おかべ会」	鹿児島	26S-59	魅力あふれるさとの山 パート1	鹿児島	380	57
	(株)花葉館・植栽グループ	秋田	26ふR-05	いこいの森再生事業	秋田	500	98
	(特非)カラ=西アフリカ農村自立協力会	東京	26K-16	モバ小学校に学校林の造成	マリ	1,360	129
	(特非)川内村NPO協働センター	福島	26R-07	「川内村いのちの森づくり植樹祭」	福島	1,760	81

	交 付 先	所在地	交付決定番号	事 業 名	事業地	交付決定額 (千円)	掲載頁
か	環境NPO オフィス町内会	東京	26RC-03	「全国活樹祭～こども間伐体験～」	岩手、長野	2,500	67
	(特非)環境修復保全機構	東京	26KC-06	タイ国南部津波被災地におけるマングローブ植林活動(フェーズ2)	タイ	2,000	118
	(特非)環境修復保全機構	東京	26KC-07	フィリピン国レイテ島北西部の台風被災地における地域復興を目指した植林事業	フィリピン	2,500	119
	(特非)環境修復保全機構	東京	26KC-08	平成26年度緑の国際ボランティア研修(フィリピン国)	フィリピン	3,000	119
	(特非)環境修復保全機構	東京	26K-07	フィリピン国ボホールにおける持続可能な発展を目指した植林活動の推進(フェーズ3)	フィリピン	2,190	125
	環境整備「森と竹で健康クラブ」	静岡	26S-36	沼津市愛鷹運動公園内森林整備事業	静岡	470	50
	(特非)観照ボランティア協会	千葉	26K-02	育林思想普及のための学校林植林と環境教育セミナー開催(第2次)	フィリピン	800	122
き	(公財)キープ協会	山梨	26K-19	フィリピン ベンゲット州トゥブライにおける森林再生と森林栽培モデル事業	フィリピン	2,250	131
	北潟の森協議会	福井	26災S-05	人と自然がおりなす歴史ロマン浜街道未来への森づくり	福井	2,250	60
	(特非)北九環浄研	福岡	26S-52	野に山に庭に炭を撒いてCO ₂ 削減!	福岡	1,130	54
	木津川市地域連携保全活動応援団	京都	26SC-11	「積水化学の森・木津川」生物多様性保全の森づくり	京都	1,200	17
	岐阜日中協会	岐阜	26K-21	岐阜県と江西省との友好を未来へつなく森林づくり事業	中国	1,560	132
	(特非)共存の森ネットワーク	東京	26RC-09	地域の暮らしに根づいた「フォークロアの森づくり」	新潟外	2,500	70
	(特非)吉里吉里国	岩手	26SC-16	木質バイオマス燃料普及プログラム	岩手	300	19
	(特非)吉里吉里国	岩手	26S-06	復活の森プロジェクト	岩手	1,830	36
く	玖珠郡森林組合	大分	26SC-33	玖珠町ふれあいの森づくり事業	大分	1,300	28
	蔵作をよくする会	福井	26災R-08	「蔵作の未来の森」づくりプロジェクト	福井	1,760	94
	グリーンOB会	岡山	26SC-03	岡山水源の森整備事業	岡山	580	13
	グリーンOB会	岡山	26SC-04	岡山県日本リスの森整備事業	岡山	220	13
	(特非)グリーンフォーレストジャパン	埼玉	26S-12	県境を越えた森づくり連携事業	埼玉	1,560	39
	グリーンボランティア「森林づくり三重」	三重	26S-39	森に生まれ!森を守ろう!	三重	1,360	51
	黒石自治会	熊本	26ふR-33	黒石区の棕の木再生事業	熊本	970	112
	群馬県樹木診断協会	群馬	26ふR-08	ふるさとのツツジ並木救助活動	群馬	940	100
こ	(特非)黄河流域に植林の会	千葉	26K-03	中国・内モンゴル飛沙、沙漠化防止緑化活動	中国	1,380	123
	こうち森林救援隊	高知	26ふR-31	山と里の豊かな森林再生事業	高知	500	111
	(一社)国際善隣協会	東京	26K-08	霊武市日中友好防風固砂モデル林	中国	1,540	125
	(公財)国際緑化推進センター	東京	26KC-12	チャウカン・コミュニティ・フォレスト造成事業	ミャンマー	3,000	121
	越の郷地球環境会議	福井	26災S-06	さばえの里山市民参加災害に強い森づくり活動	福井	2,430	60
	KODAMAー緑の守り人ー	和歌山	26R-21	命と絆の森づくりー防災と国際交流の植樹祭ー	和歌山	2,000	88
	五反舎	東京	26災R-04	高尾山周辺森林の台風被害跡地の風倒木処理および雪害曲がり木処理技術研修	東京	840	92

	交 付 先	所在地	交付決定番号	事 業 名	事業地	交付決定額 (千円)	掲載頁
こ	(特非)子ども文化ステーション	埼玉	26K-01	中国内モンゴルにおける子ども植林及び環境教育普及事業2014	中国	560	122
さ	(特非)西域生態系保全フォーラム	静岡	26K-22	中国新疆昌吉市における生態園の植樹事業	中国	760	132
	(特非)埼玉森林サポータークラブ	埼玉	26S-10	森林づくり教育支援事業	埼玉	400	38
	(特非)埼玉森林サポータークラブ	埼玉	26SC-30	さいたまの森林づくり支援事業	埼玉	1,000	26
	桜島どんぐりころころ植樹祭実行委員会	鹿児島	26災R-11	「地球に緑を 桜島を緑に」どんぐり照葉樹の森づくり	鹿児島	850	96
	里まる	京都	26ふR-21	地域本来の自然植生を生かした持続的なふるさと森づくり	京都	500	106
	(特非)里山クリーン新潟	新潟	26災S-04	国民参加による災害につよい森づくり事業	新潟	1,730	59
	猿投の森づくりの会	愛知	26S-37	猿投山北西山麓の環境林整備	愛知	1,100	50
	(特非)サヘルの森	東京	26KC-05	地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業(マリ共和国)	マリ	1,800	118
	サンシティ管理組合	東京	26S-23	第33回緑の都市賞内閣大臣賞受賞記念事業	東京	400	44
し	(特非)GNC Japan	東京	26KC-11	モンゴル森林火災被災地再生事業	モンゴル	2,060	121
	(特非)GNC Japan	東京	26K-09	モンゴル国中央県植林事業	モンゴル	1,630	126
	(特非)C・C・C富良野自然塾	北海道	26S-02	富良野地域の緑化及び環境教育事業	北海道	500	34
	(特非)四季の会	鹿児島	26S-56	平成26年度第12回「森林ボランティアの日」活動inさえずりの森	鹿児島	1,600	56
	(特非)四十八瀬川自然村	神奈川	26R-14	水源を守ろう、川上と川下の連携で森林整備	神奈川	1,050	84
	(公社)島根県緑化推進委員会	島根	26K-31	北京北部地域水源植林事業	中国	2,120	137
	島根県林業研究グループ連絡協議会	島根	26災S-09	「木の駅プロジェクト」で、天災にまけず、人災をおこさない島根の絆事業	島根	1,490	62
	(特非)市民環境研究所	京都	26K-25	アラル海旧湖底の砂と塩分移動防止のための植林活動	カザフスタン	1,860	134
	(認定特非)JUON(樹恩) NETWORK	東京	26S-22	森づくり体験プログラム「森林の楽校」2014・2015	全国	2,080	43
	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	26SC-27	みんなで作ろう海の森プロジェクト	東京	1,142	25
	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	26SC-28	海の森植樹プロジェクト	東京	1,105	25
	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	26SC-31	「多摩動物公園 雑木林再生プロジェクト」	東京	308	27
	上州の防災・森づくりの会	東京	26災S-02	防災林を奥利根地域で育てるボランティア活動事業	群馬	1,110	58
	湘南の森	神奈川	26ふR-12	高麗山公園、桜を中心とした森再生活動	神奈川	500	102
	(特非)森林総合支援センター	富山	26ふR-14	ササユリの咲く森再生プロジェクト	富山	500	103
	(特非)森林との共生を考える会	宮城	26SC-12	崩壊跡地の植生復元事業と周辺の植生調査	宮城	1,000	17
す	鈴木金七郎の業績を見直す会	愛知	26ふR-18	地域の歴史を残す森林整備事業	愛知	340	105
せ	(特非)世界の砂漠を緑で包む会	石川	26S-31	森林公園生物多様性復元事業	石川	640	47
た	ダイヤモンド第2自治会	長崎	26ふR-32	ダイヤモンド入居30周年記念ふるさと記念の森林づくり事業	長崎	500	112
	第66回全国植樹祭石川県実行委員会	石川	26SC-09	第66回全国植樹祭に向けた市町の緑化推進事業	石川	3,000	16

	交 付 先	所在地	交付決定番号	事 業 名	事業地	交付決定額 (千円)	掲載頁
た	高尾グリーン倶楽部	神奈川	26S-27	青年の山の整備活動と作業体験を通じた啓発普及活動	東京	690	45
	多治見観光ボランティアガイド	岐阜	26R-18	下街道活性化事業	岐阜	250	86
	(特非)DANKADANKA	鹿児島	26K-38	セネガル・アフリカンマホガニー再生事業 フェイス2	セネガル	1,190	140
ち	地球お守り隊	福岡	26S-54	みんなの森プロジェクト	大分	670	55
	(特非)地球市民の会	佐賀	26K-36	ミャンマー連邦共和国シャン州(南部)山岳少数民族地域における学校林造成及び環境教育事業	ミャンマー	1,300	139
	(特非)地球と未来の環境基金	東京	26S-18	首都圏居住者を対象とした森林整備体験と環境啓発事業	埼玉外	2,040	41
	(特非)地球と未来の環境基金	東京	26災R-05	市民・企業・行政の協働による広島県竹原市の被災森林回復のための植林活動	広島	1,330	93
	(特非)地球の緑を育てる会	茨城	26SC-22	植栽地造成と植樹による筑波山水源の森づくり	茨城	1,000	22
	(特非)地球緑化センター	東京	26R-13	三宅島復興支援森林づくり交流事業	東京	2,170	84
	(特非)地球緑化センター	東京	26KC-03	長江上流域植林協力事業	中国	4,000	117
	(特非)地球緑化センター	東京	26KC-04	地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業	中国	1,600	117
	(特非)地球緑化センター	東京	26K-10	中国・河北省豊寧県砂漠植林「緑のダムづくり」	中国	2,000	126
	(特非)地球緑化の会	熊本	26K-37	タンザニア国、首都ドドマ市近郊における村落林業	タンザニア	1,800	139
	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	26震災SC-03	さんむ災害復興植樹祭	千葉	1,150	29
	千葉県流山市立東小学校	千葉	26震災RC-06	震災地域の学校環境教育向上のための緑化事業(流山市立東小学校)	千葉	896	75
	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	26震災SC-04	旭復興事業	千葉	1,240	30
	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	26震災SC-05	白子町海岸保安林整備事業	千葉	2,400	30
	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	26震災RC-03	防災力向上市民協働植樹事業	千葉	740	73
	(特非)中央アジア森林草地保全研究所	静岡	26K-23	タジキスタン国における森林および草地生態系保全のための植林	タジキスタン	1,330	133
つ	(特非)つくば環境フォーラム	茨城	26R-08	筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり	茨城	430	81
	辻里山活性ネイチャー倶楽部	滋賀	26ふR-20	辻里山整備活動	滋賀	480	106
	「つたえよう 美しき森」推進委員会	石川	26RC-02	「つたえよう 美しき森」	石川	1,500	66
	(特非)土に還る木 森づくりの会	静岡	26S-35	「森づくり自然学校」及び富士山麓の自然現地調査	静岡	990	49
	(特非)土に還る木 森づくりの会	静岡	26ふR-16	国立青少年交流の家「富士のさと」森づくり事業	静岡	500	104
	堤山景観保全プロジェクト委員会	香川	26ふR-29	羽床富士の里山景観再生プロジェクト	香川	500	110
	津別「げんきの森」利用推進実行委員会	北海道	26RC-12	津別「げんきの森」利用推進事業	北海道	130	71
と	東濃山歩倶楽部	岐阜	26S-34	東濃の緑を守るボランティア活動事業	岐阜	420	49
	十日町市民協働の森づくり実行委員会	新潟	26震災SC-01	十日町市民協働の森づくり	新潟	3,700	28
	(特非)時ノ寿の森クラブ	静岡	26R-19	災害に強い市民協働による「山から海までつながるいのちの森づくり」	静岡	1,000	87
	(特非)土佐の森・救援隊	高知	26震災SC-08	自伐型林業による被災地再生(就業づくり)事業	岩手宮城	1,970	32

	交 付 先	所在地	交付決定番号	事 業 名	事業地	交付決定額 (千円)	掲載頁
と	(特非)土佐の森・救援隊	高知	26災S-11	災害に強く多面的な機能を持つ森林をつくる自伐型林業の実践及び育成・普及活動	高知	2,090	63
	(公社)とちぎ環境・みどり推進機構	栃木	26RC-06	震災地域におけるさくら市立上松山小学校教育環境向上のための緑化事業	栃木	540	68
	(特非)どんぐりネットワーク	香川	26ふR-30	自然ふれあいの森づくり	香川	500	111
	(特非)どんぐりの森・山楽校	青森	26S-05	森林整備とバイオマス利用効果の検証事業	青森	1,640	35
	(特非)とんぼエコオフィス	千葉	26R-11	東日本大震災復興支援 緑化木育苗	千葉外	2,300	83
な	(特非)N I C E	東京	26S-24	10地域と1000人が創り出す。国際森林保全ワーキングキャンプ	北海道、大阪外	2,320	44
	名栗さわらび隊	東京	26R-12	名郷(上名栗) 植樹プロジェクト	埼玉	790	83
	奈良県森林ボランティア連絡協議会	奈良	26S-49	竹林整備と竹の利活用	奈良	380	53
に	(特非)新潟県山野草をたずねる会・植生研究会	新潟	26R-15	千年の森ーみんなで作るふるさとの森ーいのちの森再生八万台育樹・植樹	新潟	810	85
	21世紀の道南の森林づくり実行委員会	北海道	26R-01	道南地方の海岸林の整備と森林環境教育	北海道	620	78
	日豪環境ボランティアプログラム実行委員会	熊本	26RC-13	日豪環境ボランティアプログラム「阿蘇の森林を磨き、恩恵を味わう」	熊本	2,000	72
	(公財)日本環境協会	東京	26震災RC-04	東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！Project-D	福島	2,220	74
	(特非)日本沙漠緑化実践協会	東京	26K-11	徳勝地域における沙丘からの流沙防止のための植林3	中国	1,130	127
	日本山岳会「高尾の森づくりの会」	埼玉	26災R-02	三宅島復興支援緑化再生プロジェクト	東京	590	91
	日本山岳会「高尾の森づくりの会」	東京	26KC-01	日本ーラオス友好の森展示林造成事業	ラオス	3,000	116
	(特非)日本樹木育成研究会	栃木	26災S-01	樹木の風・雪・地震等による倒壊危険度調査の研修事業	栃木	890	58
	日本樹木医会鹿児島県支部	鹿児島	26ふR-34	南九州市立川辺小学校大ケヤキ修復再生事業	鹿児島	970	113
	(特非)日本青少年音楽芸能協会	東京	26RC-05	青少年による竹林ルネッサンス事業～21世紀のかぐや姫事業～	新潟	1,800	68
の	能勢みどりすとクラブ	大阪	26ふR-22	能勢町における「三草山ゼフィロスの森」再生事業	大阪	500	107
は	階上町緑化推進委員会	青森	26ふR-03	三陸復興国立公園階上岳ヤマツツジ移植事業	青森	500	97
	原村あゆみの森実行委員会	長野	26SC-06	原村あゆみの森整備事業(平成26年後期)	長野	2,143	14
ひ	斐伊川流域林業活性化センター	島根	26R-22	平成26年度斐伊川流域荒廃林等再生整備住民交流会	島根	1,210	88
	東アジア環境協働行動よこはま	神奈川	26K-17	モンゴルゴビ植生樹林再生・砂漠緑化実験プロジェクト	モンゴル	1,480	130
	(特非)人と道研究会	東京	26RC-07	「全国道の駅」と連携した緑の募金活動推進事業(7)	宮城外	3,000	69
	人吉・球磨自然保護協会	熊本	26S-55	地球温暖化防止に資する水源林整備活動	熊本	780	55
	(一財)美幌みどりの村振興公社	北海道	26RC-11	美幌町「げんきの森」体験事業	北海道	645	71
	(特非)ヒマラヤン・グリーン・クラブ	滋賀	26KC-02	ヒマラヤ山岳村落周辺自然林再生活動	パキスタン	3,000	116
	(特非)兵庫間伐サポートサービス	兵庫	26S-47	里山整備事業	兵庫	1,770	52
	兵庫ドングリ千年の森をつくる会	兵庫	26災R-09	揖保川源流の森(14号地植樹)	兵庫	1,040	95
	(特非)ひょうご森の倶楽部	兵庫	26SC-21	「赤西渓谷・水源の森」保全事業	兵庫	1,000	22

	交 付 先	所在地	交付決定番号	事 業 名	事業地	交付決定額 (千円)	掲載頁
ひ	(特非)ピラーンの医療と自立を支える会	神奈川	26K-18	ダグマ山系ラムダグ村生態系保全のための森林農業推進事業(2年目)	フィリピン	1,760	130
	蒜山にブナを植える会	岡山	26R-23	蒜山ブナ林整備事業と森林教室	岡山	480	89
	広島県日中親善協会	広島	26K-33	中国四川省彭山県水土流失防止林緑化事業	中国	2,210	138
	(特非)ひろしま人と樹の会	広島	26S-50	太田川の源流の森林保全と資源活用事業	広島	900	53
ふ	フォスターフォレストクラブ	千葉	26K-04	フィリピン国ケソン州ラモン湾の養殖放棄池におけるマングローブ植林	フィリピン	500	123
	フォレスト21さがみの森連絡協議会	東京	26SC-01	緑のボランティアの森記念造成事業「フォレスト21さがみの森」	神奈川	1,700	12
	(特非)フォレスト フォー ビーブル岡山	岡山	26SC-24	企業との協働による「高梁美しい森」森林整備事業	岡山	2,000	23
	(公社)福島県森林・林業・緑化協会	福島	26震災RC-01	「震災地域における学校教育環境向上のための緑化事業」(相馬市立大野小学校)	福島	1,000	72
	富士山緑の募金の森造成実行委員会	静岡	26SC-23	富士山緑の募金の森造成事業	静岡	3,000	23
	(特非)ブナ友の会	新潟	26災R-07	五頭「みんなの森づくり」と「崩落法面緑化」事業	新潟	1,460	94
	府民の森ひよし森林倶楽部	京都	26S-41	森林施業・林業生産等の体験と森林整備	京都	740	52
	ふるさと山の会	山形	26R-06	花いっぱい森プロジェクト	山形	1,040	80
	ふれあい筑波	東京	26S-15	森林と竹林と里山林の実践整備	茨城	300	40
	ほ	鳳来峡の森を明るくする会	愛知	26ふR-17	「スギを活かして里山を取り戻そう」活動	愛知	500
(特非)北海道森林ボランティア協会		北海道	26S-01	札幌市澄川環境林における外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業	北海道	710	33
“北海道”千年の森プロジェクト		北海道	26SC-15	いのちの森づくり植樹祭 IN 奥沢水源地 VOL2	北海道	2,000	19
(公社)北海道森と緑の会		北海道	26SC-14	積水化学・水源の森づくり事業	北海道	1,300	18
(公社)北海道森と緑の会		北海道	26RC-04	親と子協働の森づくりと自然体験活動	北海道	1,500	67
(公社)北海道森と緑の会		北海道	26R-02	「木育」推進プロジェクト	北海道	1,650	78
北海道林業技士会		北海道	26SC-07	地球温暖化防止のための北海道の森づくり	北海道	500	15
北海道林業技士会		北海道	26SC-08	「キリン千歳水源の森」整備の森づくり	北海道	800	15
(特非)穂の国森林探偵事務所		愛知	26災S-07	引地の森と川を守る森づくり事業	愛知	450	61
ま		松前桜の森維持・造成実行委員会	北海道	26ふR-01	松前桜の森維持・造成事業	北海道	700
	(特非)まめつてえ鬼無里	長野	26S-33	鬼塚花自然園遊歩道整備と林産材を利用した林業体験	長野	250	48
み	(一社)水辺のユニオン	岡山	26K-32	ケニア国エランガタウアス生態系管理プロジェクト	ケニア	1,430	137
	みたけ木曾川水源の森づくり実行委員会	岐阜	26SC-29	「みたけ木曾川水源の森づくり」活動	岐阜	1,000	26
	光井地区連合自治会	山口	26ふR-28	集まれ光井っ子! 里山整備プロジェクト	山口	450	110
	(特非)緑のサヘル	東京	26K-12	ブルキナファソ国コングシ郡におけるバム湖周辺地に対する生活改善のための植林プロジェクト	中国	970	127
	(特非)緑のダム北相模	東京	26S-20	若者の森づくり	神奈川	1,340	42
	(認定特非)緑の地球ネットワーク	大阪	26K-28	黄土高原における森林再生事業(中国山西省大同市大同県聚楽郷)	中国	2,290	135

	交 付 先	所在地	交付決定番号	事 業 名	事業地	交付決定額 (千円)	掲載頁
み	みどりの二季会	鹿児島	26S-58	児童の自然観察と森づくり	鹿児島	410	57
	(特非)宮城県森林インストラクター協会	宮城	26SC-19	「未来へつなぐ共学の森」事業	宮城	1,300	21
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	26SC-13	宮城・名取「プロ野球の森」設定記念植樹事業	宮城	1,350	18
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	26震災SC-07	「名取・潮除須賀松の森」植樹事業	宮城	371	31
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	26震災SC-09	「岩沼・潮除須賀松の森」植樹事業	宮城	4,108	32
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	26震災RC-08	藤浜地区集会所植樹事業	宮城	291	76
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	26震災SC-10	「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業	宮城	2,217	33
	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	26震災RC-09	登米市横山小学校における記念植樹事業	宮城	212	76
	宮城森の会	宮城	26SC-20	北蔵王水源の森造成事業	宮城	600	21
	妙楽寺林業振興会	千葉	26ふR-09	陸沢町ひと・もり・さと再生事業	千葉	500	100
	美和木材協同組合	茨城	26SC-25	水源地保全活動	茨城	200	24
	む	(特非)むさしの・多摩・ハバロフスク協会	東京	26KC-10	ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃林地の造林事業	ロシア	3,000
村山市林業クラブ		山形	26ふR-06	「ふるさとの森林再生事業」	山形	400	99
も	もとやま森援隊	高知	26災S-10	「ちいさなことから一歩ずつ！草の根林業家の森林保全による山地災害の防止」	高知	1,560	62
	(特非)森林遊びサポートセンター	北海道	26RC-10	げんきの森づくりと森の学習活動	北海道	823	70
	森づくり安全技術・技能全国推進協議会	東京	26RC-08	安全な間伐推進モデル事業	広島・群馬 外	2,000	69
	(特非)森づくり奈良クラブ	奈良	26ふR-24	頂上展望台の景観と荒廃した森林地域を再生する	奈良	500	108
	(特非)森と木の研究所	鹿児島	26災S-13	「くにの松原」保全・再生活動	鹿児島	1,750	64
	(特非)森とでんえん倶楽部	東京	26S-14	群馬県草津やすらぎの森森林整備事業	群馬	530	40
	(特非)森の里しちのへ	青森	26災R-01	源流の森復元事業	青森	2,600	91
	(特非)森の自然学校助川山保全くらぶ	茨城	26R-10	ドングリの木植樹会	茨城	320	82
	森のなかま	宮城	26R-04	森林の整備（緑の回復事業）	宮城	320	79
	森のボランティア茨城	茨城	26S-08	森林ボランティア育成講座 第11期	茨城	330	37
	(特非)森のライフスタイル研究所	長野	26震災SC-06	3.11復活の森づくり～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業	千葉	2,000	31
	(特非)森のライフスタイル研究所	長野	26R-17	普通の人々が当たり前のように森づくりに関心が持てる社会をつくるための森林体験活動	長野	2,110	86
	(特非)森びとプロジェクト委員会	東京	26災R-03	いのちを守る海岸防災林づくり復興支援	宮城	1,980	92
	(特非)もりふれ倶楽部	島根	26ふR-26	目田森林公園～神話の国を見晴らす、美しい山頂復活事業	島根	500	109
	(特非)MORI MORI ネットワーク	東京	26S-21	創る・育てる「みんなの森林セラピーランド」活動の充実と活用	埼玉	970	43
	森を楽しむ会	神奈川	26S-29	山の間伐材を利用したマチの公園整備	栃木外	500	46
	や	やおつ水源の森づくり実行委員会	岐阜	26SC-32	木曽川・やおつ水源の森づくり活動	岐阜	1,000

	交 付 先	所在地	交付決定番号	事 業 名	事業地	交付決定額 (千円)	掲載頁
や	屋久島・ヤクタネゴヨウ調査隊	鹿児島	26SC-26	絶滅危惧種ヤクタネゴヨウの森づくり植樹祭	鹿児島	1,000	24
	(特非)野生生物を調査研究する会	兵庫	26K-29	ブラジル国パラ州トメアス郡におけるアグロフォレストリーを活用した水源涵養植林事業	ブラジル	1,980	136
	矢作川水系森林ボランティア協議会	愛知	26S-38	森の健康診断&簡易搬出全国出前事業(拡充)	全国	1,810	51
	山口自治会	岩手	26ふR-04	土淵町大洞のヤマザクラ樹勢回復事業	岩手	470	98
	やまづくり・くらぶ	東京	26S-19	川場・世田谷上下流連携による「親林」の森づくり事業	群馬	510	42
	(特非)やみぞの森	茨城	26S-09	八溝地域の林地残材を活用した公共施設の整備事業	茨城	490	37
ゆ	(特非)湯沢みどりの会	新潟	26ふR-13	ブナの森はみどりのダム植樹祭	新潟	500	102
	湯梨浜町観光協会	鳥取	26ふR-25	観光地紅葉林整備事業	鳥取	330	108
よ	四日市自然保護推進委員会	三重	26ふR-19	小面積皆伐による里山再生モデル事業	三重	450	105
ら	ラムサールセンター	東京	26K-13	インド国ビタカニカ湿地の沿岸環境再生にむけた住民参加型植林と持続可能な開発のための環境教育の推進	インド	1,820	128
り	(特非)里豊夢わかさ	福井	26R-16	次世代につなぐ里山づくり	福井	460	85
わ	和歌山市加太観光協会	和歌山	26災S-08	森林の光環境と土壌環境を改善し森と海を元気にする事業	和歌山	2,000	61

(注1) 本表は、緑の募金法第14条に基づき森林整備等のために交付した交付先等である。

(注2) 交付額は、交付先への交付決定額である。

「緑の募金」事業報告集 ー平成27年度版ー

発行所 公益社団法人 国土緑化推進機構
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4
砂防会館別館
TEL 03-3262-8457 FAX 03-3264-3974
URL <http://www.green.or.jp>
E-mail bokin@green.or.jp

編集 一般社団法人 全国林業改良普及協会

